

# 設計施工BIMプロセスに欠かせなくなった BIM 360によるBIMモデル連携

**前田 哲哉**

東洋建設株式会社 建築事業本部 設計部部長

DX（デジタルエクスペリエンス）デザイングループ長





# スピーカーのご紹介

## 経歴

1989年、日本大学工学研究科博士前期課程終了後、東洋建設株式会社に入社。意匠設計者として従事する傍ら、翌年より導入されたAutoCADを設計ツールとするための整備と開発に従事。

翌1990年3DCADによる設計プロセスの試行を担当する。

導入されたシステムは、INTERGRAPHシステム（InterAct3050、MS32、Project Architect）

1997年、建築CALS総プロ 技術体系分科会（B-CALS200X）プロダクトモデルWGにて「建築プロダクトモデルの枠組みとスキーマの詳細化」について検討するWGに参加。「エスキス段階でのゾーニング計画・動線計画」、「基本設計段階の建築プロダクトモデル」を担当。

1998年IAI日本支部に参加するとともに社内において建築CALS導入に向けて取組みを開始。

2004年、はじめて本格的な3D設計を試行。小規模アリーナの企画提案から基本、実施、工事監理まで一貫して3次元で設計検討を行った。工事監理では設計変更、内外装仕上げ決定などの合意形成にビジュアライゼーションを活用。屋根は膜構造で鉄骨3Dデータを鉄骨Fabと共有。Tekla Structuresに取り込み部材製作に活用。

2012年、国土交通省初の施工BIM試行事業（新宿労働総合庁舎新築工事）にBIMマネージャーとして参加。建築-設備連携におけるIFC変換の可能性を実感。

2014年、社内にBIM整備WGを発足させWGリーダーとして設計施工一貫BIMプロセスの開発と推進を担当。

今年度よりBIM-DPX開発推進プロジェクトリーダーとして設計施工一貫BIMプロセスの開発と推進を担当。

国土交通省による「令和2年度BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業」に応募し、連携事業として採択される。

AutoCAD®  
Tekla® Structures  
BIM-DPX®

# 設計施工BIMプロセスに欠かせなくなったBIM 360

BIM 360は、プロジェクト関係者がプロジェクトの  
『どの段階からでも参加可能なシームレスなデータ連携と共有』  
ができる仕組みを“**簡単かつ即座**”に構築できる。

BIM360上で展開されるプロジェクトに参加するために特別なソフトウェアは必要ありません。スマートフォン、タブレット端末、PCがあれば、BIMモデルのビューイング、マークアップ、ワークフロー（指摘事項）、データ共有、受け渡しなどが行える他、現場で撮影した写真をワークフロー（指摘事項）で管理することもできます。

発注者の早期段階からの参加によるBIMモデル共有は、合意形成の進捗と顧客満足を確実に向上させます。

また、**BIM 360 Design collaboration , Model Coordination**を導入することでコンカレント設計やアクティブ干渉チェックへとプロセス連携の幅が広がります。  
モデル変更のたびにモデル統合する必要がなくなり、面倒な統合作業から解放されます。

**発注者をはじめとする会社の枠を超えたプロジェクト関係者の参加**は、設計施工業務プロセスにおける「ニューノーマル」といえるでしょう。  
しかしながら既存のプロセスを新しいデジタルプロセスへ根底から置換えるためには、立ちちはだかる壁を乗り越えていかなければなりません。  
このクラスでは、これまで実践してきた経験を通じ、BIM360でデータを**つなげる**ポイントをご紹介します。

自身のBIMモデルが、「**コラボレートしている他の担当者にどのような影響を与えるのか**」、お互いが「**気持ちよくBIMモデルを共有する**」ためのヒントをお伝えします。

# BIM 360を活用する 7つのテーマ

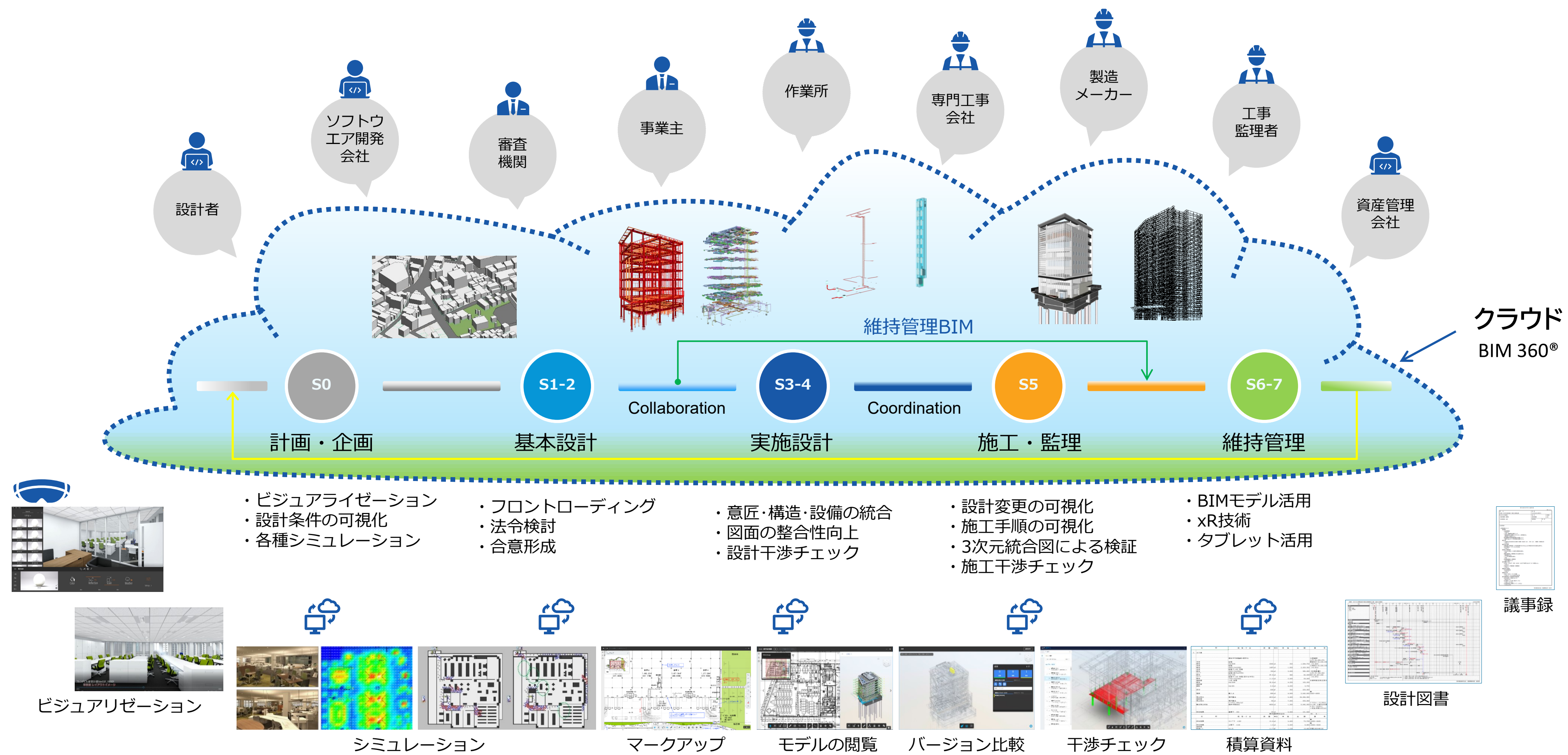
では、BIMモデルデータ連携イメージを共有していきましょう！

- 1.クラウドプラットフォームとしてのBIM 360
- 2.BIM 360 を機能的に利用するためのフォルダ構成
- 3.Revitモデルを中心とした各種ソフトとのBIMデータ連携
- 4.BIM 360 Design collaboration と Model Coordination
- 5.Revit、Navisworks、AutoCADでリッチな統合モデル構築
- 6.マークアップと指摘事項を使ったシンプルなデザインレビュー
- 7.BIMモデルバーチャル現場巡回を効果的に行うポイント

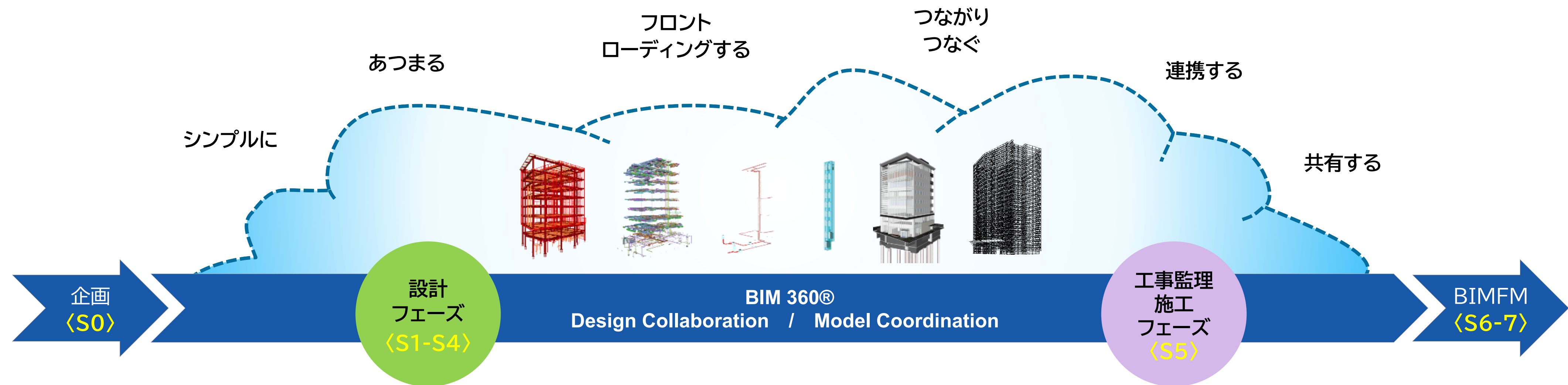




# すべてのプロジェクト関係者がボードレスにつながる







## S0～S7：7つの業務区分（S:ステージ）とは



# S0～S7：7つの業務区分（S:ステージ）とは

## 建築分野におけるBIMの標準ワークフローと その活用方策に関するガイドライン (第1版)

令和2年3月  
建築BIM推進会議

4. そのほか 留意事項等  
4-1. 業務区分（ステージ）の考え方

### （形状と情報の詳細度ごとの区分分け）

形状と情報の詳細度の管理が、標準ワークフローの最重要項目の一つであるため、形状と情報の詳細度が変わる段階で、ワークフローを区分し、管理していく方法が有効です。参考として、海外で定められた様々なワークフローでは、日本の従来のワークフローよりも、業務が細かく区分されています。

### （7つの業務区分（ステージ）と、従来のワークフローの業務区分との変更点）

下記の7つの業務区分を設定します。

S0：事業計画の検討・立案

S1：条件整理のための建築計画の検討・立案

S2：基本的な機能・性能の設定

S3：機能・性能に基づいた一般図（平面、立面、断面）の確定

S4：工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成

S5：施工等、維持管理BIM作成

S6：建築物の性能・仕様の完成確認と引渡し

S7：維持管理・運用

従来のワークフローの業務区分との変更点は、主に下記の7点です。

#### 1）S0、S1 企画、基本計画の段階でのBIMの活用を位置づけた

企画、基本計画といった初期段階は非常に重要です。S0 企画段階ではBIMを活用する場合、建築物の規模や用途、活用イメージ等の事業の概要を企画立案するとともに、建築物が生み出す価値や効用の大きさを分析の上、事業が成立するか否かも含め事業の予算枠を検討します。その後、S1 基本計画段階で、具体化しつつある建築物の計画に対して事業の予算枠や事業成立を確認しつつ、具体的に建築物やその部分の品質、全体の事業スケジュール、建築基準法の集団規定等の設計と条件等を検討し、事業の予算枠の配分等のコスト計画を立て、更に今後の設計等でのBIMの活用を判断します。

特に、S0 企画段階、S1 基本計画段階での詳細なコスト計画の検討は、今後の設計等の契約の前提条件となり、また必要な予算をできるだけ正確に見込むためにも非常に重要です。その点、BIMを活用することで、S0 企画段階、S1 基本計画段階でのコストの検証は更に効率化・精緻化します。現在でも、これらの段階では統計値、類似案件データの活用、積上げ概算等による検証が行われていますが、今後BIMの活用が進み、類似案件データからBIMから得られる情報に対応したコストデータの蓄積と体系化が行われ、これらの段階で飛躍的にコスト計画が精緻化していくことが期待されます。

#### 2）S2：基本設計に構造・設備の基本設計モデルの作成を含めた

従来の設計業務に係る業務報酬基準の基本設計標準業務では、構造と設備に関しては計画概要書、計画説明書までとなっており、具体的な図面を求めています。しかし意匠計画を固める上では、構造の仮定断面や、設備スペースは基本設計段階で検討されています。基本設計を固める上で根拠となっている構造計画、設備計画は、基本設計段階のBIMモデルに入れておく、というのが考え方です。

88

4. そのほか 留意事項等  
4-1. 業務区分（ステージ）の考え方

### 3）S3、S4:実施設計の段階を二つに分けた

モデルの形状詳細度と属性情報量に応じて、二つの業務区分に分けています。実施設計前半で、設計内容（3Dモデルの属性情報）は、ほぼ固まります。後半では必要な引き出し線や文字情報等を2Dによる加筆作業、更にはBIM以外の基準図や部分詳細図等（2D）を加えます。

実施設計の段階を二つに分けていますが、S3 実施設計前半の終了時に、構造躯体や外部仕上げ等の工事金額が大きい項目等を中心に精度の高い概算工事費を算出して、目標コストの確認を行うことが重要です。S3 でBIMの入力内容がより具体化され、各部材等のデータ精度を効率的に上げて集計することが可能となるため、概算工事費の算出が容易となり、建築生産を通じてコスト管理が効率化します。建築生産を通じて、目標コストを定め、建築等に必要な工事費と成果物である建築物が生み出す価値や効用の大きさを比較し、調整しつつ目標を最大化するためのコスト管理を段階的に行うことは、発注者にとって非常に重要です。S4 実施設計後半だけでなく、S3 実施設計前半の終了時に適切にコストの確認を行うことは、基本設計からの設計変更やコスト変動を確認するだけでなく、今後の発注戦略の核となる情報を事前に固めていくことになるので、特に重要です。

また、施工技術コンサルティング業者は、設計者に対して、その専門分野に応じて、必要に応じて提案を行います。

### 4）S5：施工等、維持管理BIM作成を位置づけた

施工段階では、施工者により、施工計画、施工図・製作図の作成、加工図の検査、施工記録・検査記録、試験記録・検査記録等様々な業務が行われます。施工者は、当該建築物の特徴を鑑みて、詳細形状や具体的仕様、設備機器等の情報を入力し、生産性と品質の向上を目的とした施工BIMを作成・活用し、施工・現場管理等を実施します。

また、維持管理BIM作成者は、維持管理・運用に必要な情報（例：施工段階で決まる設備施工情報、設備機器の品番・耐用年数等）について、施工者が当該情報を確定し、提供された際には、維持管理BIMに入力し、維持管理・運用に必要な維持管理BIMを作成します。

### 5）S6：引渡しの段階でのBIMモデルの作成を定めた

維持管理BIMを発注者に引き渡す段階を設定しました。この段階では、維持管理BIMを維持管理システムへ連携させることや、建築物の竣工・引き渡し後の工事や備え付けた什器・備品等の情報入力等が考えられます。別途工事、オーナー直発注工事が行われている場合は、その情報との統合も考えられます。

例えば維持管理BIMを維持管理システムへ連携させる場合、その措置だけでなく、活用するソフトウェア等の違いによるデータの変換作業等も想定されることから、この段階をきちんと確保することが必要です。

また、これらの作業については、標準ワークフローには明示していませんが、S5 の例えば維持管理BIM作成業務の一環として行う場合もあれば、S7 の維持管理業務等で

90

4. そのほか 留意事項等  
4-1. 業務区分（ステージ）の考え方

行う場合もあると考えられます。それぞれの案件の実態に応じて適切に役割分担することが重要です。

なお、今後の維持管理・運用だけでなく、改修等を見据えた場合、竣工時点のBIMとして、維持管理BIMをこの段階で定点のデータとして保存しておくことが望ましいと考えられます。当該データとしてどのようなものが必要かどうか、関係者間でよく協議する必要があります。

### 6）S7：維持管理・運用でのBIMの活用を位置づけた

維持管理者は、BIMを活用し、日常的なマネジメント業務（日常清掃、空調・照明等の設備の日常点検等、防災・セキュリティ管理等）での3Dモデル活用や経営の観点への寄与など、効率的な維持管理を行います。

### 7）その他 設計から施工段階への受渡しのための「施工準備」の確保

業務区分としては分けておりませんが、設計から施工段階に適切にデジタル情報を受渡し、施工段階の当初から、スムーズに施工検討等に着手することにより、生産性の向上を図ることが望まれます。現状では、施工準備の段階が契約上曖昧になっていることが多く、工事請負契約（元請負契約）の締結後、早期に設備施工者や専門工事施工者が参画できる環境にはなっていません。設備施工者や設備メーカーが早期に関与可能な環境を整えるためにも、適切に受け渡しが行われるよう必要な期間を確保する等留意することが重要です。

ここでは、主に次の5つを行います。

①下請け選定を行う。

②選定時に生じたVE（バリューエンジニアリング）やCD（コストダウン）、質疑回答等のうち設計内容に関する変更を設計者がBIMモデルに反映し、確定したBIMモデルを作成する。

③施工着手前に、施工計画や仮設モデル等を作成する。

④設備施工者や専門工事施工者の施工体制の早期決定を準備する。

⑤BIMモデルの作成意図、データ構成を伝達し、適切に受け渡す

### （留意点）

設計業務については、現在の業務報酬基準ではBIMについては対象とされていませんので、標準ワークフローや業務区分については、現在の業務報酬基準にとらわれずに提案しています。

標準ワークフローに基づき、効率化される部分や、業務として明確化したもの等様々な考えられますが、業務報酬については、今後産業や社会全般でBIMが広く活用された際の実態等を踏まえつつ、前述のとおり今後の検討課題としています。

また、例えば設計変更等、各ステージで定めた事項を遡って変更が生じた場合には、当然ながら当該変更への業務が発生することとなり、契約内容等に応じて適切に契約変更等も行う必要が生じます。その場合、標準ワークフローや業務区分では明示していませんが、当該変更時点から各ステージまで遡って変更を行うこととなります。

90



# S0～S7：7つの業務区分（S:ステージ）とは

**S0：事業計画の検討・立案**

**S1：条件整理のための建築計画の検討・立案**

**S2：基本的な機能・性能の設定**

**S3：機能・性能に基づいた一般図（平面、立面、断面）の確定**

**S4：工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成**

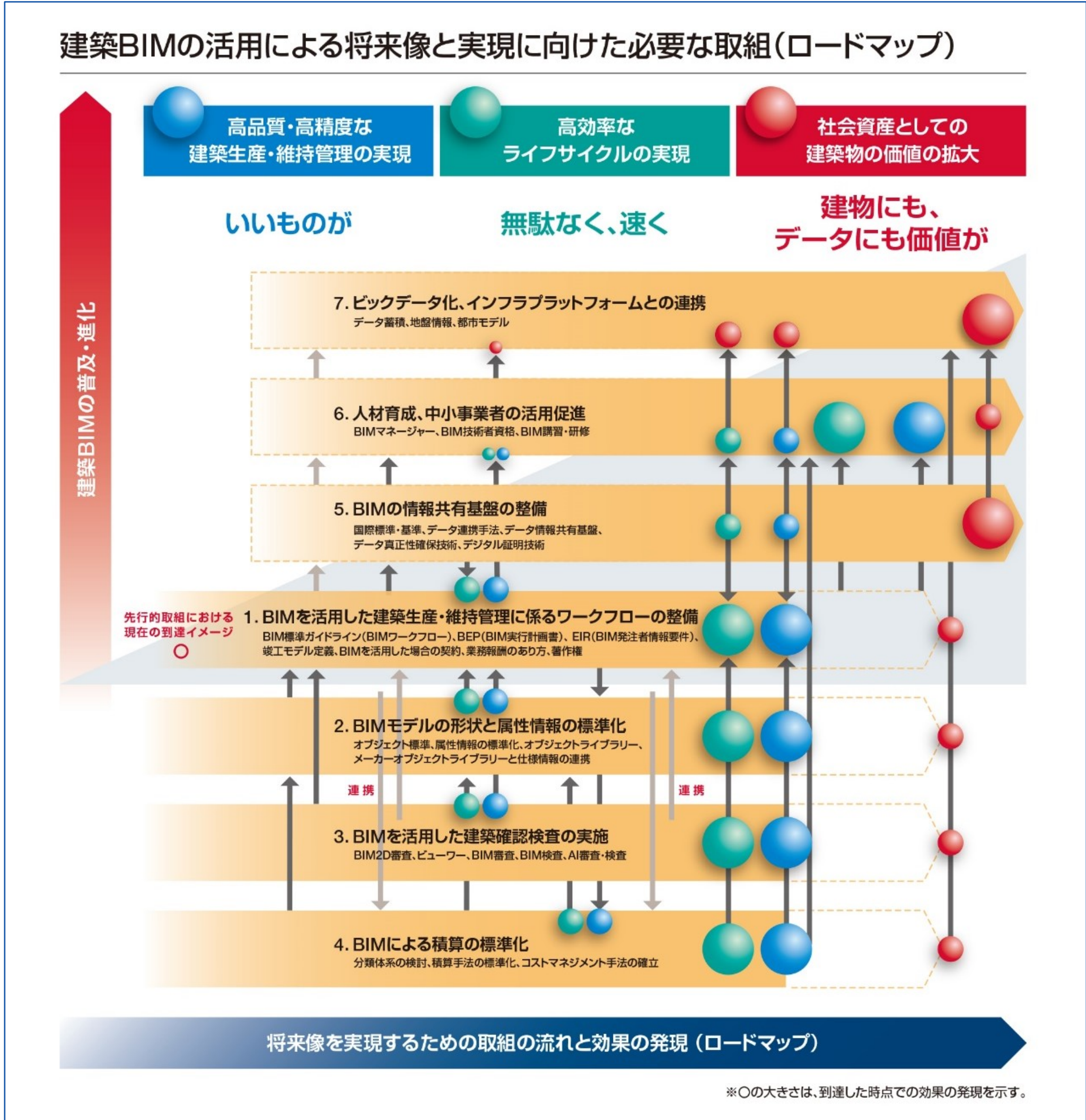
**S5：施工等、維持管理BIM作成**

**S6：建築物の性能・仕様の完成確認と引渡し**

**S7：維持管理・運用**



# 建築BIMの将来像と工程表



出典：国土交通省 建築BIM推進会議『建築BIMの将来像と工程表』、2019、p1～3

# 建築業界で進めるべき7つの取組とその工程

- ① BIMを活用した建築生産維持管理に係るワークフローの整備
- ② BIMモデルの形状と属性情報の標準化
- ③ BIMを活用した建築確認検査の実施
- ④ BIMによる積算の標準化
- ⑤ BIMの情報共有基盤の整備
- ⑥ 人材育成、中小事業者の活用促進
- ⑦ ビッグデータ化、インフラプラットフォームとの連携



# クラウド・コンピューティング

## BIM 360®



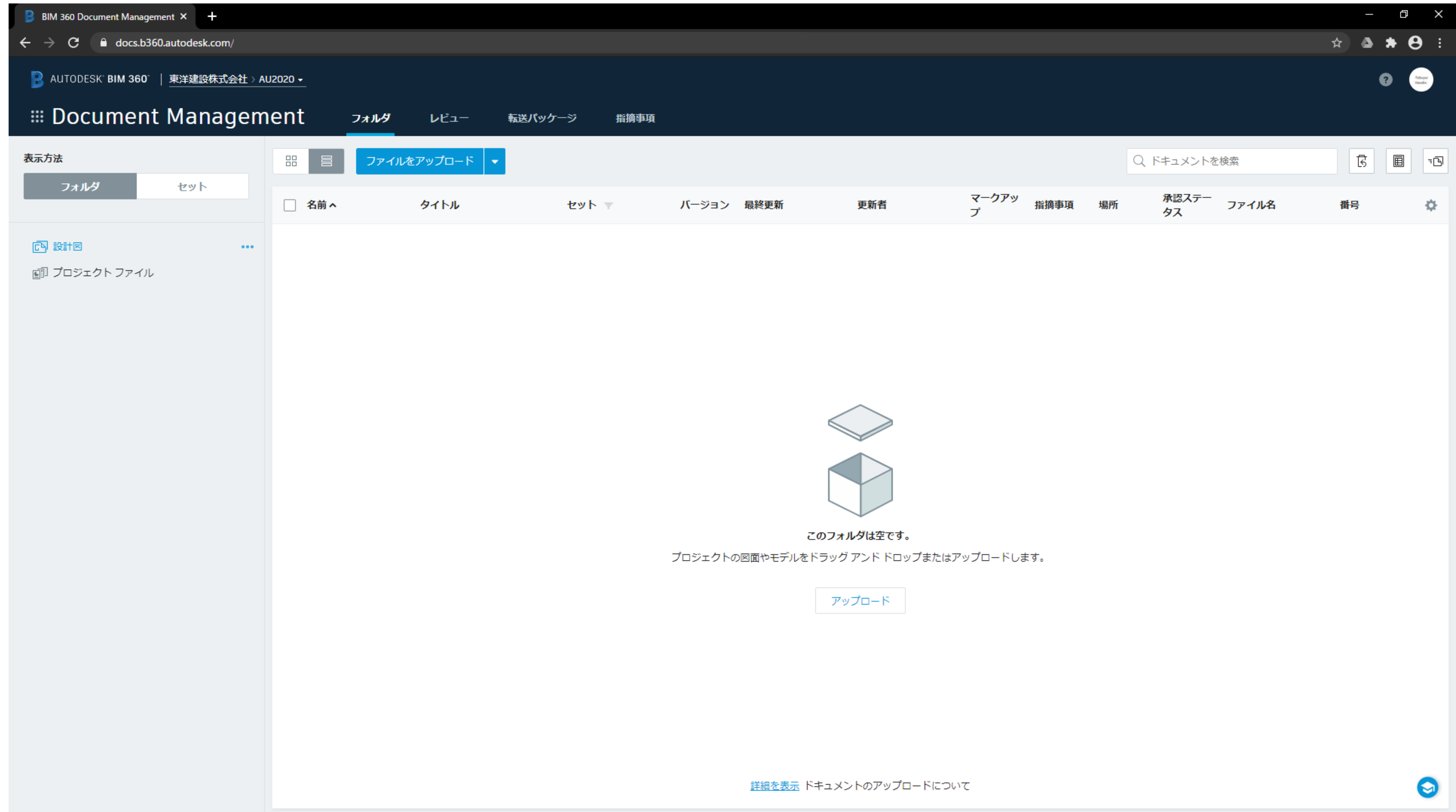
# クラウド プラットフォーム

## BIM 360<sup>®</sup> Document Management

- 3ds Max<sup>®</sup>
- AutoCAD<sup>®</sup>
- Autodesk<sup>®</sup>
- BIM 360<sup>®</sup>
- Revit<sup>®</sup>
- Navisworks<sup>®</sup>



# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management





# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Administration

admin.b360.autodesk.com/admin/a9a34cbe-2c67-4240-81f4-edf6b9b8df8f/projects

AUTODESK® BIM 360® | 東洋建設株式会社

Account Admin

プロジェクト

メンバー

会社

役割

解析

設定

Account Admin

プライバシー | 使用条件

© 2020 Autodesk Inc. All rights reserved.

00\_BIM-DPX開発推進プロジェクト

27

2

00\_BIM-勉強会

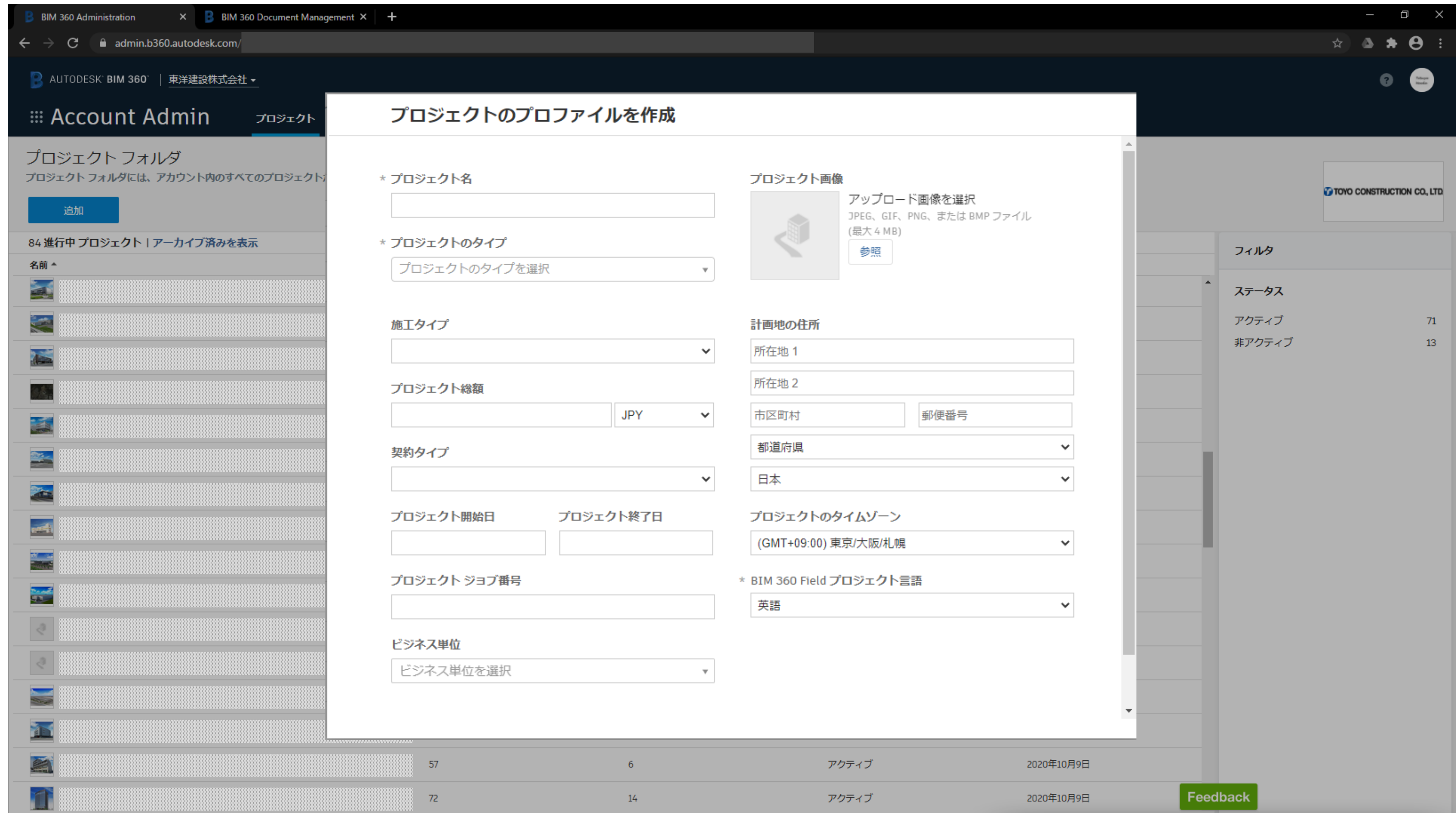
8

2

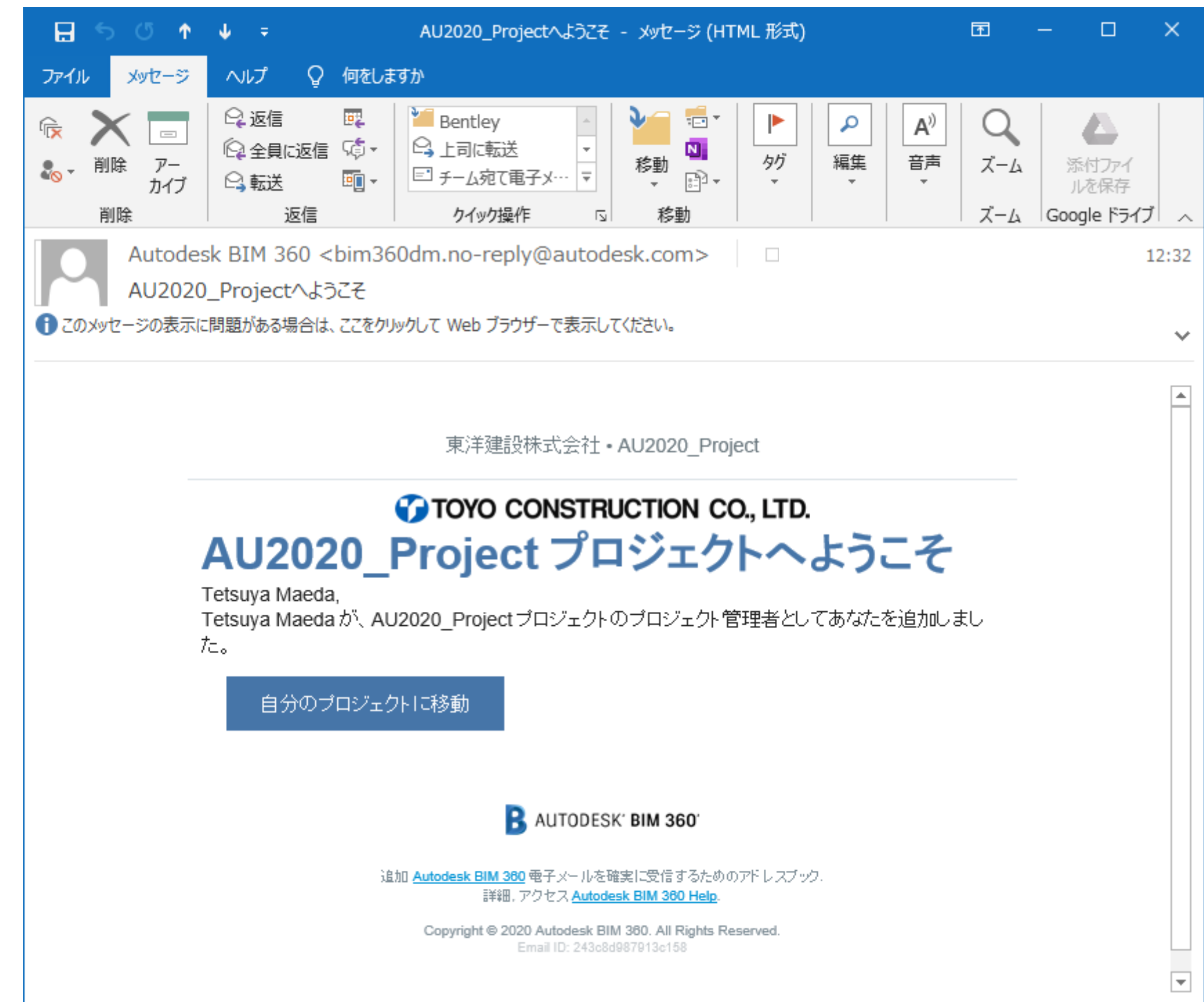
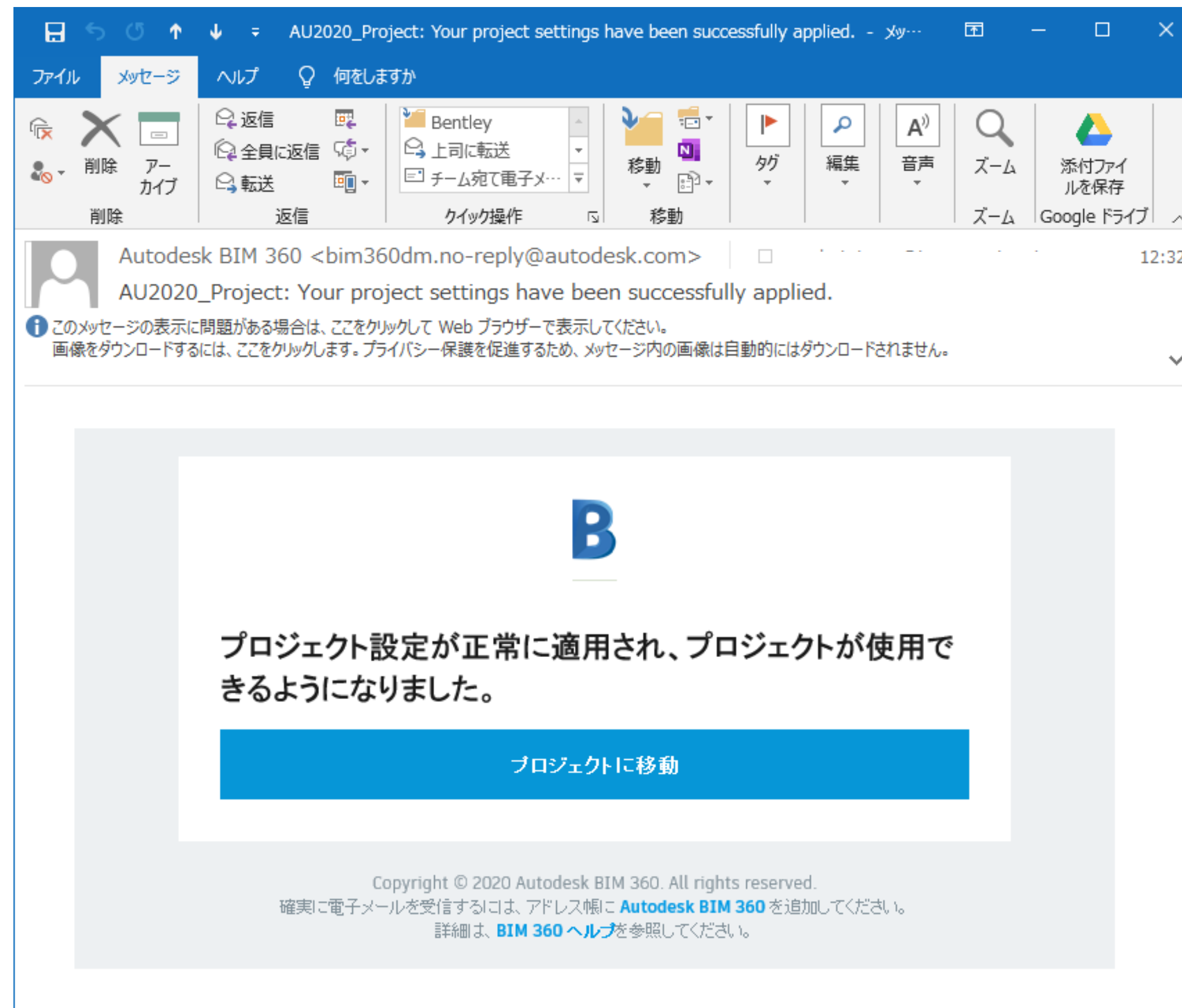
	メンバー	会社
	20	4
00_BIM-DPX開発推進プロジェクト	27	2
00_BIM-勉強会	8	2



クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management



# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management





# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Insight

insight.b360.autodesk.com/

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > AU2020

Project Home

東洋建設株式会社


AU2020

プロジェクト期間: 火 9月 01 2020 - 木 12月 31 2020

TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.

カスタマイズ


計画地の住所




神田神保町1-105  
千代田区, 13 101-0051


気象


22°




曇り

日 23° 

月 24° 

火 26° 

水 22° 

動力源 暗い空

プロジェクトの設計指摘事項

設計指摘事項はありません

[ドキュメント Management に移動](#)

プロジェクトの指摘事項

指摘事項なし

[指摘事項に移動](#)

AU2020 | Slide number 17

© TOYO CONSTRUCTION CO., LTD. All rights reserved

# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Insight

insight.b360.autodesk.com/

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > AU2020

Project Home

Project Home Insight Document Management

Project Admin Account Admin

プライバシー | 使用条件

© 2020 Autodesk Inc. All rights reserved.

Google 神田神保町1-105 千代田区, 13 101-0051

天気

22°

曇り

日 23° 月 24° 火 26° 水 22°

動力源 暗い空

プロジェクトの設計指摘事項

設計指摘事項はありません

ドキュメント Management に移動

プロジェクトの指摘事項

指摘事項なし

指摘事項に移動

TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.

カスタマイズ



# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Administration

BIM 360 Document Management

admin.b360.autodesk.com

AUTODESK® BIM 360® | 東洋建設株式会社 > AU2020

Project Admin

メンバー

会社

サービス

プロフィール

プロジェクトメンバー

[プロジェクトメンバー]には、プロジェクトの全員が表示されます。このリストには、サービスに招待されたがアカウントがアクティブでない保留中のメンバーのほか、アカウント管理者が無効にした非アクティブなメンバーも含まれます。

追加

<input type="checkbox"/>	名前	ステータス	電子メール	会社	役割	Project Admin		
<input type="checkbox"/>		アクティブ						

フィルタ

サービス

Document Management

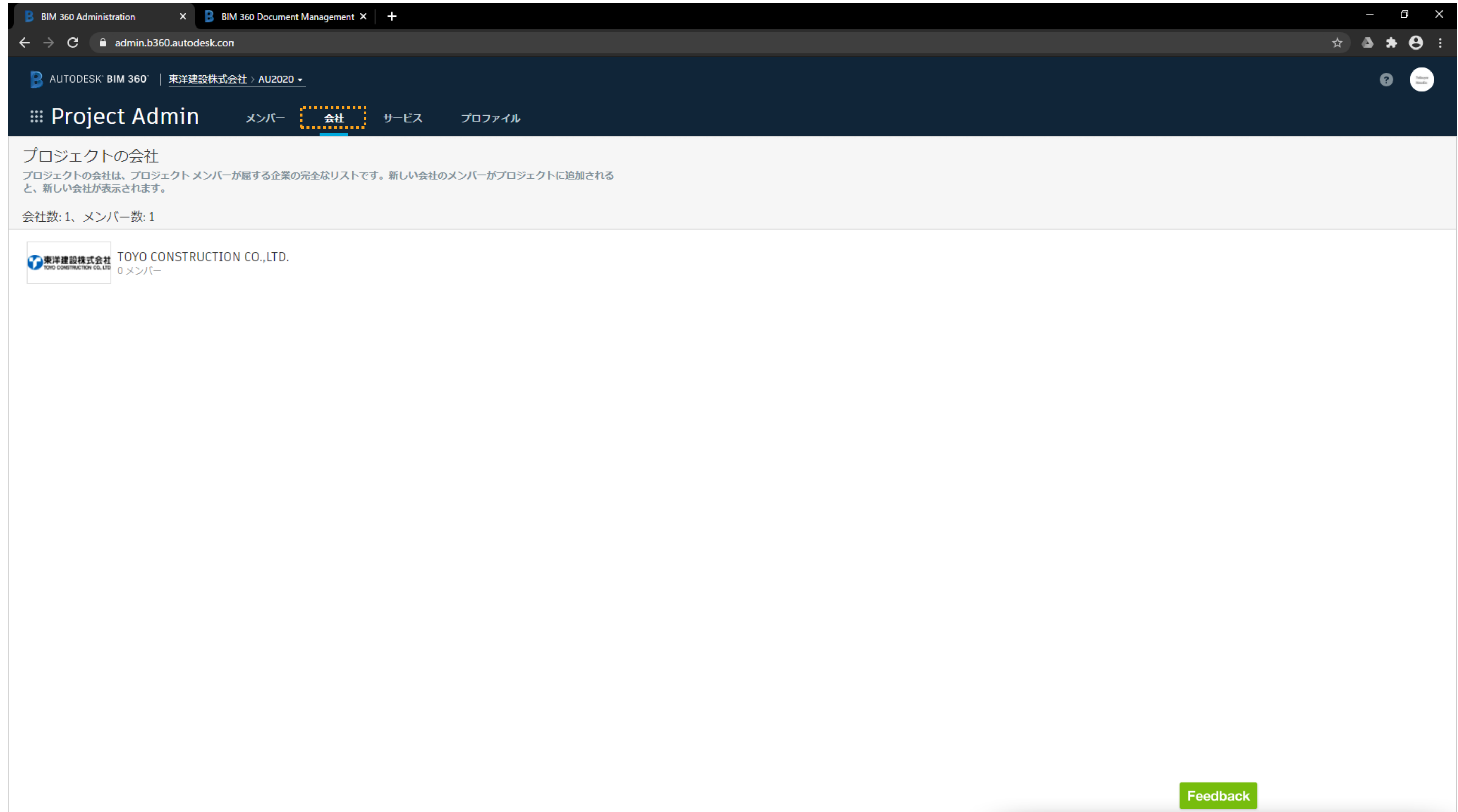
1

Insight

1

Feedback

# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management





# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

The screenshot displays the BIM 360 Document Management web application. The browser tabs show 'BIM 360 Administration' and 'BIM 360 Document Management'. The address bar indicates the URL 'adminv2.b360.autodesk.c'. The header bar includes the Autodesk BIM 360 logo, the user '東洋建設株式会社', and the project 'AU2020'. The main navigation bar features 'Project Admin', 'メンバー', '会社', 'サービス' (highlighted with a dashed orange border), and 'プロフィール'. The left sidebar contains '概要', '指摘事項', '通知', and 'Document Management'. The main content area, titled 'プロジェクト サービス', lists five services: 'Document Management' (active), 'Model Coordination', 'Design Collaboration', 'Insight' (active), and 'BIM 360 Glue'. Each service card includes an icon, a description, and an 'アクティブ化' (Activate) button.

サービス名	機能	ステータス	操作
Document Management	図面、モデル、ファイルをレビュー、コントロール	● アクティブ	アクティブ化
Model Coordination	干渉の解決、モデルの統合		アクティブ化
Design Collaboration	モデルの共有、統合		アクティブ化
Insight	解析、レポート作成	● アクティブ	アクティブ化
BIM 360 Glue	BIM コラボレーション		アクティブ化

# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Document Management

BIM 360 Document Management

+

←

→

↺

docs.b360.autodesk.com/

☆

🔍

⚙️

👤

⋮

BIM 360

AUTODESK

東洋建設株式会社

AU2020

▼

?

👤

Project Admin

メンバー

会社

サービス

プロフィール

概要

指摘事項

通知

位置

Document Management

権限

タイプ

根本原因

カスタム属性

ユーザ、役割、または会社を入力

すべて表示

追加

メンバーは、作成した項目および割り当てられていた項目を常に表示および編集することができます。詳細

名前	タイプ	権限レベル
Tetsuya Maeda (管理者)	ユーザ	全ての操作
BIM Manager	役割	作成 削除
Civil Engineer	役割	作成 削除
Electrical Engineer	役割	作成 削除
Fire Safety Engineer	役割	作成 削除
Foreman	役割	作成 削除
HVAC Engineer	役割	作成 削除
Interior Designer	役割	作成 削除
Mechanical Engineer	役割	作成 削除
Plumbing Engineer	役割	作成 削除
Quality Manager	役割	全ての操作 削除
Quantity Surveyor	役割	全ての操作 削除



# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Administration

BIM 360 Document Management

admin.b360.autodesk.com

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > AU2020


Project Admin

メンバー

会社

サービス

プロフィール



AU2020

● アクティブ

プロジェクトのタイプ

オフィス

施工タイプ

新築

プロジェクト総額

0 JPY

契約タイプ

設計・施工一括方式(DB)

プロジェクトの期間

2020年9月1日 -> 2020年12月31日

プロジェクト ジョブ番号

AU2020

計画地の住所

神田神保町1-105

千代田区

東京都

日本

101-0051

プロジェクトのタイムゾーン

(GMT+09:00) 東京/大阪/札幌

ビジネス単位

WG

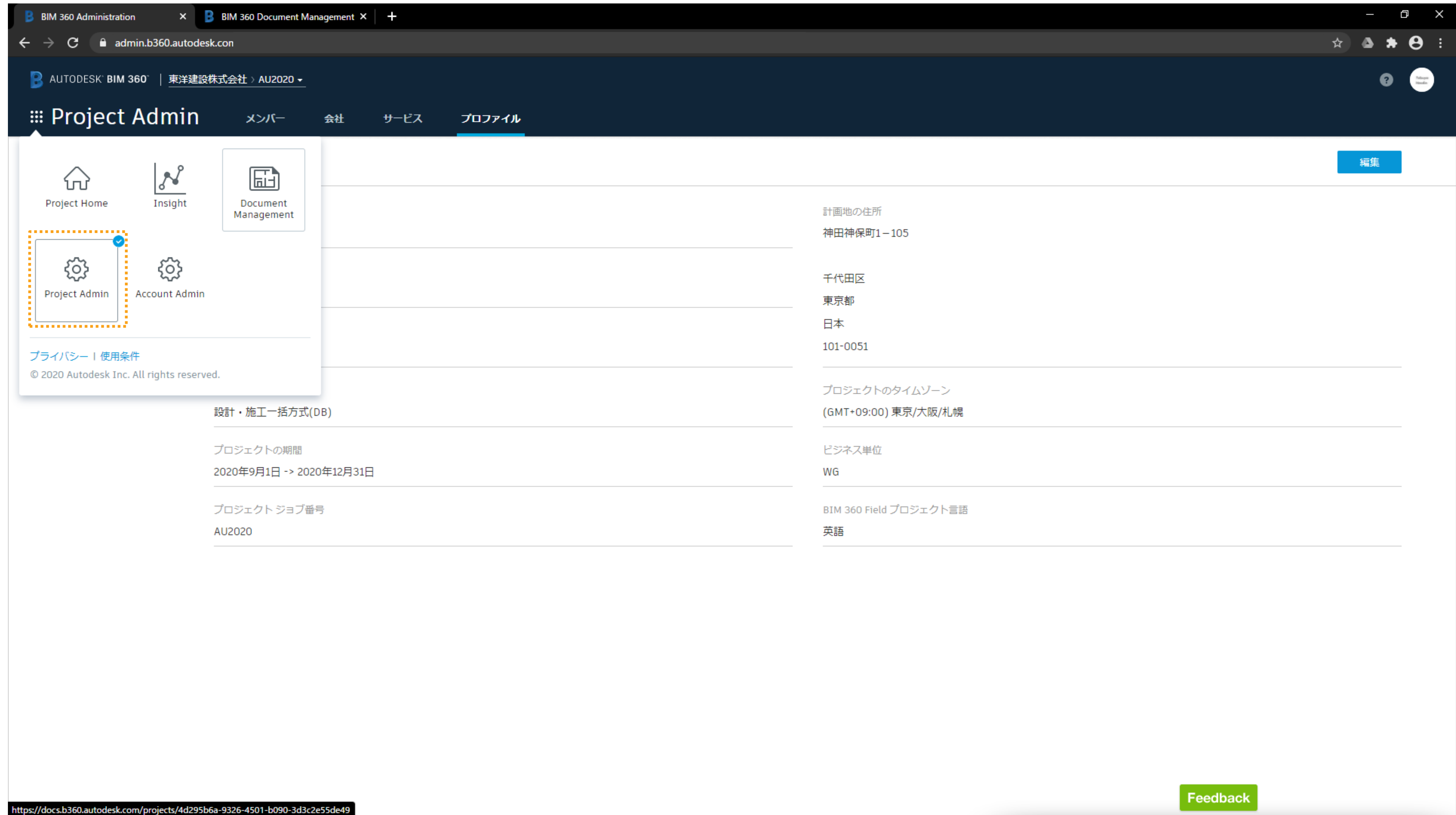
BIM 360 Field プロジェクト言語

英語

編集

Feedback

クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management





# クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Administration

BIM 360 Document Management

admin.b360.autodesk.com/

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社

Account Admin

プロジェクト

メンバー

会社

役割

解析

設定

アプリ

















プロジェクト フォルダ

プロジェクト フォルダには、アカウント内のすべてのプロジェクトが一覧表示されます。

追加

プロジェクト名で検索

84 進行中プロジェクト | アーカイブ済みを表示

名前 ^	メンバー	会社	ステータス	前回サインイン
 [Redacted]	7	4	アクティブ	2020年7月7日
 [Redacted]	53	7	アクティブ	2020年10月9日
 [Redacted]	21	6	アクティブ	2020年10月1日
 [Redacted]	9	7	非アクティブ	2020年8月6日
 [Redacted]	14	5	非アクティブ	2019年12月4日
 [Redacted]	21	5	アクティブ	2020年10月9日
 [Redacted]	14	8	非アクティブ	2020年3月4日
 [Redacted]	14	2	アクティブ	2020年10月8日
 [Redacted]	27	6	アクティブ	2020年10月9日
 [Redacted]	48	4	アクティブ	2020年10月9日
 [Redacted]	48	2	アクティブ	2020年10月5日
 [Redacted]	44	2	非アクティブ	2020年7月7日
 [Redacted]	51	4	アクティブ	2020年10月8日
 [Redacted]	57	5	アクティブ	2020年10月6日
 [Redacted]	57	6	アクティブ	2020年10月9日
 [Redacted]	72	14	アクティブ	2020年10月9日

Feedback

フィルタ

ステータス

アクティブ

非アクティブ

71

13

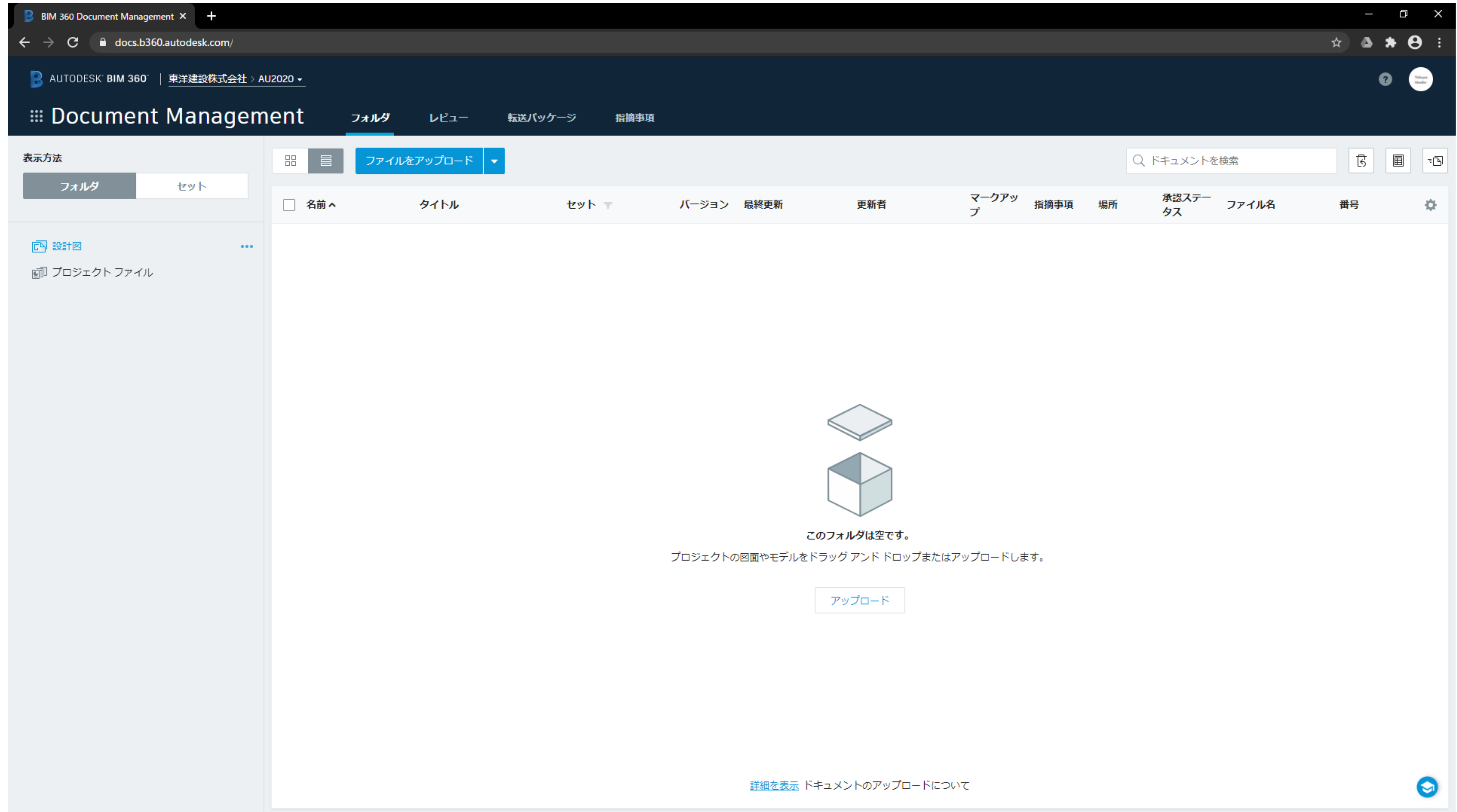


# BIM 360<sup>®</sup> Document Management を機能的 に利用するためのフォルダを構成

- 3ds Max<sup>®</sup>
- AutoCAD<sup>®</sup>
- Autodesk<sup>®</sup>
- BIM 360<sup>®</sup>
- Revit<sup>®</sup>
- Navisworks<sup>®</sup>



# プロジェクト登録時のフォルダ構成



# 標準フォルダ構成をテンプレート化

BIM 360 Document Management

docs.b360.autodesk.com/proje

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > 00\_標準フォルダ構成テンプレート

Document Management

フォルダ

レビュー

転送パッケージ

指摘事項

表示方法

フォルダ

セット

設計図

00\_IDR・DR・設計検証

01\_最新図

02\_契約図

03\_確認申請図書

04\_本見積時設計図

05\_工事引継設計図

プロジェクトファイル

社内専用フォルダ

社外共有フォルダ

00\_BIM統合モデル

01\_TOYO (建築・敷地)

02\_専門工事会社 (構造)

03\_専門工事会社 (機械設備)

04\_専門工事会社 (電気設備)

05\_専門工事会社 (給排水)

06\_専門工事会社 (消火)

07\_専門工事会社 (昇降機)

08\_専門工事会社 (建具)

20\_仮設計画

30\_BIM調整会議

90\_運用ルール

ファイルを上アップロード

8 個の項目を表示中

ドキュメントを検索

名前へ	タイトル	セット	バージョン	更新者	マークアップ	指摘事項	場所	承認ステータス	ファイル名	番号
<input type="checkbox"/>	00_IDR・DR・...	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
<input type="checkbox"/>	01_最新図	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
<input type="checkbox"/>	02_契約図	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
<input type="checkbox"/>	03_確認申請図書	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
<input type="checkbox"/>	04_本見積時設...	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
<input type="checkbox"/>	05_工事引継設...	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
<input type="checkbox"/>	00	図枠_A3企画用	V1	Tetsuya Maeda	0	0			AF3A07共通T.pdf	00
<input type="checkbox"/>	A-00	図枠_A1実施図面用	V1	Tetsuya Maeda	0	0			AF1A09【図枠】本社...	A-00

列を検索

☒ タイトル

☒ セット

☒ バージョン

☐ 最終更新

☒ 更新者

☒ マークアップ

☒ 指摘事項

☒ 場所

☒ 承認ステータス

☒ ファイル名

属性を追加

デフォルトの順序を復元



# 標準フォルダ構成をテンプレート化

BIM 360 Document Management

docs.b360.autodesk.com/projects/463e8b64-0707-4d4d-8654-13b87cd1471e/folders/urn:adsk.wiprod:fs.folder:co.knHaU5YbT

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > 00\_標準フォルダ構成テンプレート

Document Management フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

表示方法

フォルダ セット

設計図

- 00\_IDR・DR・設計検証
  - 01\_IDR
  - 02\_設計検証-1
  - 03\_DR-2
  - 04\_設計検証-2
  - 05\_DR3
- 01\_最新図
  - 01\_建築
  - 02\_構造
  - 03\_機械設備
  - 04\_電気設備
  - 05\_昇降機
- 02\_契約図
  - 01\_建築
  - 02\_構造
  - 03\_機械設備
  - 04\_電気設備
  - 05\_昇降機
- 03\_確認申請図書
- 04\_本見積時設計図
- 05\_工事引継設計図

名前	タイトル	セット	バージョン
00_IDR・DR・...	--	--	--
01_最新図	--	--	--
02_契約図	--	--	--
03_確認申請図書	--	--	--
04_本見積時設...	--	--	--
05_工事引継設...	--	--	--
00	図枠_A3企画用		V1
A-00	図枠_A1実施図面用		V1

BIM 360 Document Management

docs.b360.autodesk.com/projects/463e8b64-0707-4d4d-8654-13b87cd1471e/folders/urn:adsk.wiprod:fs.folder:co.33zPWDD6

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > 00\_標準フォルダ構成テンプレート

Document Management フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

表示方法

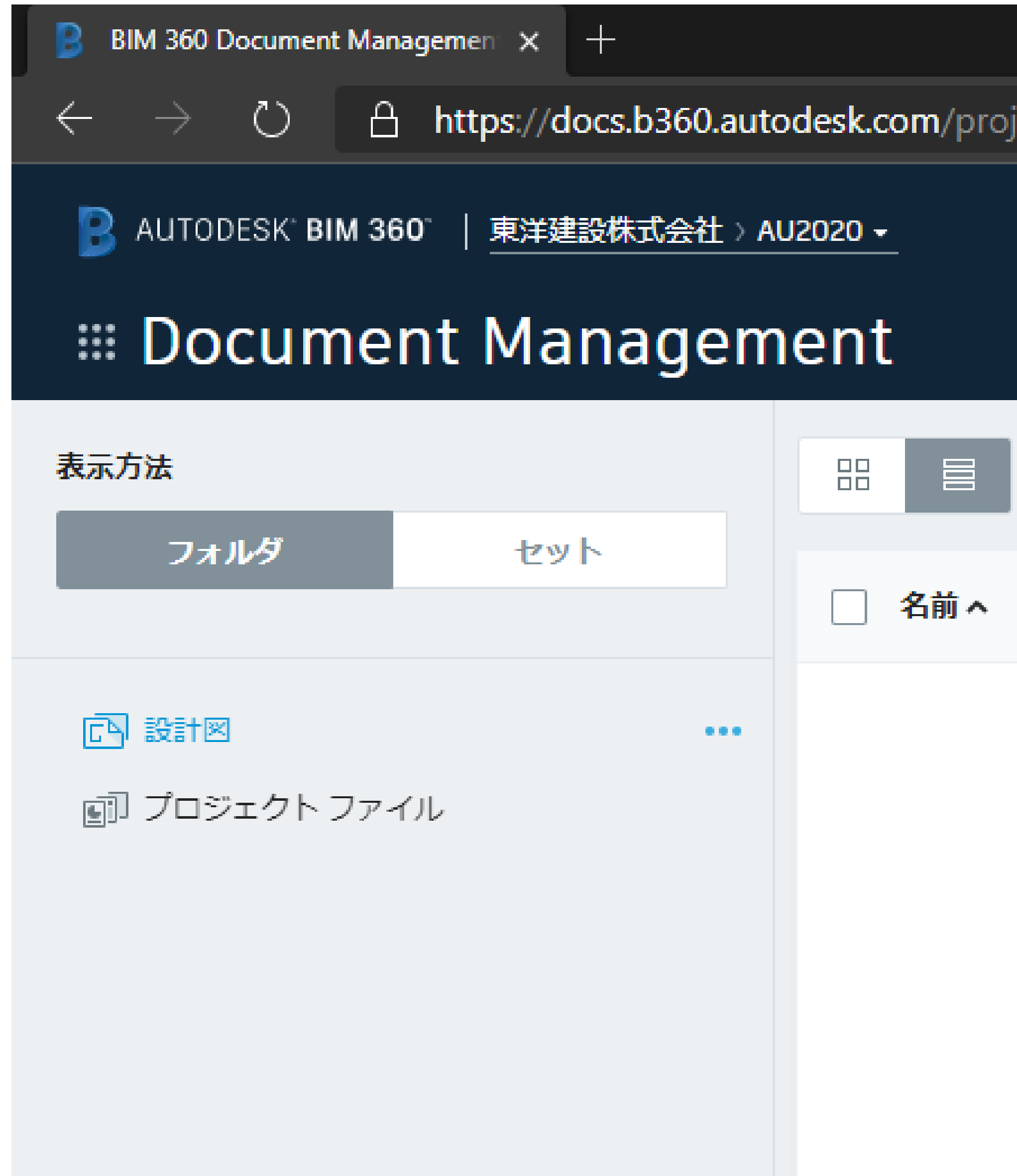
フォルダ セット

プロジェクトファイル

- 社内専用フォルダ
  - 01\_共通書類
  - 02\_意匠
  - 03\_構造
  - 04\_機械設備
  - 05\_電気設備
  - 06\_工事監理
  - 07\_CG
  - 08\_BIM
- 社外共有フォルダ
  - 00\_BIM統合モデル
  - 01\_TOYO（建築・敷地）
  - 02\_専門工事会社（構造）
  - 03\_専門工事会社（機械設備）
  - 04\_専門工事会社（電気設備）
  - 05\_専門工事会社（給排水）
  - 06\_専門工事会社（消火）
  - 07\_専門工事会社（昇降機）
  - 08\_専門工事会社（建具）
  - 20\_仮設計画
  - 30\_BIM調整会議

名前	説明	バージョン
社内専用フォルダ	--	--
社外共有フォルダ	--	--

# 設計図とプロジェクトファイル



## 設計図

2D および 3D 形式の両方で最新の設計図書  
ダウンロード、レビュー、パブリッシュ（公開）  
確認申請図書、契約図面などを管理  
（図面として印刷、製本用図面データなど）

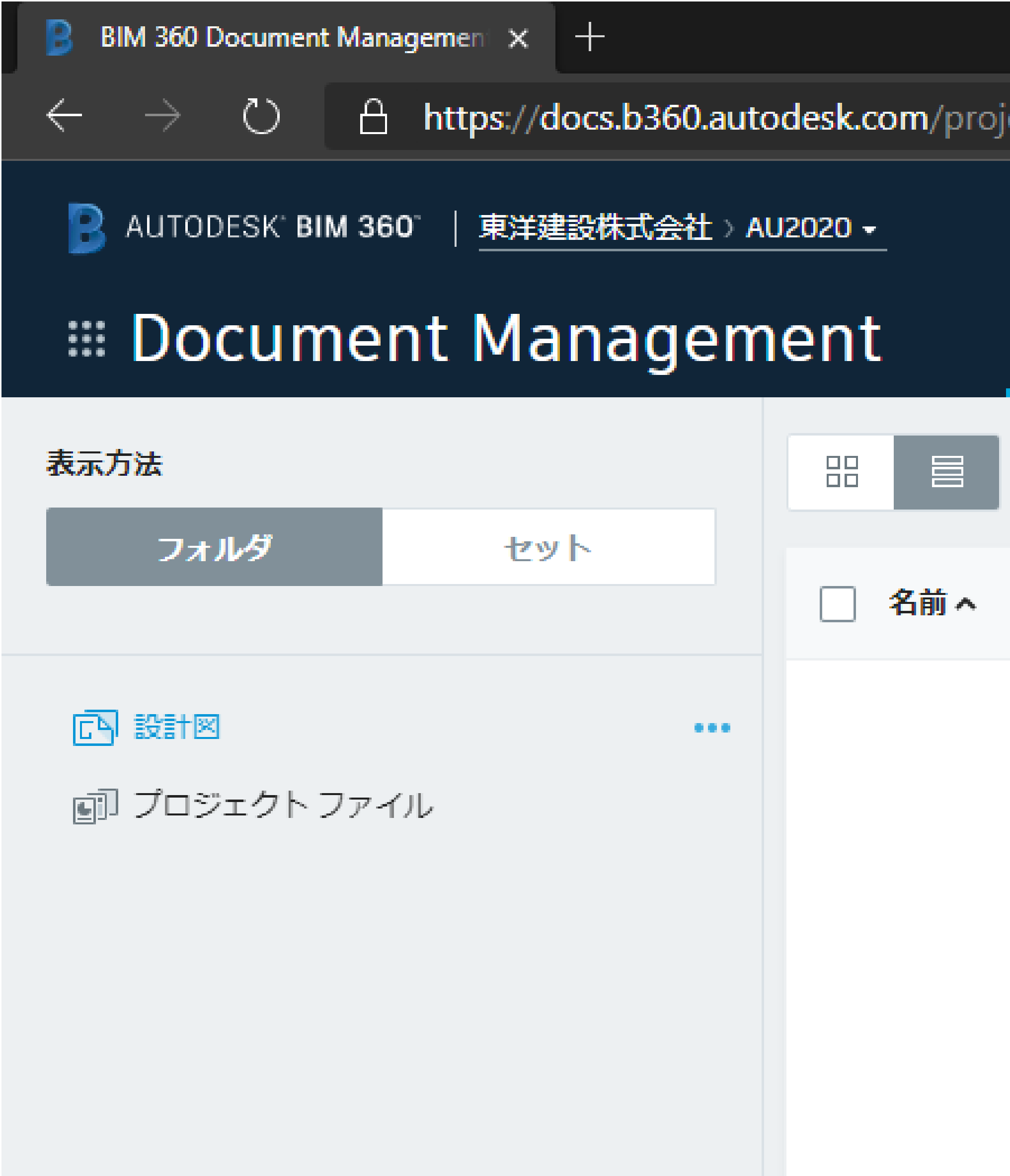
## プロジェクト ファイル

設計データや他のすべてのドキュメント タイプなど、  
あらゆるプロジェクト ドキュメント  
Revitモデルの共有、コラボレーション、コーディネー  
ション（干渉チェック） など

（写真、報告書、工程表、予算、要件文書など）



# 保存できるファイル形式



## [設計図] フォルダ

PDF、DWF、RVT、IFC、DWG

詳細：「[ファイル サポート リファレンス](#)」を参照

## [プロジェクト ファイル] フォルダ

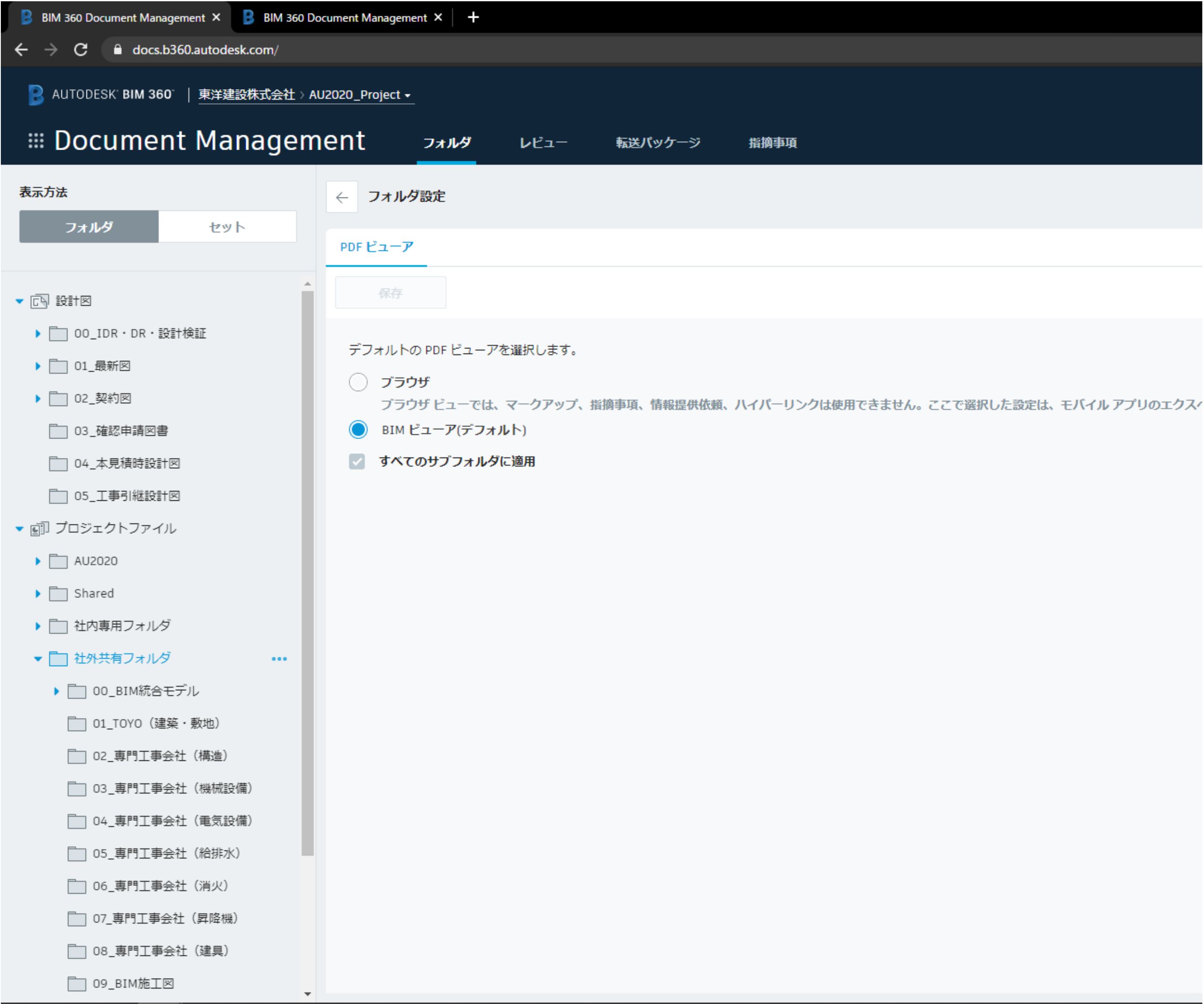
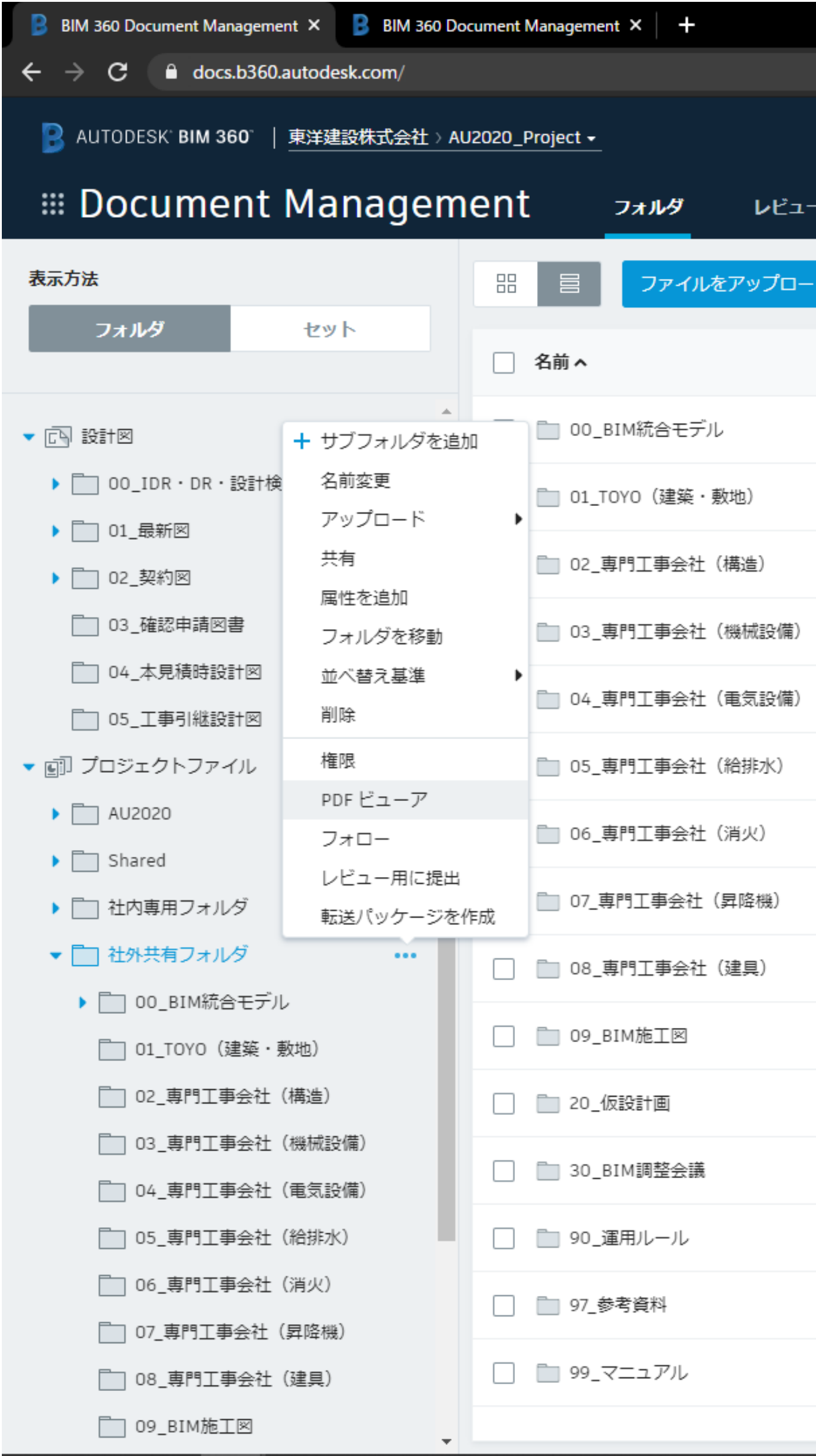
無償アカウント: PDF、DWF、RVT、IFC、DWG、NWC、NWD

サブスクリプション: 任意の種類のファイル

詳細：「[ファイル サポート リファレンス](#)」を参照  
Microsoft® Office 365 サブスクリプション

Office365	表示専用形式	サイズ制限を表示	推奨される共同作成形式	編集形式	サイズ制限を編集
Word	doc、dot、dotm、dotx、rtf	Microsoft と Autodesk のサーバ間で 60 秒以内に転送する必要があります	docx	docm、odt	400MB
Excel	csv、xls	5MB	xlsx	ods、xlsb、xlsm	5MB
PowerPoint	pot、potm、potx、pps、ppsm、ppt、pptm	Microsoft と Autodesk のサーバ間で 60 秒以内に転送する必要があります	pptx	odp、ppsx	300MB
Visio	vsd、vst、vsdx、vsd、および vsdm		編集はサポートされていません	編集はサポートされていません	編集はサポートされていません

# PDFビューアとフォロー



# PDFビューアとフォロー

The screenshot displays the BIM 360 Document Management web application. The interface includes a top navigation bar with the Autodesk BIM 360 logo and project information (東洋建設株式会社 > AU2020\_Project). Below this is a 'Document Management' header with tabs for 'フォルダ' (Folders), 'レビュー' (Review), '転送パッケージ' (Transfer Package), and '指摘事項' (Issues). The main area shows a list of folders under the 'フォルダ' tab. A context menu is open over the '設計図' (Design Drawing) folder, showing options like 'サブフォルダを追加' (Add Subfolder), '名前変更' (Rename), 'アップロード' (Upload), '共有' (Share), '属性を追加' (Add Properties), 'フォルダを移動' (Move Folder), '並べ替え基準' (Sort By), '削除' (Delete), '権限' (Permissions), 'PDF ビューア' (PDF Viewer), 'フォロー' (Follow), 'レビュー用に提出' (Submit for Review), and '転送パッケージを作成' (Create Transfer Package). The 'フォロー' option is highlighted. A dialog box titled 'フォルダをフォロー' (Follow Folder) is open, asking if the user wants to follow the folder. It provides two options: 'このフォルダのみ' (This folder only) and 'このフォルダとすべてのサブフォルダ' (This folder and all subfolders). The second option is selected. There is also a link for 'フォローの詳細' (Follow details). The dialog box has 'キャンセル' (Cancel) and 'フォロー' (Follow) buttons. The background shows a table of folders with columns for name, description, version, size, last update, updater, markups, issues, approval status, and set.

名前	説明	バージョン	サイズ	最終更新	更新者	マークアップ	指摘事項	承認ステータス	セット
00_BIM統合モデル						--	--	--	--
01_TOYO (建築・敷地)						--	--	--	--
02_専門工事会社 (構造)						--	--	--	--
03_専門工事会社 (機械設備)						--	--	--	--
04_専門工事会社 (電気設備)						--	--	--	--
05_専門工事会社 (給排水)						--	--	--	--
06_専門工事会社 (消火)						--	--	--	--
07_専門工事会社 (昇降機)						--	--	--	--
08_専門工事会社 (建具)						--	--	--	--
09_BIM施工図				2020年10月1日 12:18	Tetsuya Maeda	--	--	--	--
20_仮設計画				2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
30_BIM調整会議				2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
90_運用ルール				2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
97_参考資料				2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
99_マニュアル				2020年9月21日 12:31		--	--	--	--



# 運用中のフォルダ構成例

BIM 360 Document Management

×

BIM 360 Document Management

×

+

←

→

↺

docs.b360.autodesk.com/

olders/urn:adsk.wipprod:fs.folder:co.UCvQfL3QSY

AUTODESK BIM 360

東洋建設株式会社

Document Management

フォルダ

レビュー

転送パッケージ

指摘事項

表示方法

フォルダ

セット

24 個の項目を表示中

設計図

00\_IDR・DR・設計検証

01\_IDR

02\_設計検証-1

03\_DR-2

04\_設計検証-2

意匠図

構造図

機械設備図

電気設備図

05\_DR3

06\_工事引継会議

01\_最新図

02\_契約図

01\_建築

02\_構造

03\_機械設備

04\_電気設備

05\_昇降機

03\_確認申請図書

02\_本申請

04\_本見積時設計図面

<input type="checkbox"/>	名前へ	マークアップ	タイトル	番号
<input type="checkbox"/>	A-01	2	概要書、外	A-01
<input type="checkbox"/>	A-02	1	内部仕上表	A-02
<input type="checkbox"/>	A-03	4	配置図兼屋	A-03
<input type="checkbox"/>	A-04	6	ピット図	A-04
<input type="checkbox"/>	A-05	4	1 階平面図	A-05
<input type="checkbox"/>	A-06	3	2 階平面図	A-06
<input type="checkbox"/>	A-07	1	3 - 7 階平面	A-07
<input type="checkbox"/>	A-08	1	8 - 9 階平面	A-08
<input type="checkbox"/>	A-09	4	1 0 階平面	A-09
<input type="checkbox"/>	A-10	2	立面図1	A-10
<input type="checkbox"/>	A-12	0	CG1	A-12
<input type="checkbox"/>	A-13	1	CG2	A-13
<input type="checkbox"/>	A-14	0	CG3	A-14
<input type="checkbox"/>	A-15	0	CG4	A-15
<input type="checkbox"/>	A-11	1	断面図	A-11
<input type="checkbox"/>	C-1		設備概要書	C-1

BIM 360 Document Management

×

BIM 360 Document Management

×

+

←

→

↺

docs.b360.autodesk.com/

lers/urn:adsk.wipprod:fs.folder:co.biLHYspuRnKa

AUTODESK BIM 360

東洋建設株式会社

Document Management

フォルダ

レビュー

転送パッケージ

指摘事項

表示方法

フォルダ

セット

18 個の項目を表示中

共通書類・共有フォルダ

社内専用フォルダ

社外共有フォルダ

00\_BIM統合モデル

01\_TOYO (建築・敷地)

02-1\_ (鉄骨)

02-2\_ (鉄骨)

03\_ (電気設備)

04\_ (機械設備)

04\_ (機械設備) .9

BIM用IFCデータ

外構図

機械設備施工図 (tfas)

納入仕様書

001\_

002\_

003\_

004\_

005\_

006\_

007\_

008\_

<input type="checkbox"/>	名前へ	説明	バー
<input type="checkbox"/>	04_ (機械設備) .9	--	--
<input type="checkbox"/>	BIM用IFCデータ	--	--
<input type="checkbox"/>	外構図	--	--
<input type="checkbox"/>	機械設備施工図 (tfas)	--	--
<input type="checkbox"/>	納入仕様書	--	--
<input type="checkbox"/>	製作図プロット	--	--
<input type="checkbox"/>	設備電気総合図	--	--
<input type="checkbox"/>	躯体スリーブ図	--	--
<input type="checkbox"/>	鉄骨スリーブ図	--	--
<input type="checkbox"/>	電気設備より	--	--
<input type="checkbox"/>	(他)(海老名新倉...		V1
<input type="checkbox"/>	FXYKP28CA.pdf		V1
<input type="checkbox"/>	凡例図.tfs		V1
<input type="checkbox"/>	外壁貫通_200525.tfs		V1
<input type="checkbox"/>	外構図(1)~(6) 200608.tfs		V1
<input type="checkbox"/>	外構図 (M・E) 0428.tfs		V1

AU2020 | Slide number 35

© TOYO CONSTRUCTION CO., LTD. All rights reserved

# Revit / Navisworks 連携ビュー

BIM 360 Document Management

docs.b360.autodesk.com/

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > AU2020\_Project

Document Management

フォルダ

レビュー

転送パッケージ

指摘事項

表示方法

フォルダ

セット

プロジェクトファイル

AU2020

Shared

社内専用フォルダ

社外共有フォルダ

00\_BIM統合モデル

Sample01

Sample02

Sample03

Sample-Coordination1

Sample-Coordination2

01\_TOYO (建築・敷地)

02\_専門工事会社 (構造)

03\_専門工事会社 (機械設備)

04\_専門工事会社 (電気設備)

05\_専門工事会社 (給排水)

06\_専門工事会社 (消火)

07\_専門工事会社 (昇降機)

08\_専門工事会社 (建具)

09\_BIM施工図

20\_仮設計画

30\_BIM調整会議

ファイルを上アップロード

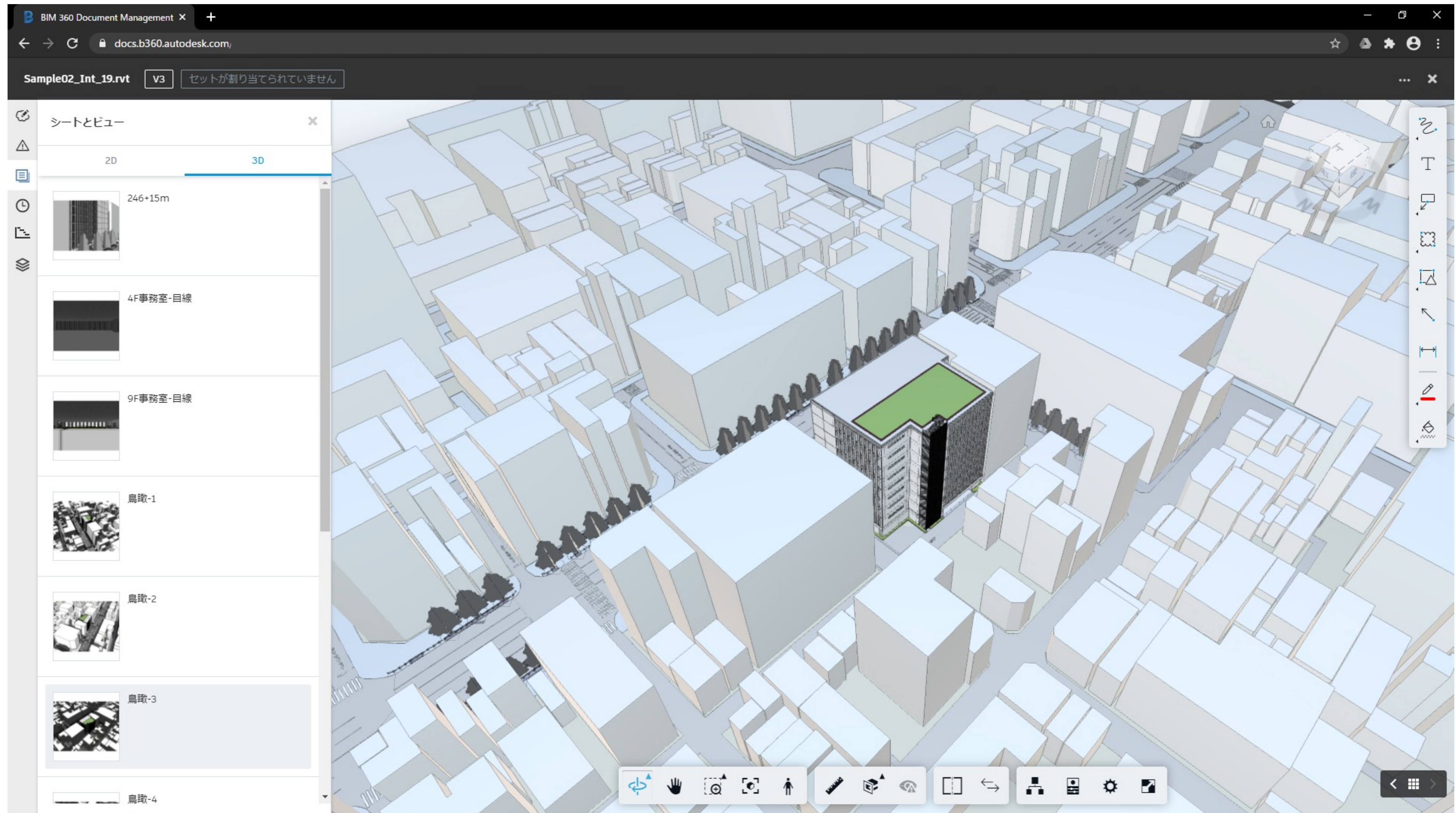
5 個の項目を表示中

ドキュメントを検索

名前	説明	バージョン	サイズ	更新者	マークアップ	指摘事項	承認ステータス	セット
Sample02-Building_19.rvt		V3	15.2 MB	Tetsuya Maeda				
Sample02-Kagu3-9F_19.rvt		V2	31.8 MB	Tetsuya Maeda				
Sample02-Kagu579F_19.rvt		V1	33.9 MB	Tetsuya Maeda				
Sample02_Gaiku_19.rvt		V3	12.5 MB	Tetsuya Maeda				
Sample02_Int_19.rvt	...	V3	2.1 MB	Tetsuya Maeda				

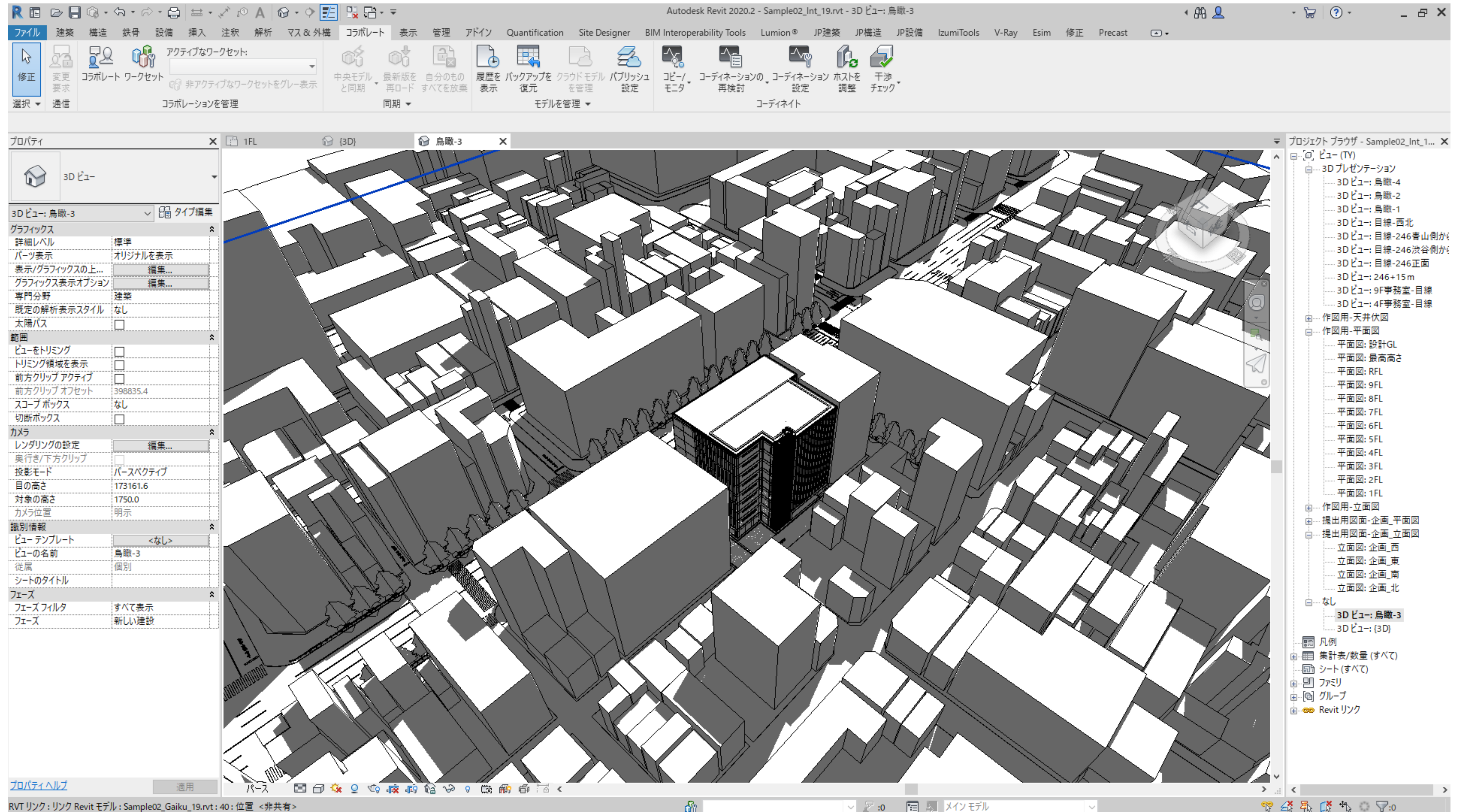


# Revit / Navisworks 連携ビュー



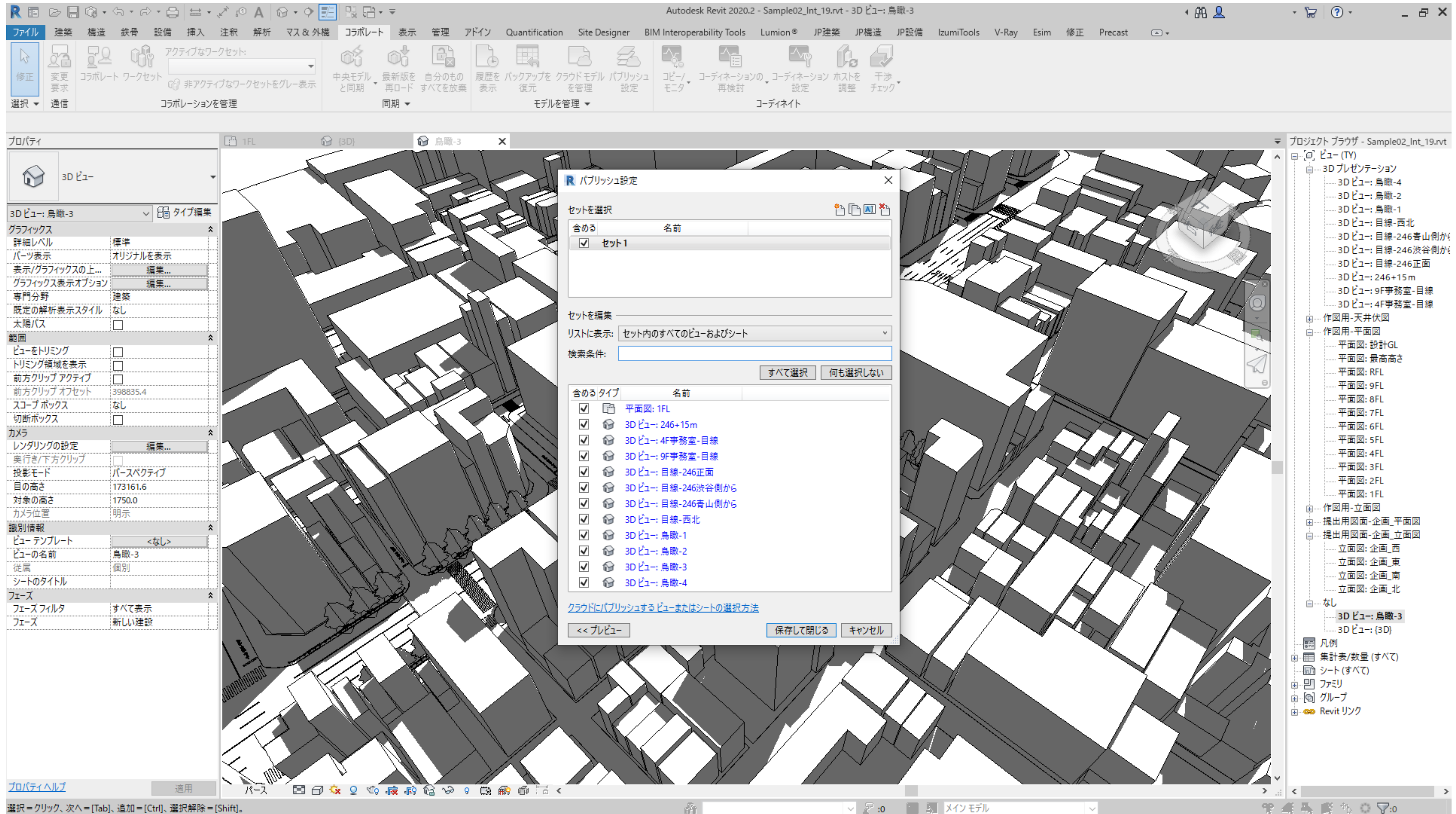


# Revit / Navisworks 連携ビュー



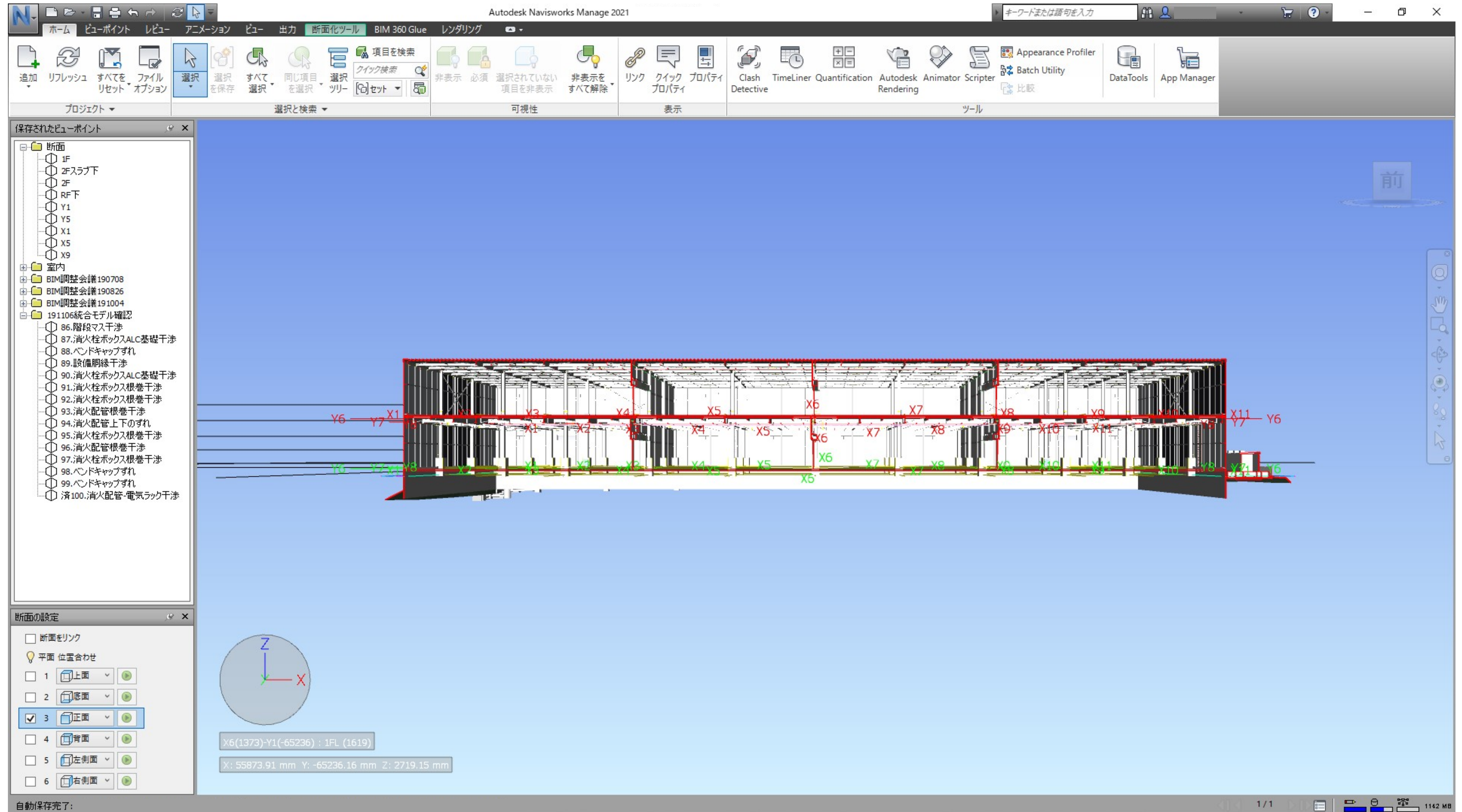


# Revit / Navisworks 連携ビュー



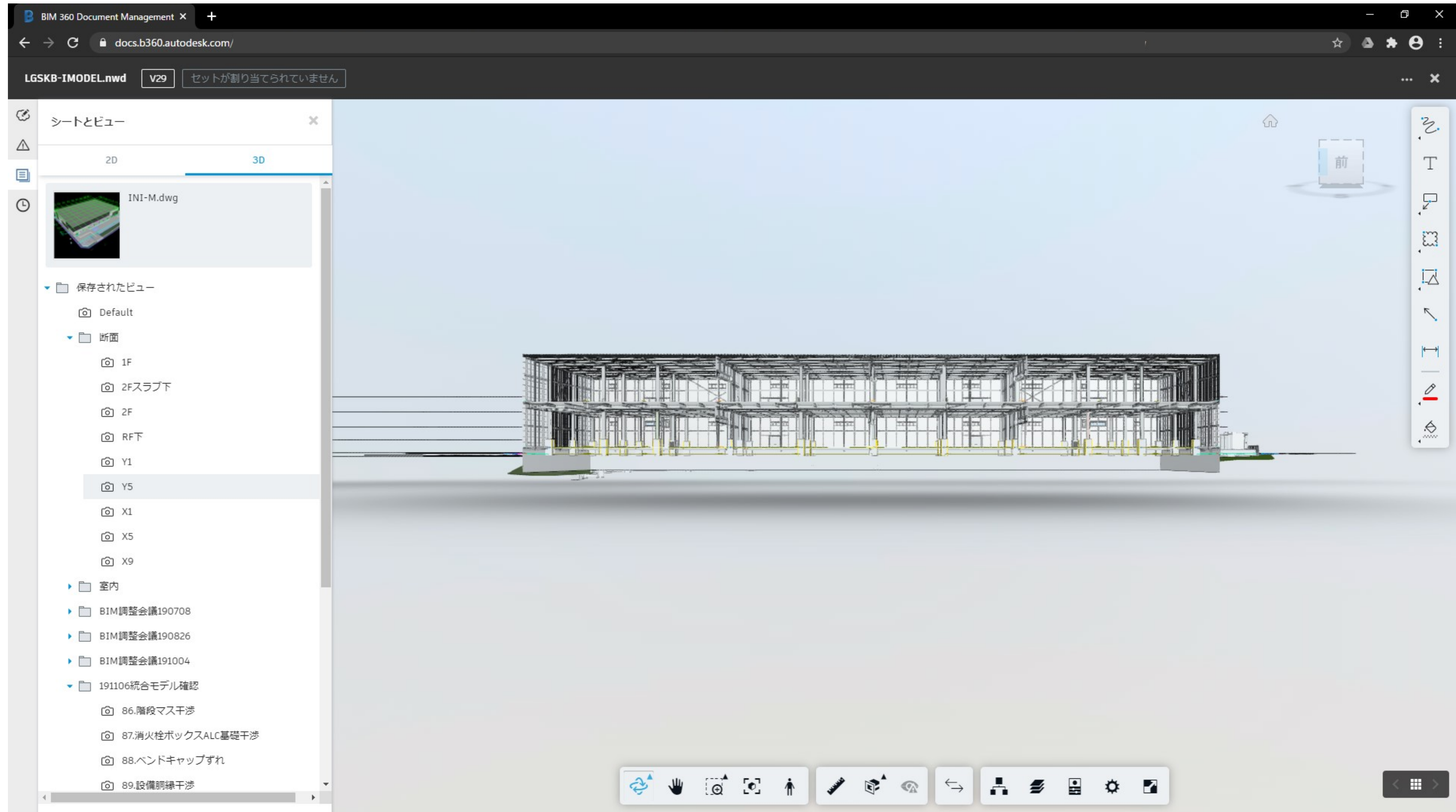


# Revit / Navisworks 連携ビュー

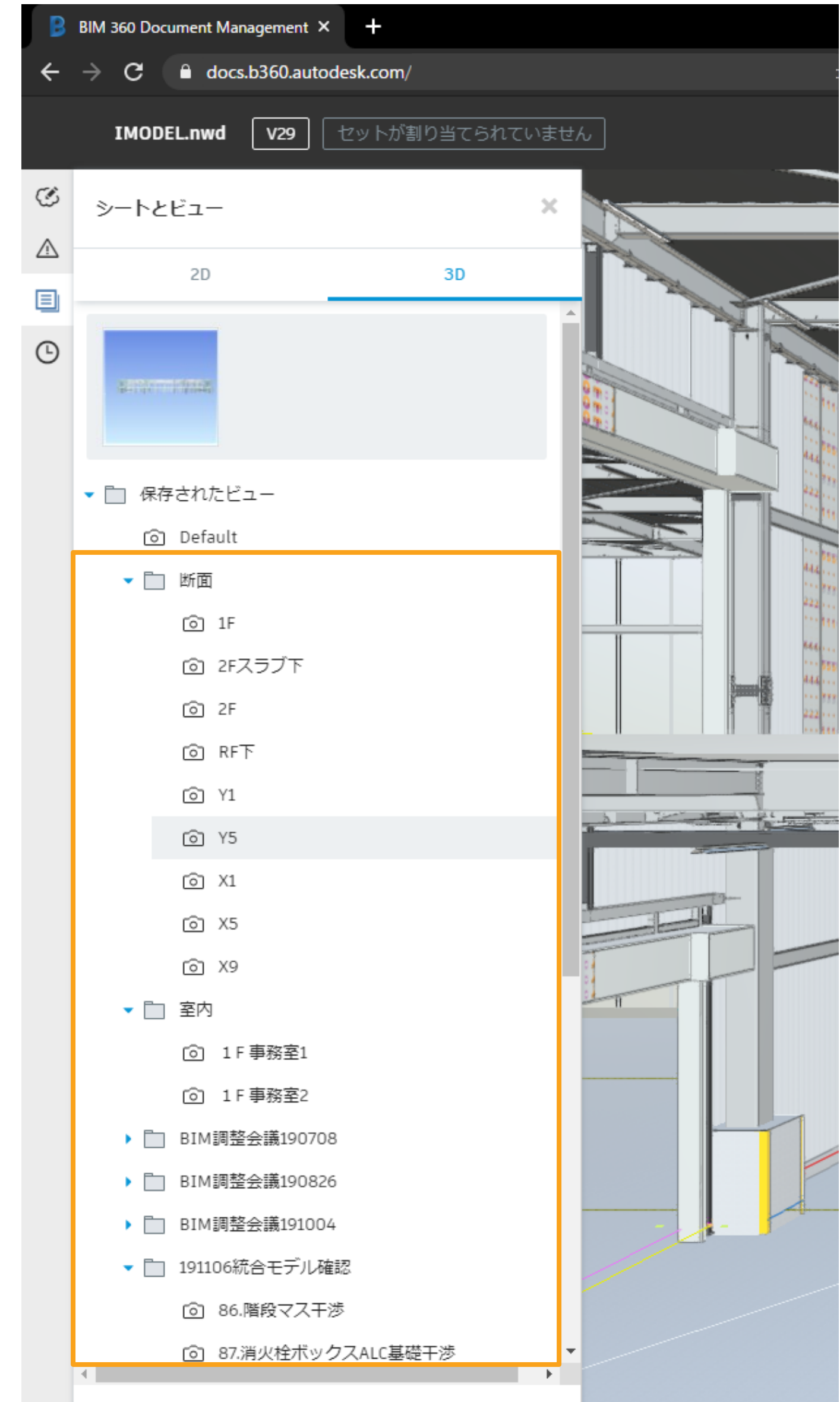
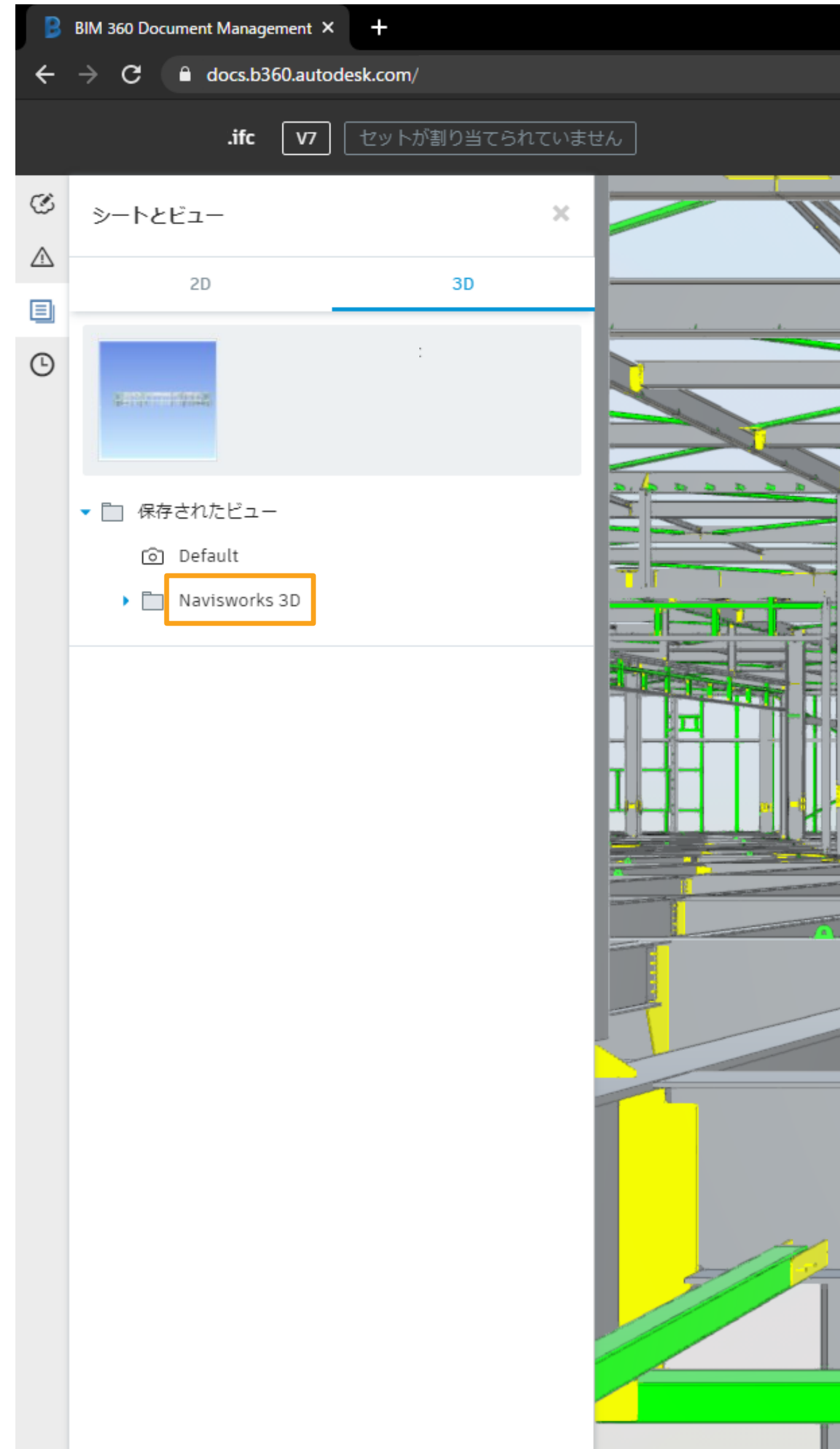
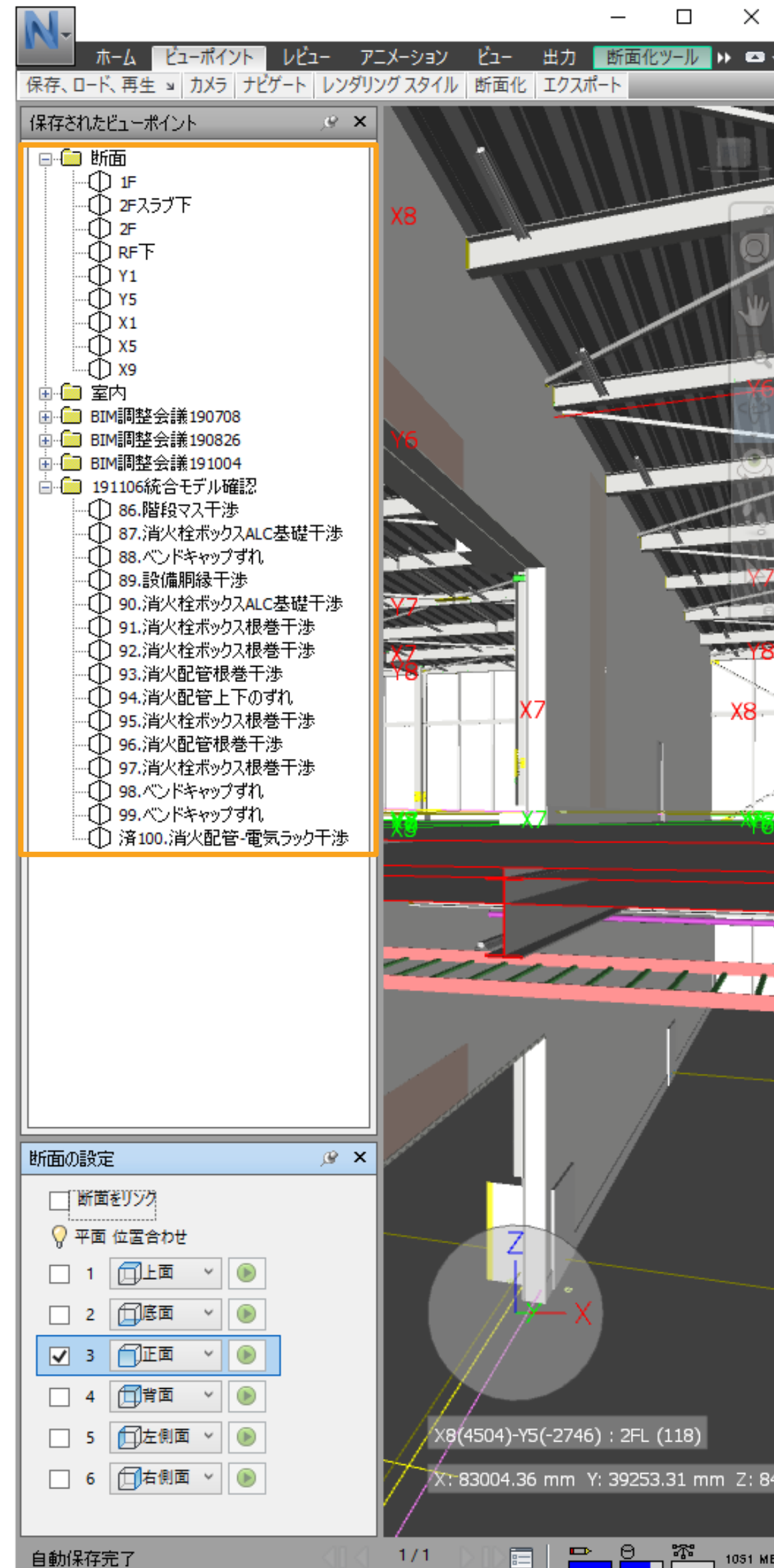




# Revit / Navisworks 連携ビュー



# Revit / Navisworks 連携ビュー



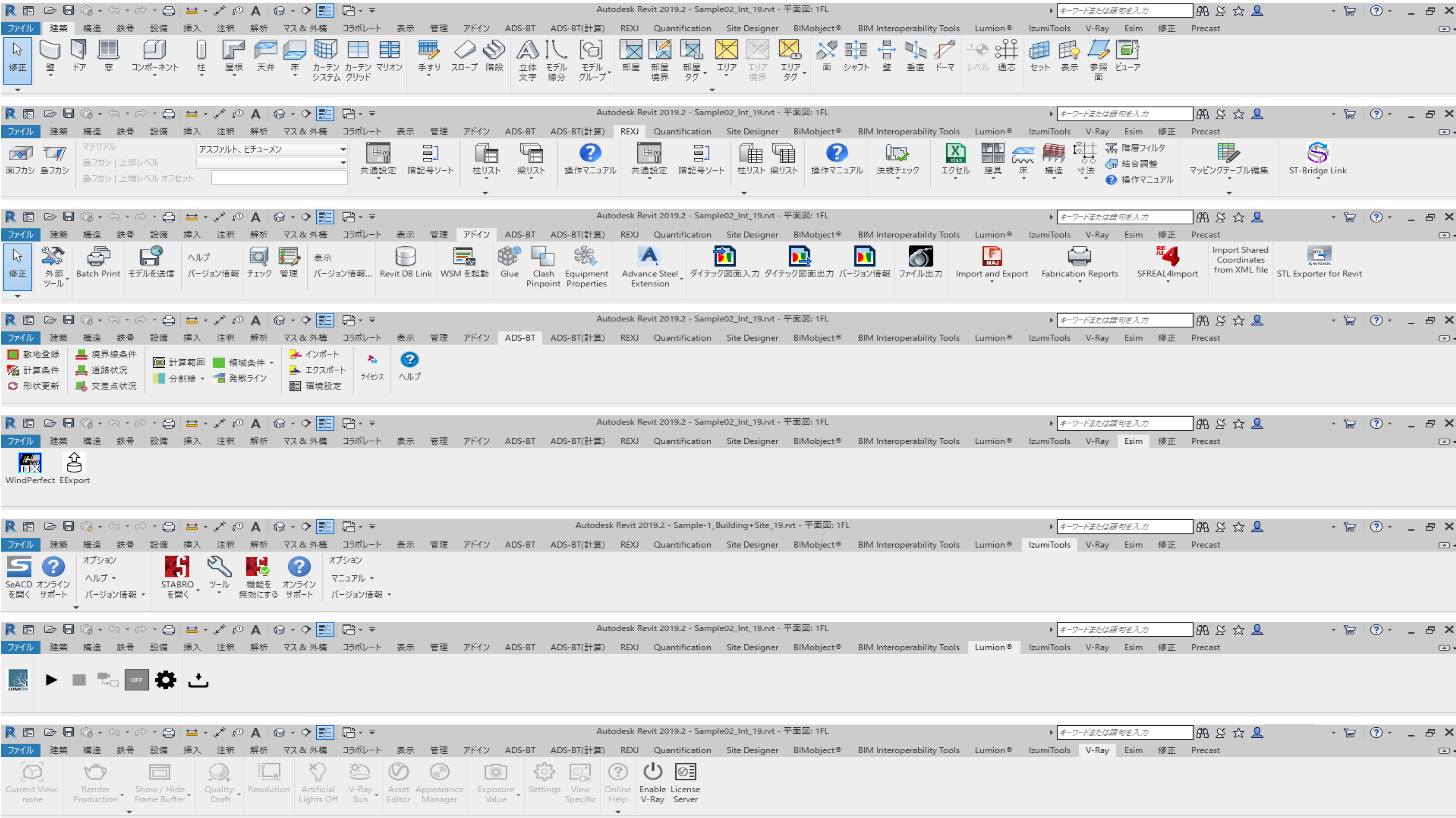


# Revitモデルを中心とした各種 ソフトウェアとのBIMデータ連携

- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

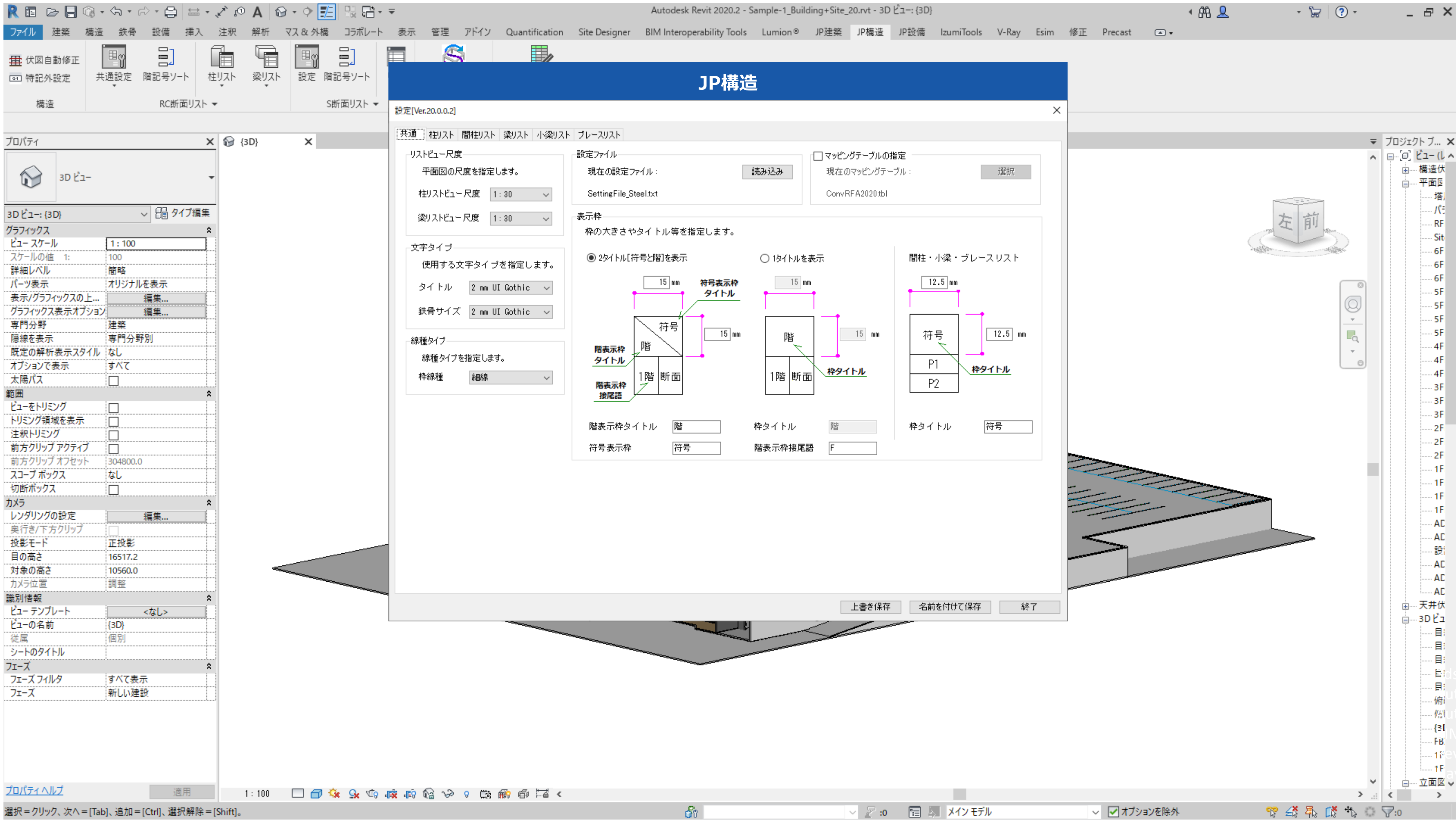


# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携

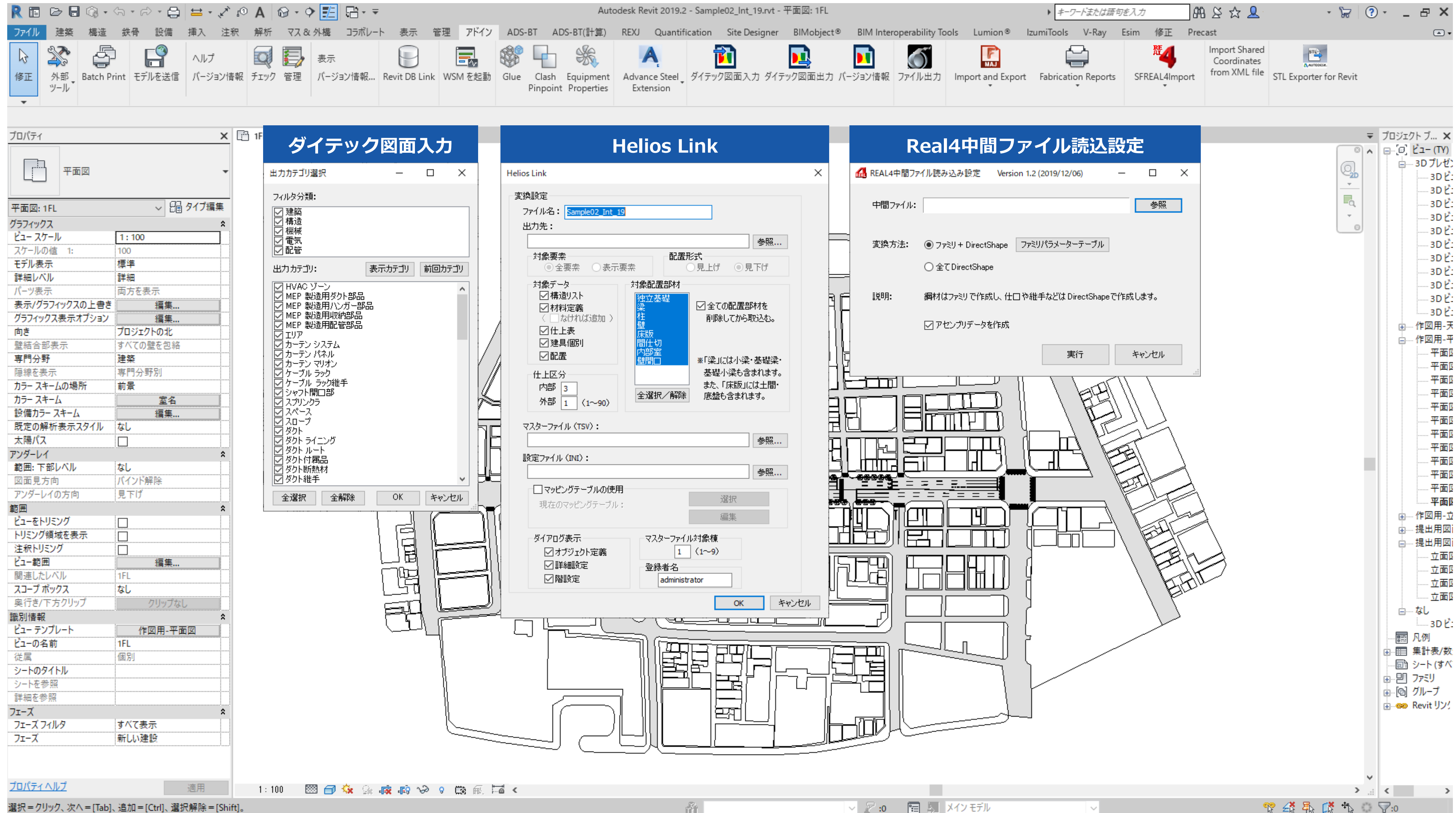




# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携

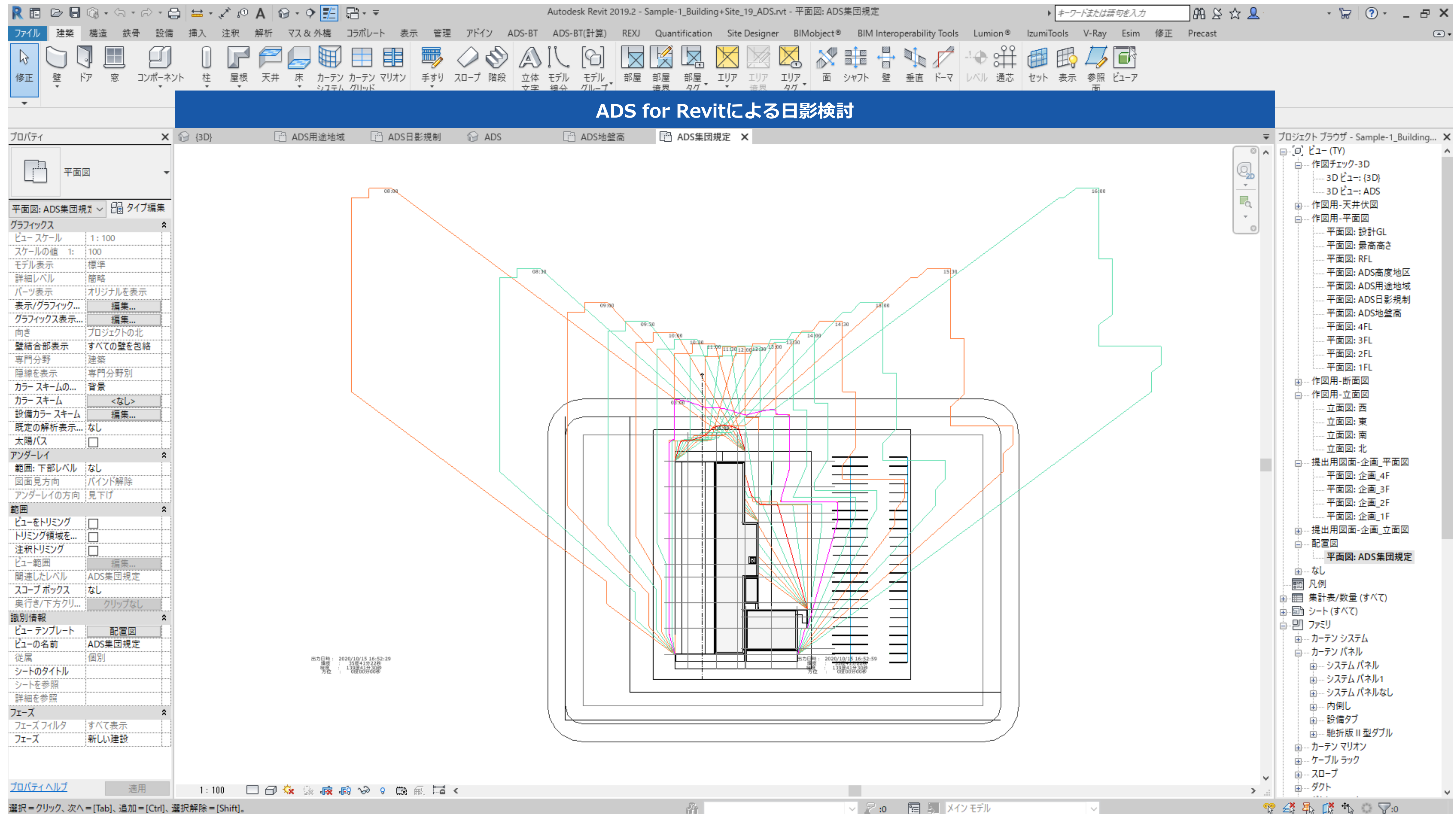


# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携



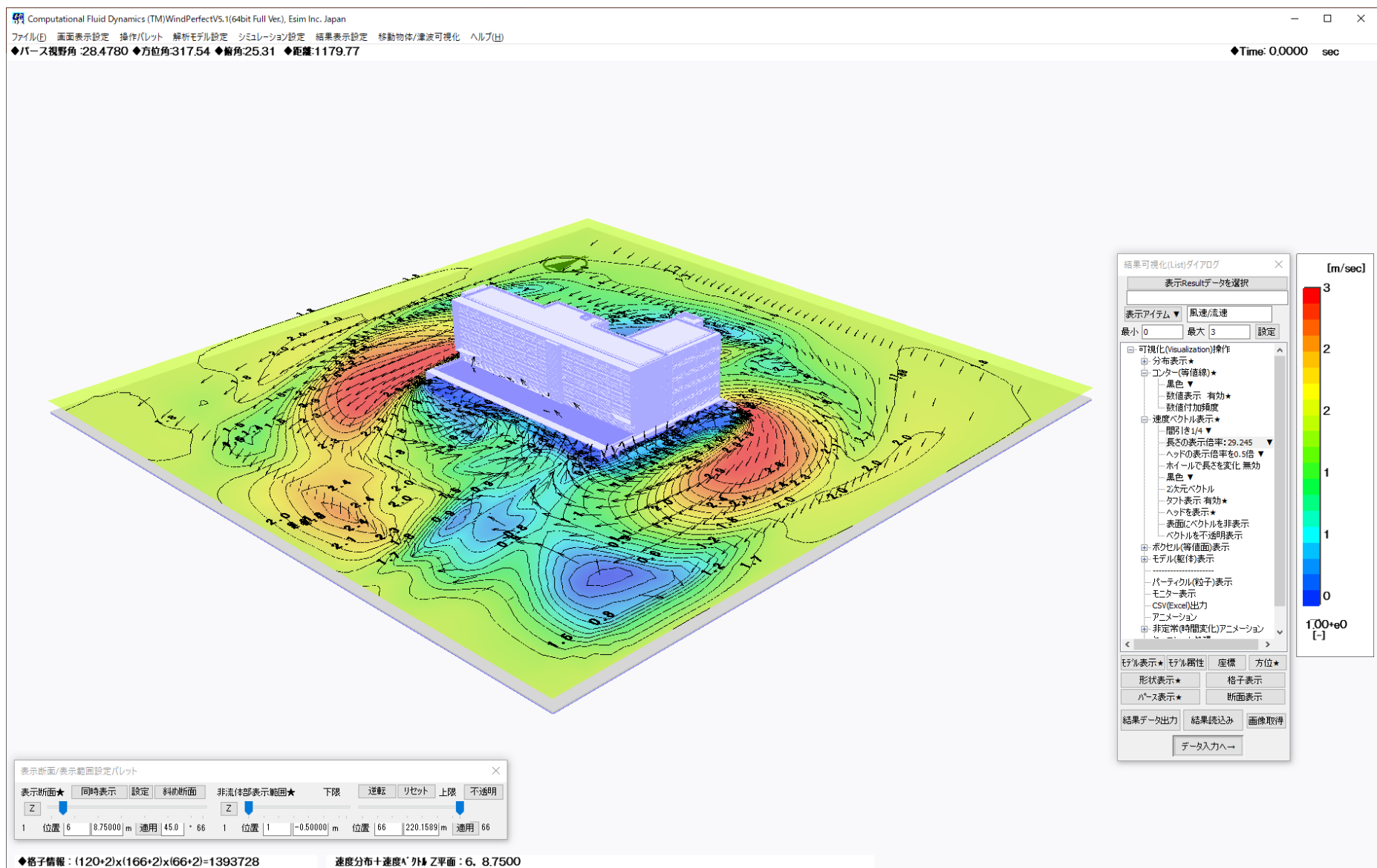
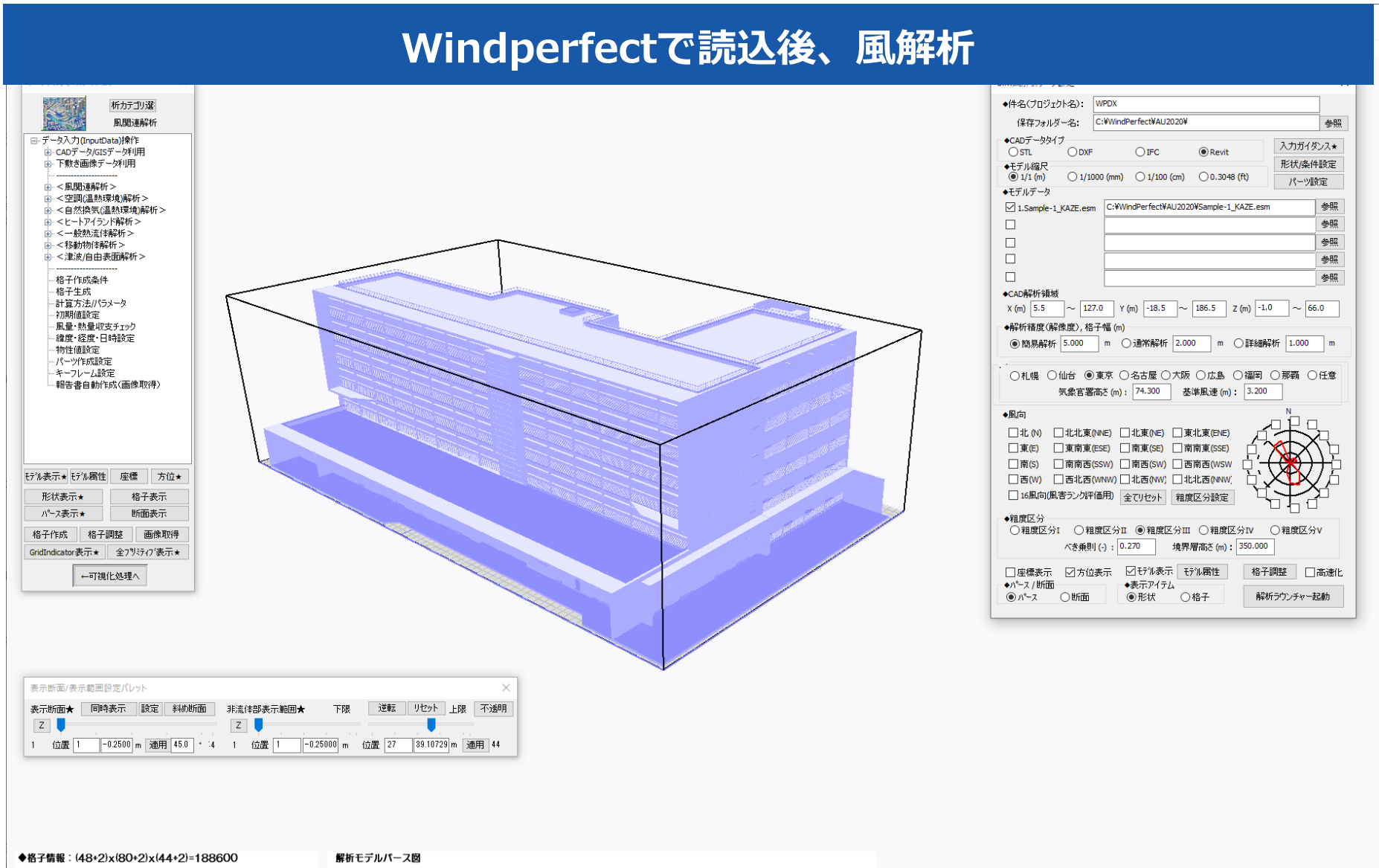
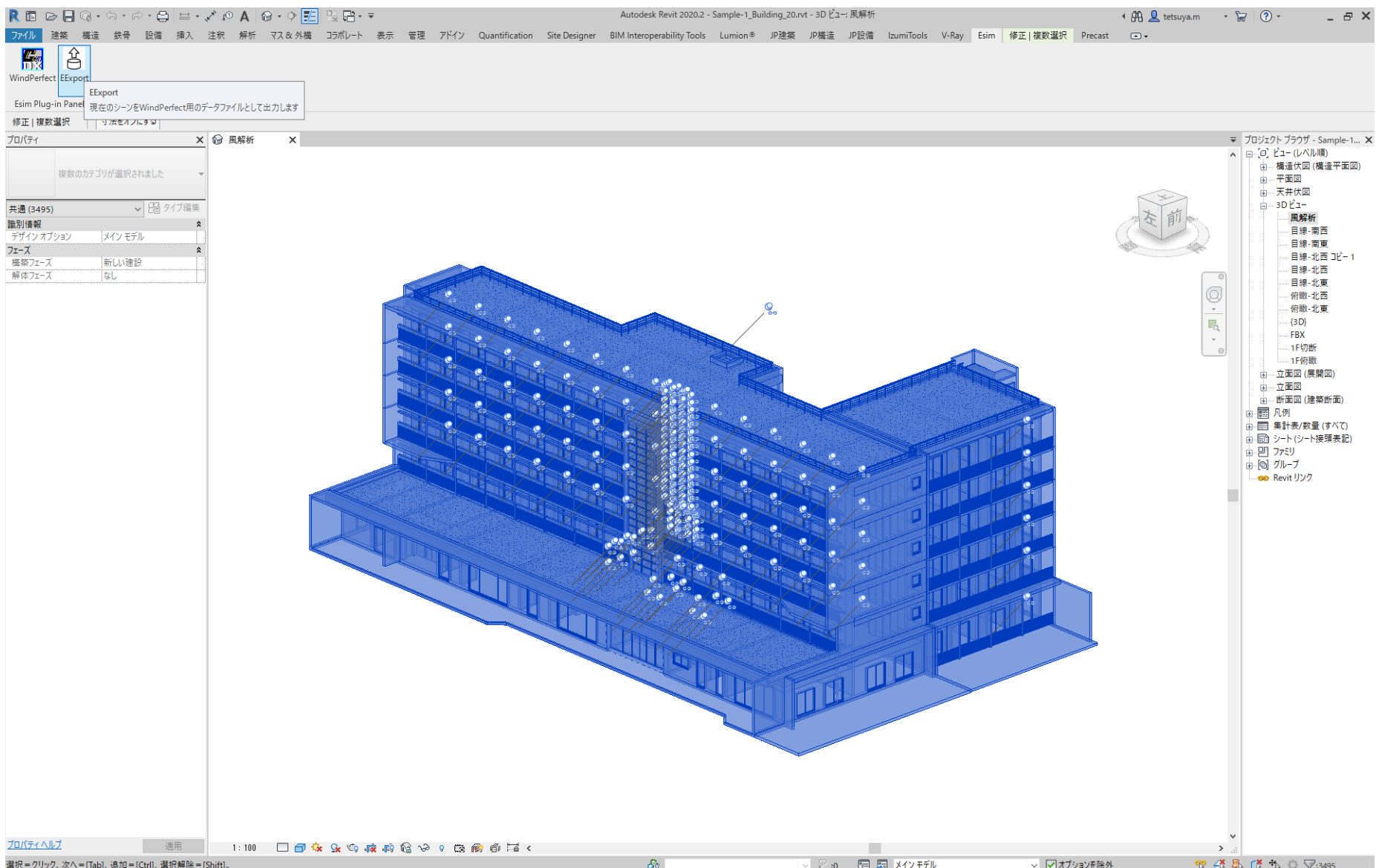
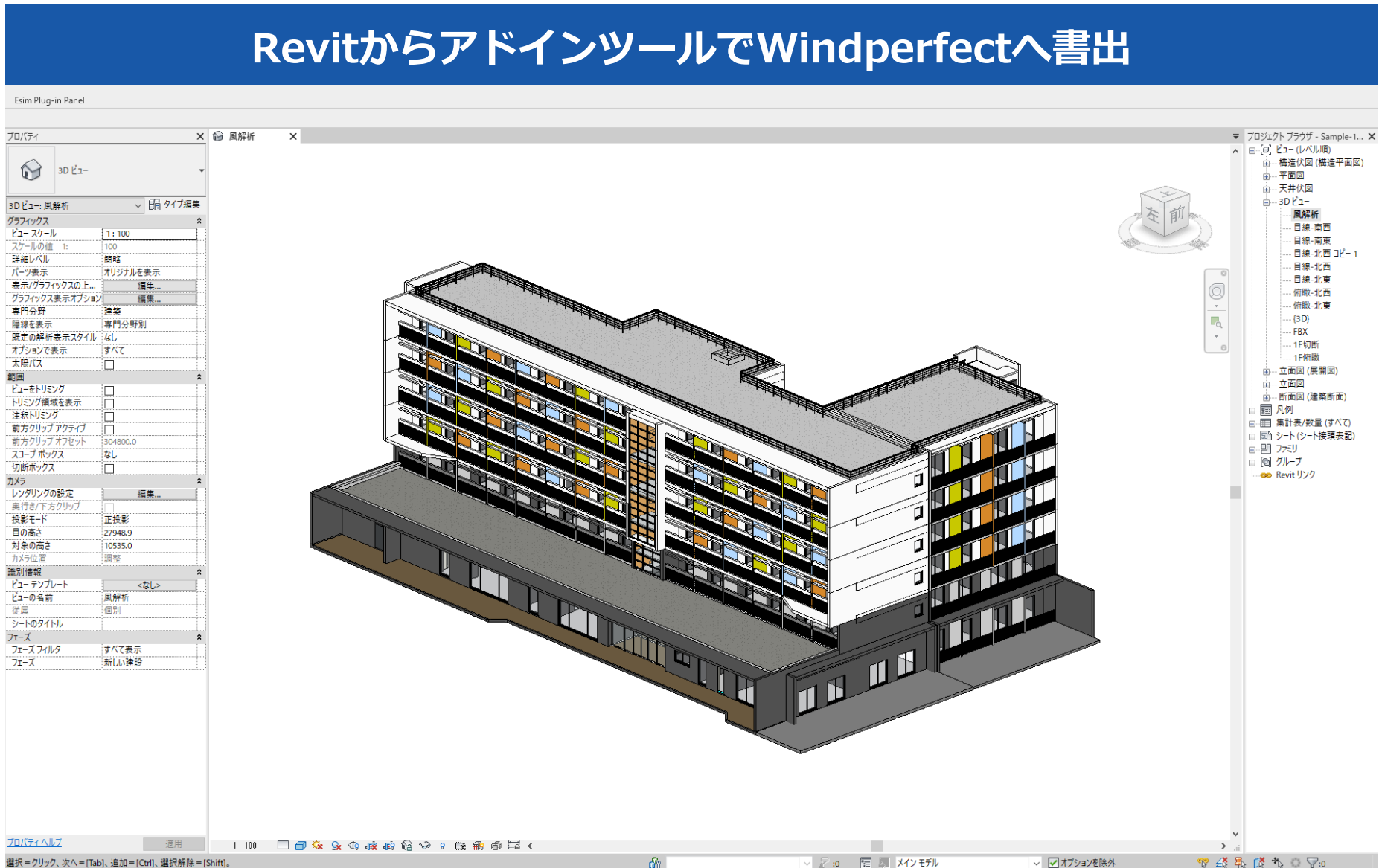


# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携



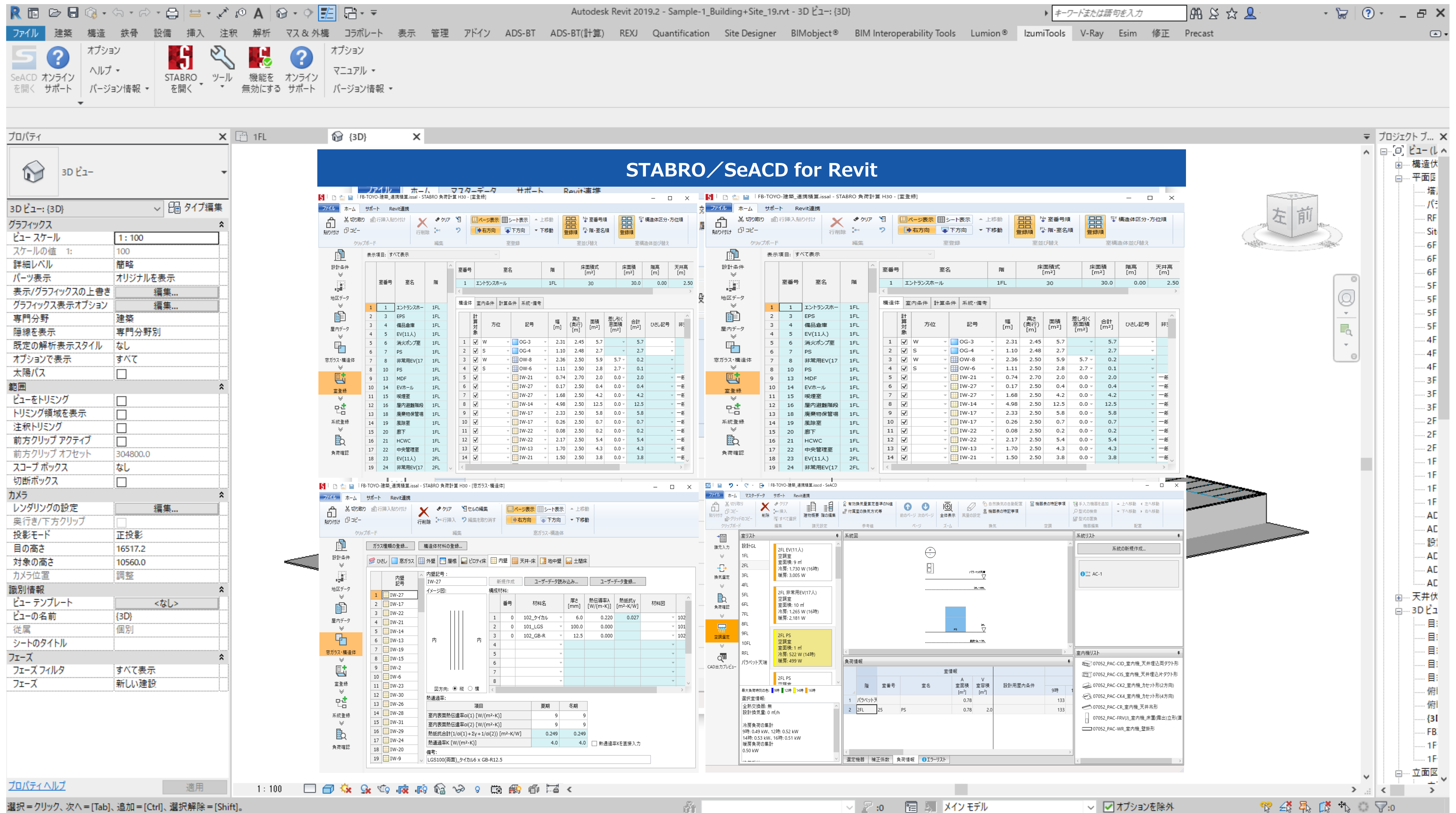


# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携





# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携





# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携

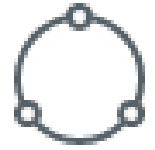




# BIM 360®

## Design Collaboration

## Model Coordination



Design  
Collaboration




Model  
Coordination


- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®




# BIM 360® Design Collaboration




Project Home




Insight




Document Management




Design Collaboration



Model Coordination



Project Admin



Account Admin

[プライバシー](#) | [使用条件](#)

© 2020 Autodesk Inc. All rights reserved.

36週

37週

1ヶ月

38週

39週

+

2020/09/23

10

4

シート

3D ビュー

プロジェクトモデル

チームのすべての指摘事項

▼

🔍 検索

フィルタがオン

書き出す

シート	3D ビュー	更新日 ▼
10	4	9月 23, 2020 17:33

ステータス	ID ▼	サブタイプ	タイトル	割り当て先	期日		
未完了	62	02_協議	4.内部階段外側の手すり必要確認		-	3	0
未完了	61	02_協議	3.BIMモデルに部屋名入力		-	1	0
未完了	60	01_修正依頼	2.外構仕上レベル確認		-	1	0
未完了	59	02_協議	1.バリアカーなどの設置検討		-	2	1
回答済み	58	01_修正依頼	窓 ?		-	1	0
未完了	57	02_協議	5.駐車場 排水確認		-	1	0
未完了	56	01_修正依頼	4.駐車場折上げ天井確認		-	1	0

1 ~ 7/7 を表示しています

<< < 1 / 1 > >>

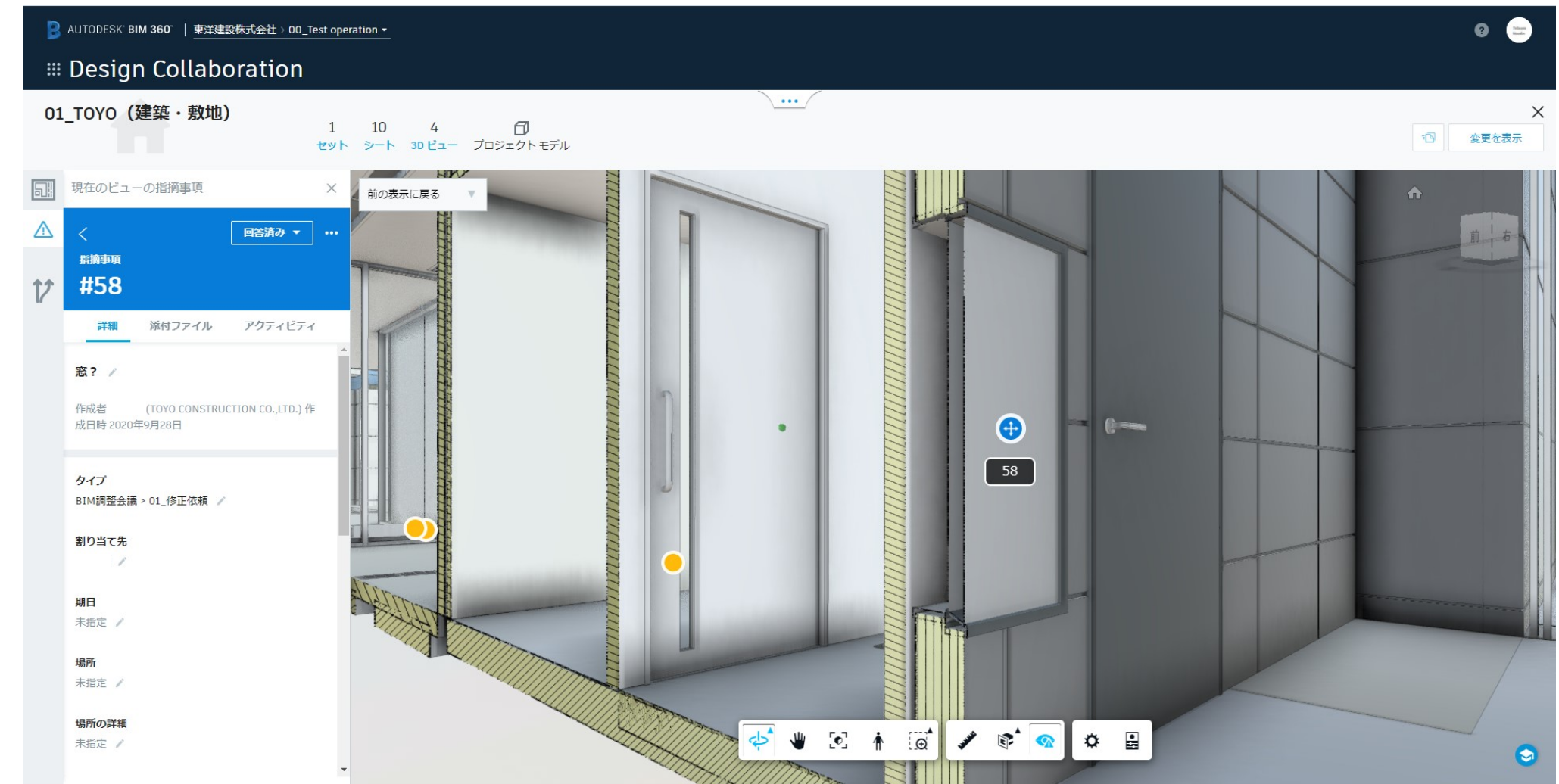
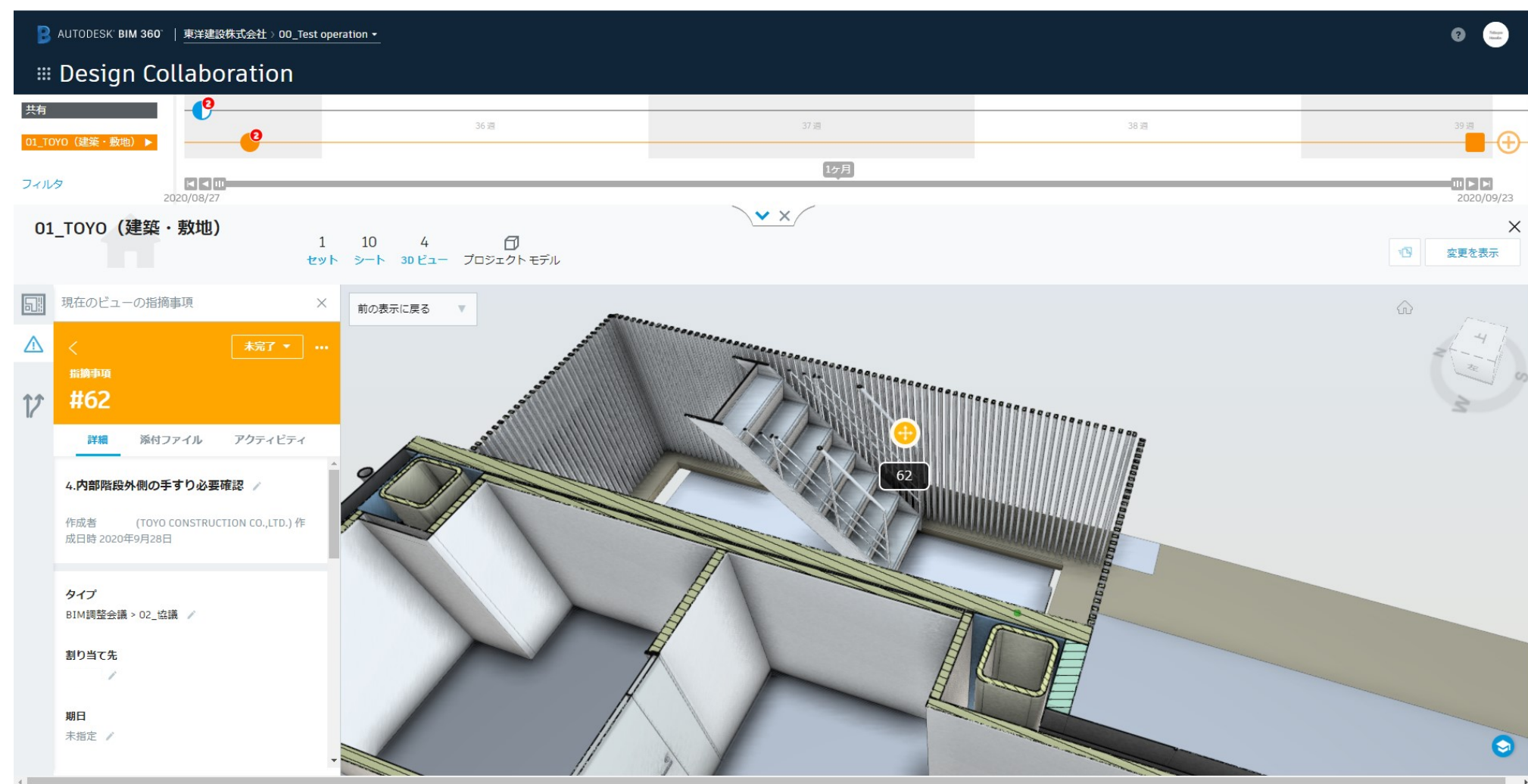
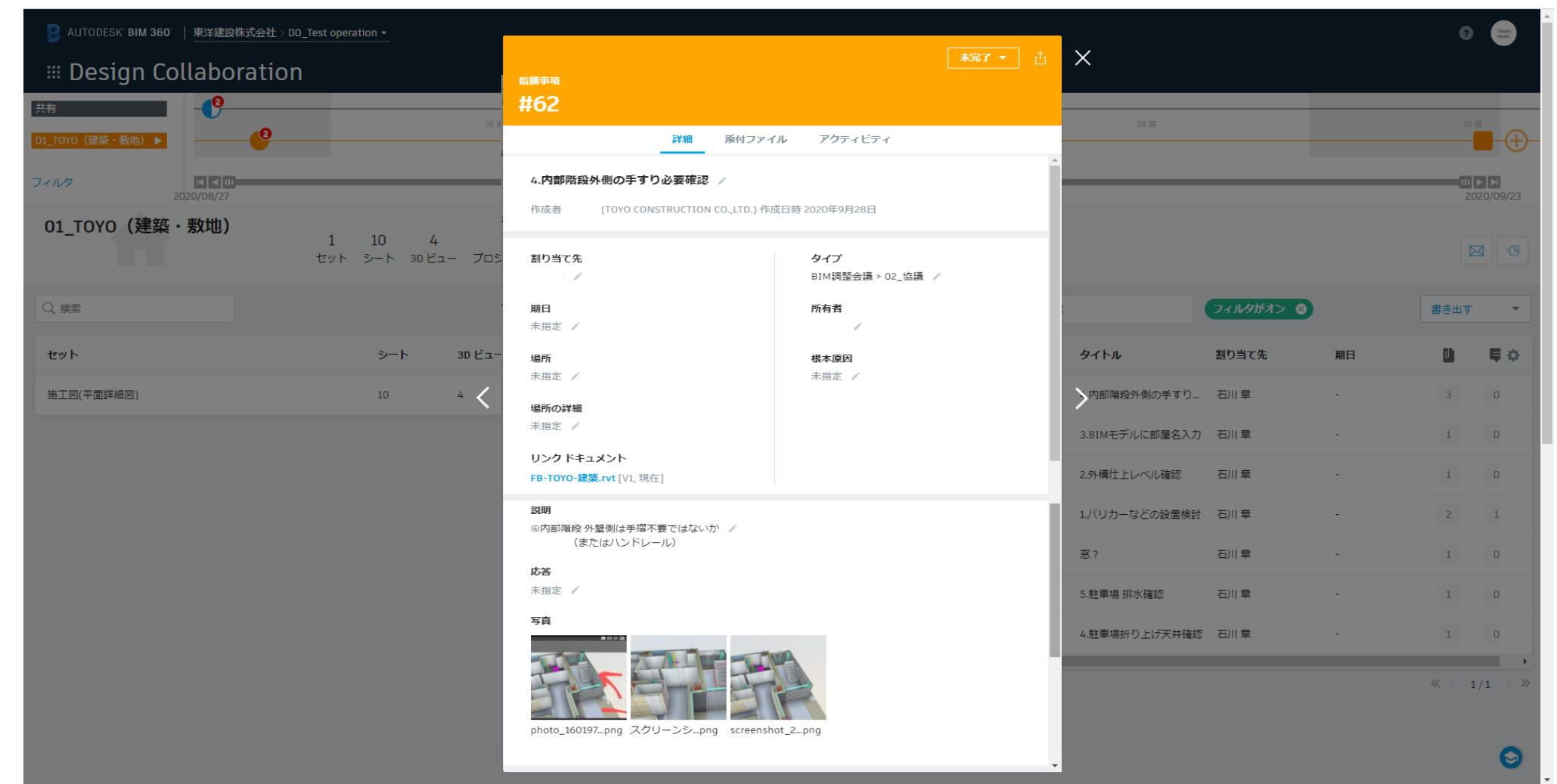
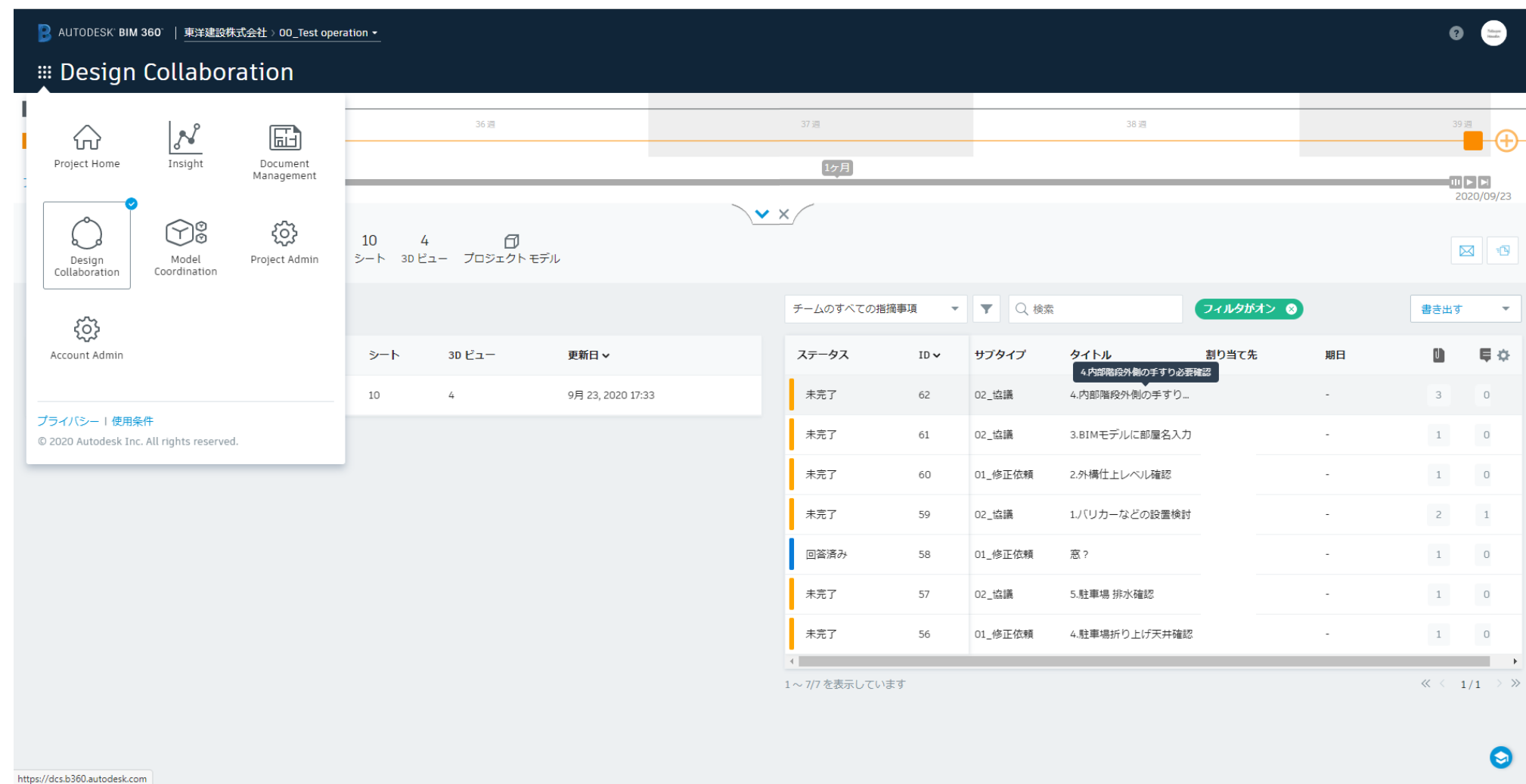
https://dcs.b360.autodesk.com

AU2020 | Slide number 52

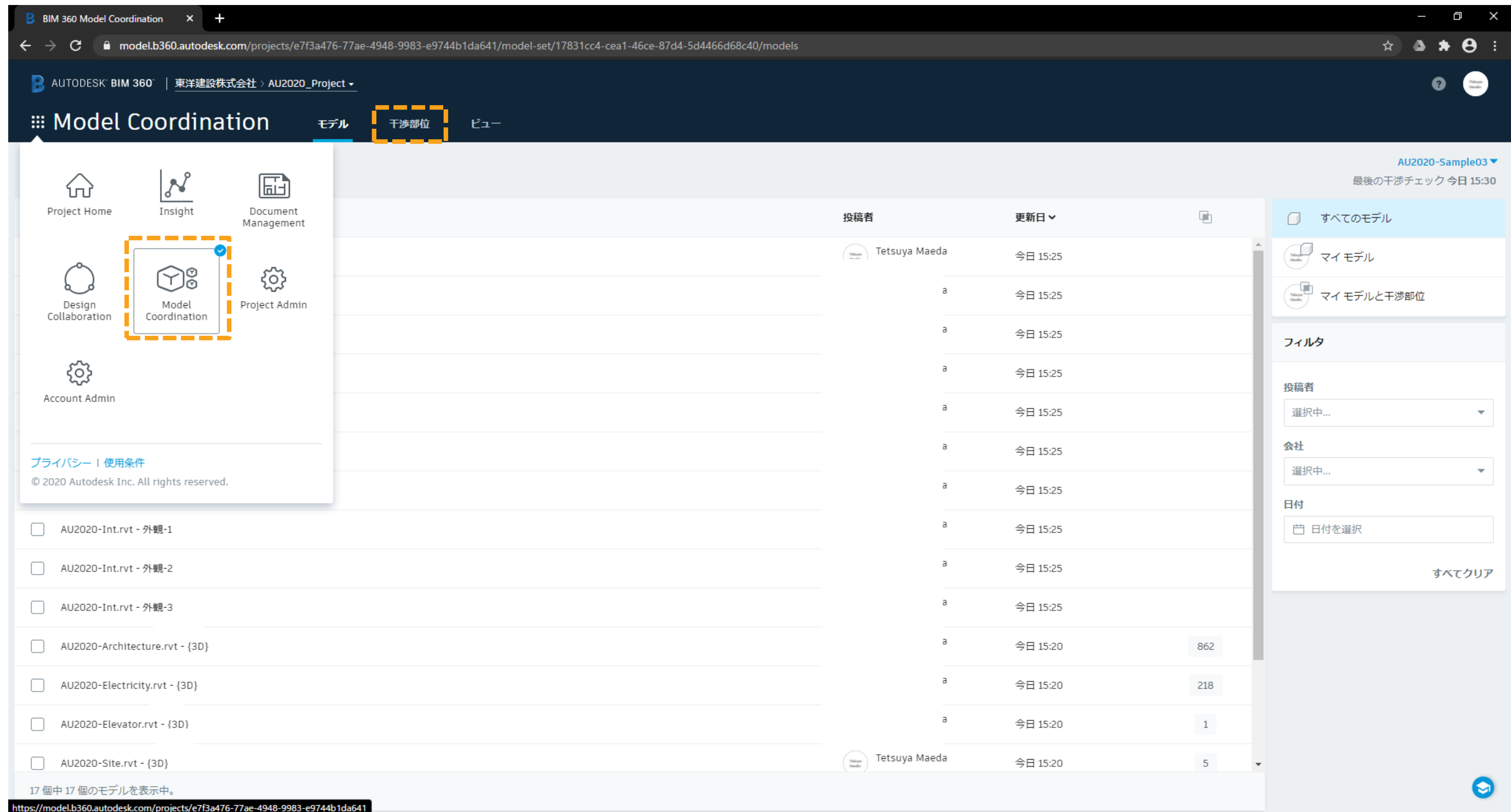
© TOYO CONSTRUCTION CO., LTD. All rights reserved



# BIM 360® Design Collaboration



# BIM 360® Design Coordination



**Model Coordination**

モデル 干渉部位 ビュー

Project Home Insight Document Management

Design Collaboration Model Coordination Project Admin

Account Admin

プライバシー | 使用条件  
© 2020 Autodesk Inc. All rights reserved.

AU2020-Int.rvt - 外観-1

AU2020-Int.rvt - 外観-2

AU2020-Int.rvt - 外観-3

AU2020-Architecture.rvt - {3D}

AU2020-Electricity.rvt - {3D}

AU2020-Elevator.rvt - {3D}

AU2020-Site.rvt - {3D}

17 個中 17 個のモデルを表示中。

投稿者 更新日

Tetsuya Maeda	今日 15:25	
a	今日 15:25	
a	今日 15:25	
a	今日 15:25	
a	今日 15:25	
a	今日 15:25	
a	今日 15:25	
a	今日 15:25	
a	今日 15:25	
a	今日 15:20	862
a	今日 15:20	218
a	今日 15:20	1
Tetsuya Maeda	今日 15:20	5

すべてのモデル

マイ モデル

マイ モデルと干渉部位

フィルタ

投稿者  
選択中...

会社  
選択中...

日付  
日付を選択

すべてクリア

https://model.b360.autodesk.com/projects/e7f3a476-77ae-4948-9983-e9744b1da641



# BIM 360® Design Coordination

BIM 360 Model Coordination

model.b360.autodesk.com

AUTODESK® BIM 360® | 東洋建設株式会社 > AU2020\_Project

Model Coordination

モデル

干渉部位

ビュー

アクティブ

割り当て

終了

AU2020-Sample03

最後の干渉チェック 今日 15:30

モデルを検索

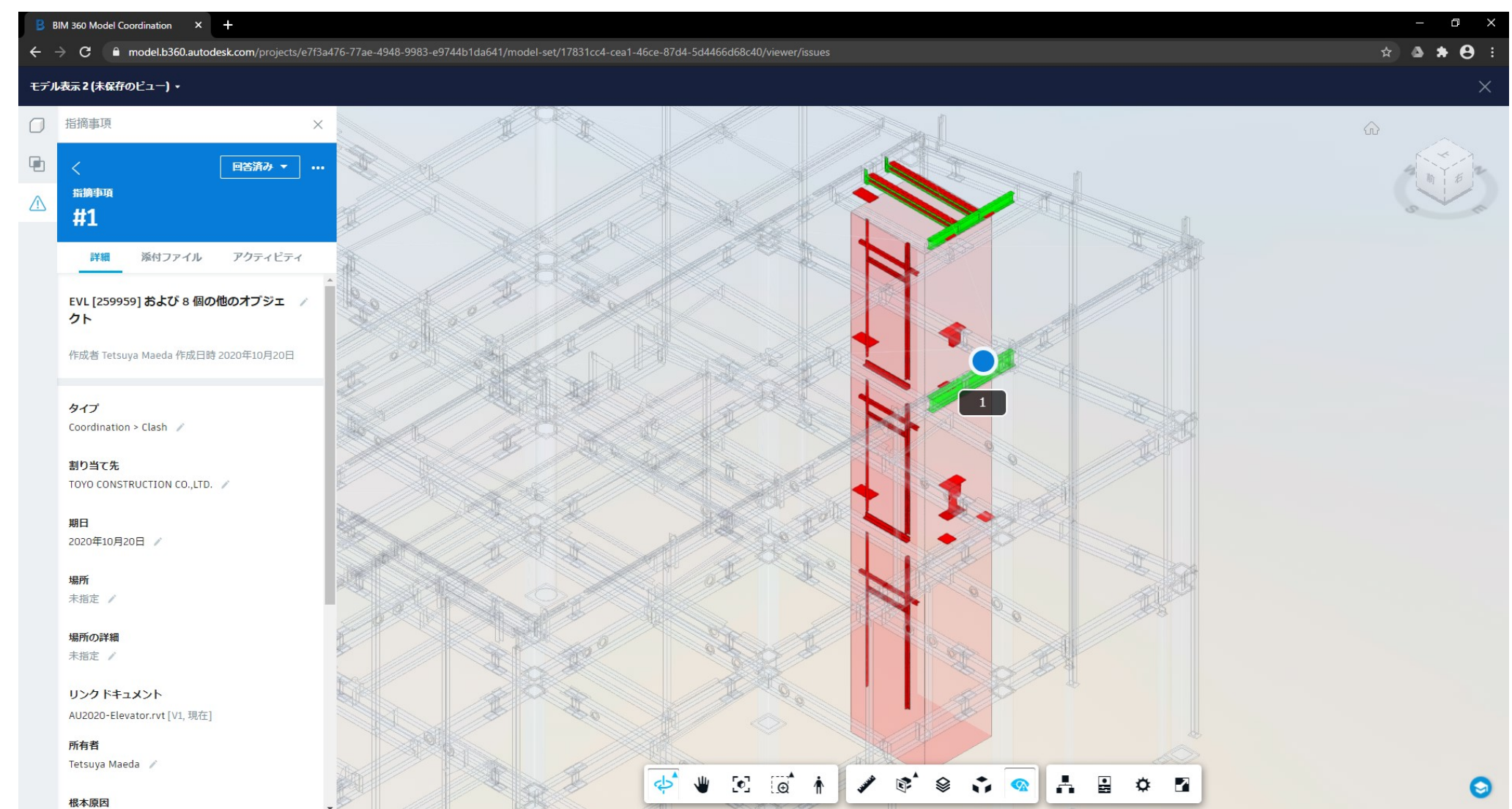
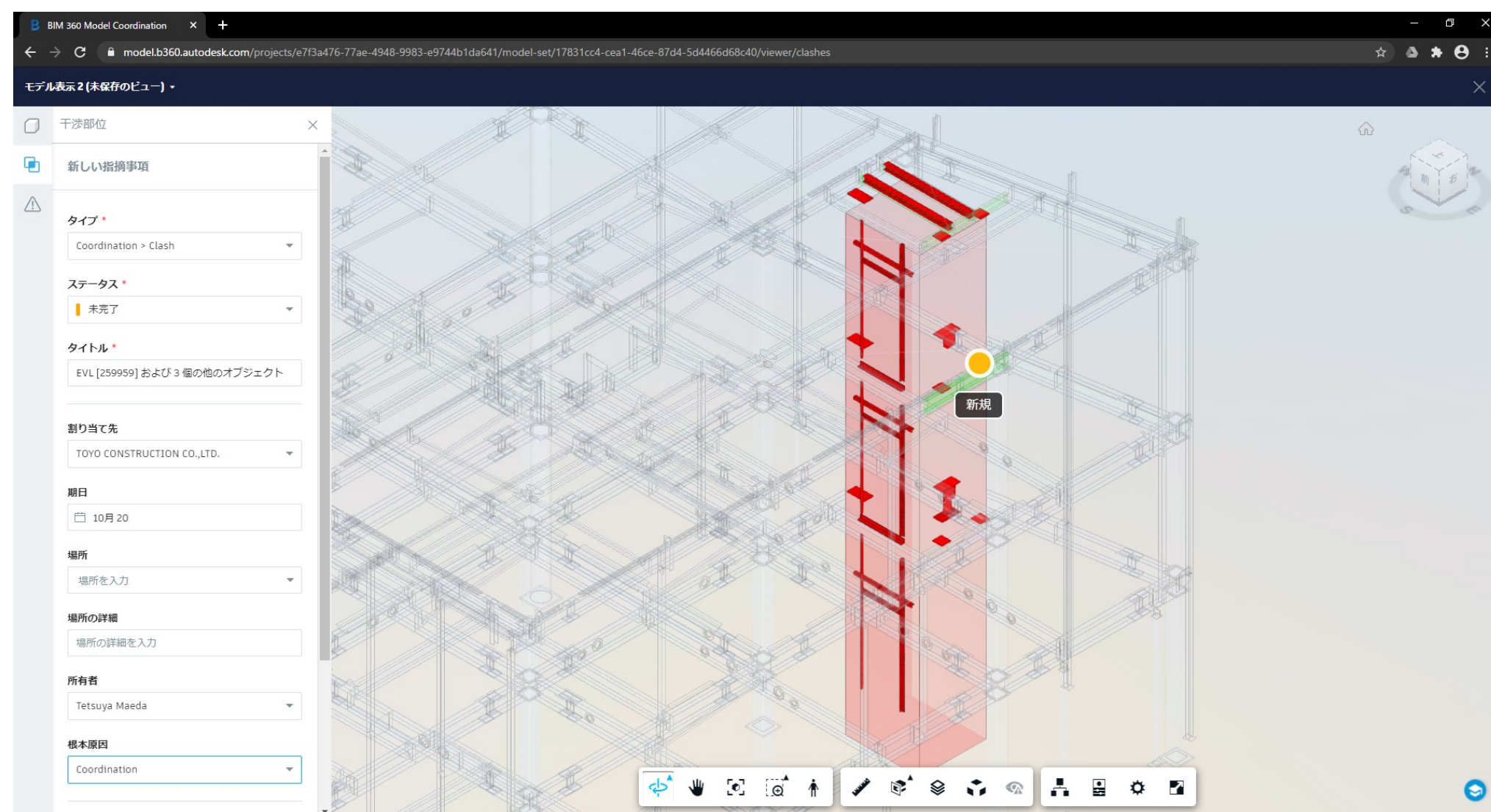
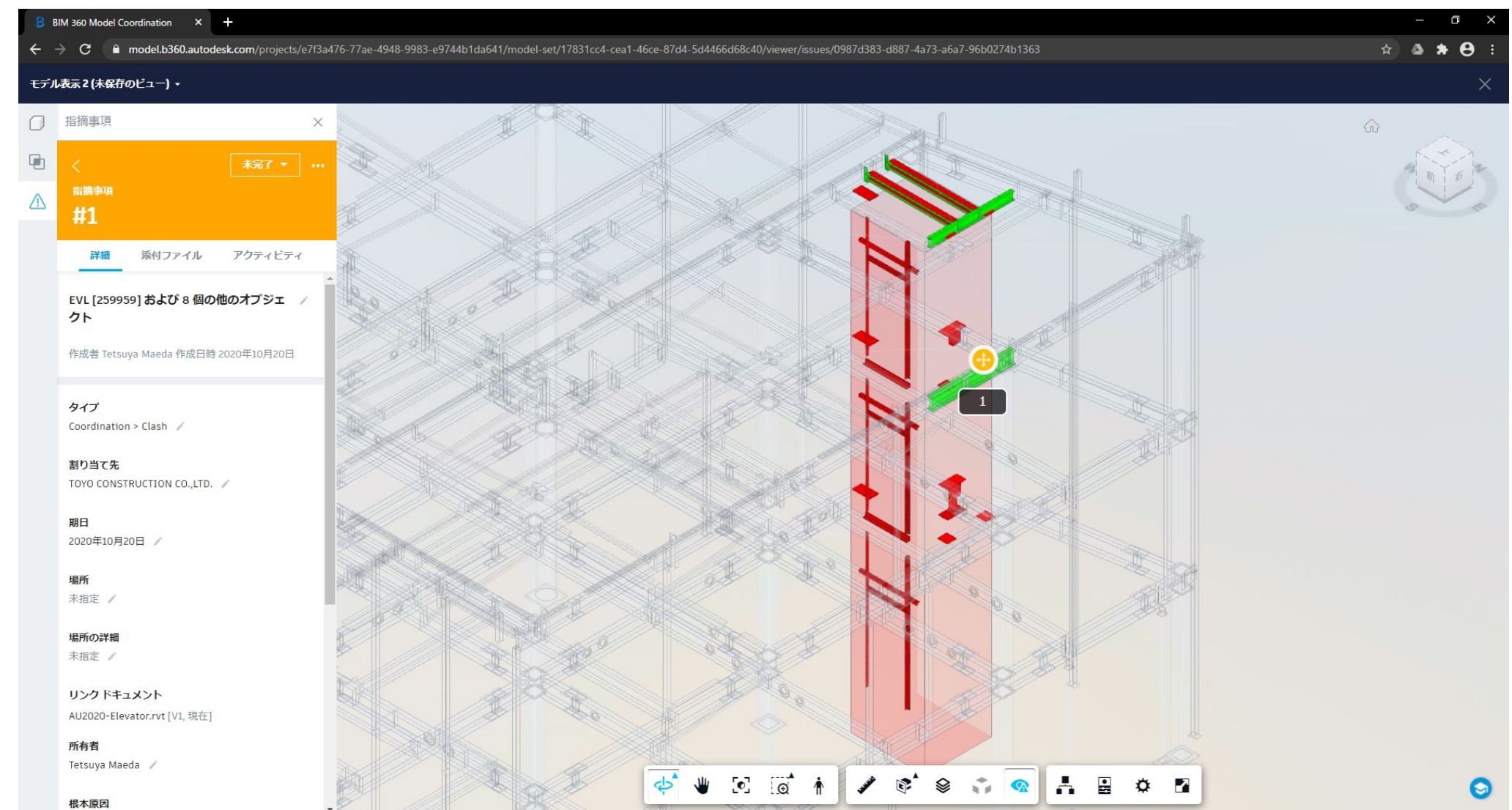
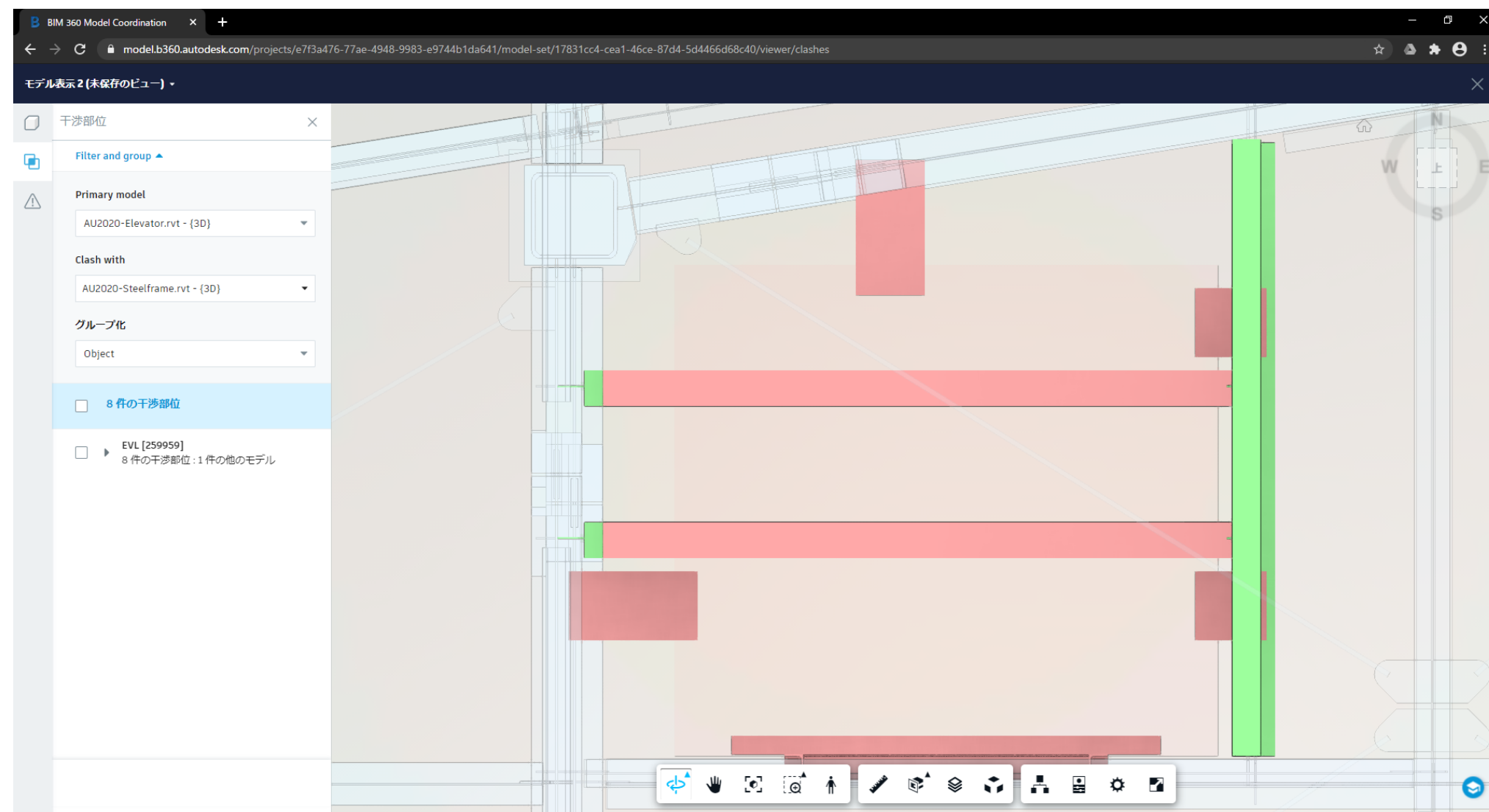
ビューを選択

7 個のモデル (10 個が非表示)

	AU2020-A..t - {3D}	AU2020-...vt - {3D}	AU2020-E...t - {3D}	AU2020-S...t - {3D}	AU2020-S...t - {3D}	AU2020_CurtainW...t - {3D}	AU2020_Mechanic...t - {3D}
AU2020-Architecture.rvt - {3D} 862 個の干渉部位グループ		51	20	3	249	500	155
AU2020-Electricity.rvt - {3D} 218 個の干渉部位グループ	208			4			16
AU2020-Elevator.rvt - {3D} 1 個の干渉部位グループ	1				1		
AU2020-Site.rvt - {3D} 5 個の干渉部位グループ	1	1			1	1	3
AU2020-Steelframe.rvt - {3D} 527 個の干渉部位グループ	505		8	3		44	2
AU2020_CurtainWall.rvt - {3D} 960 個の干渉部位グループ	879			1	139		
AU2020_MechanicalEquipment.rvt - {3D} 568 個の干渉部位グループ	533	26		30	2		

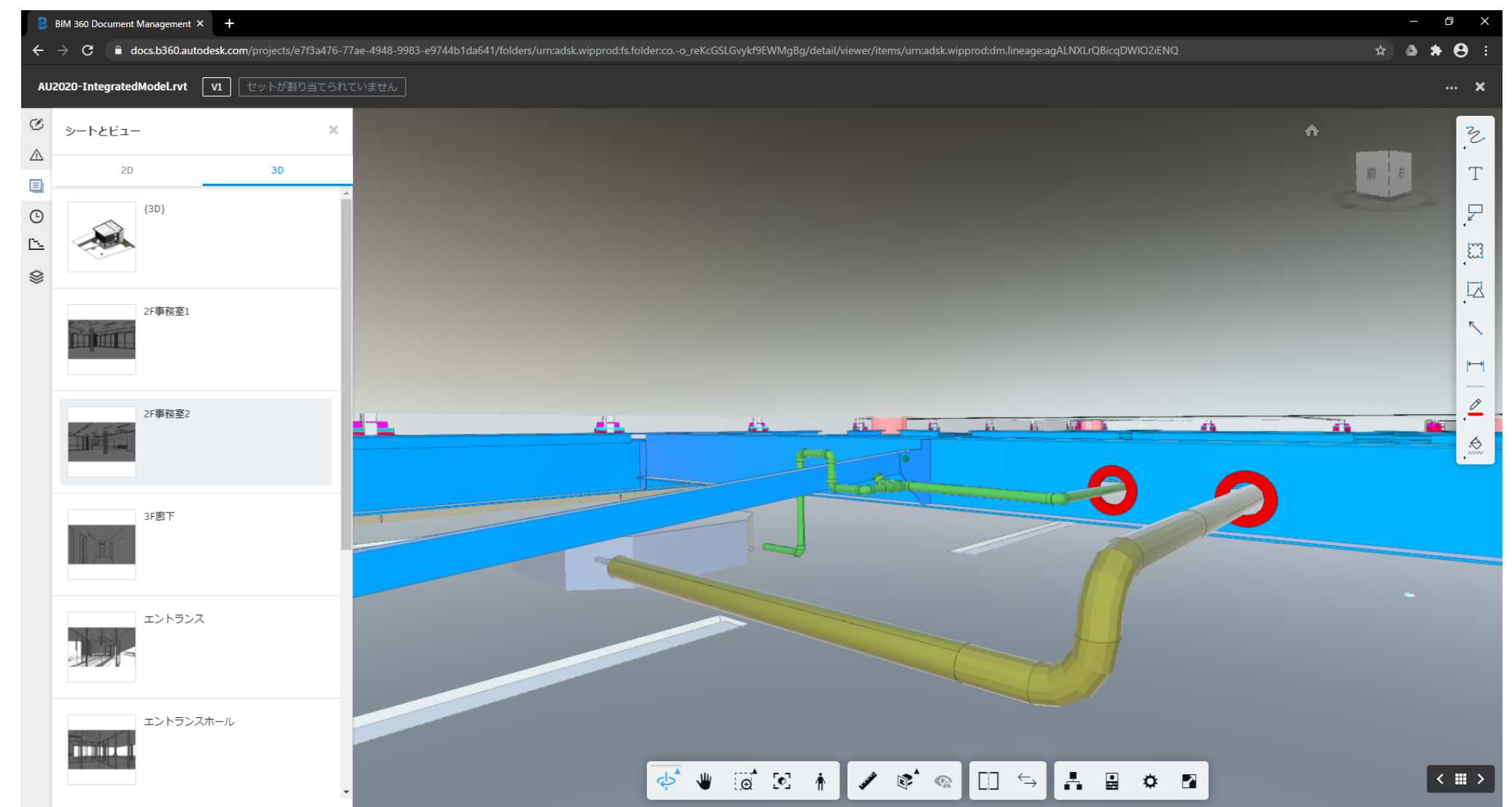
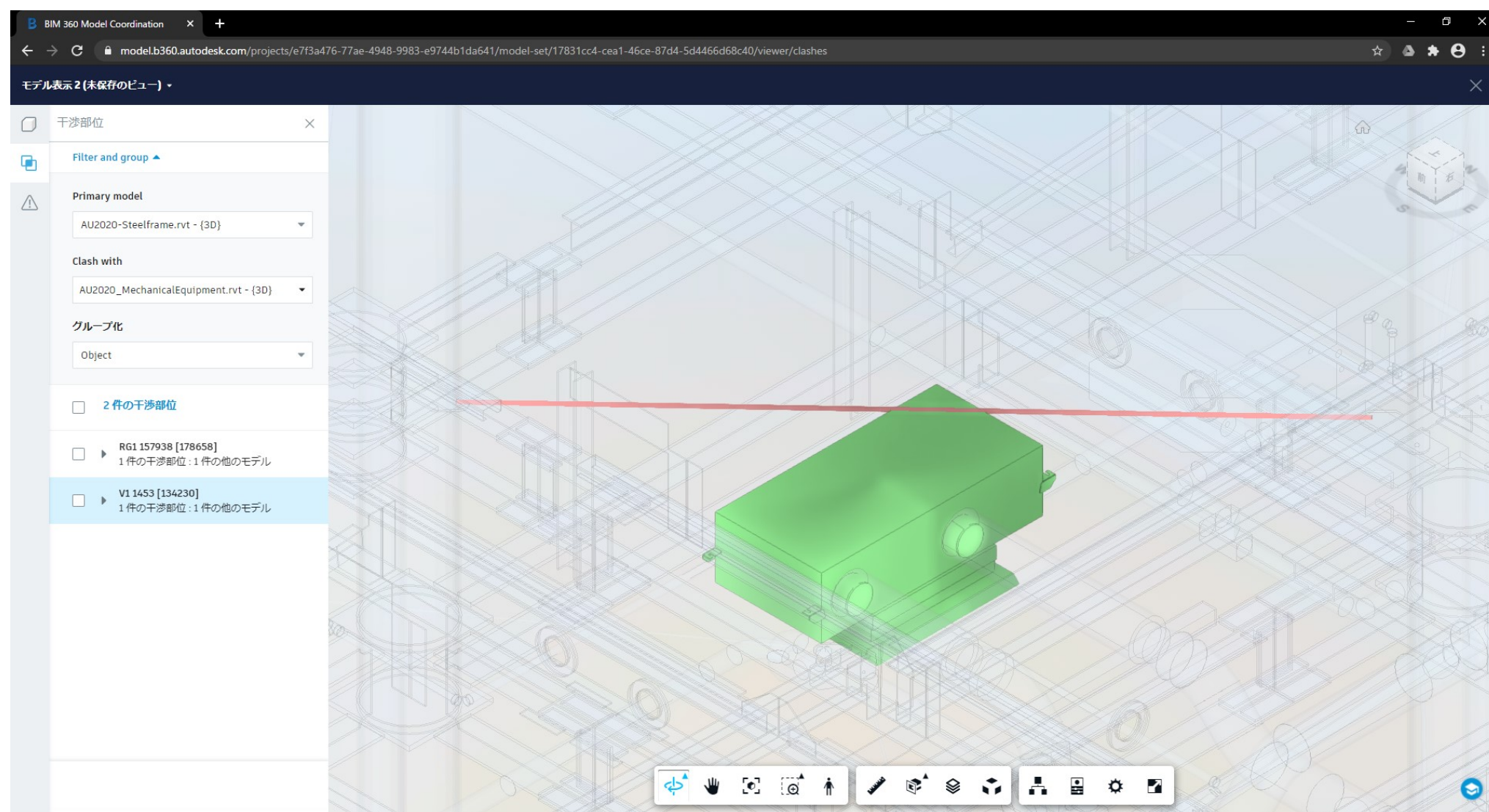
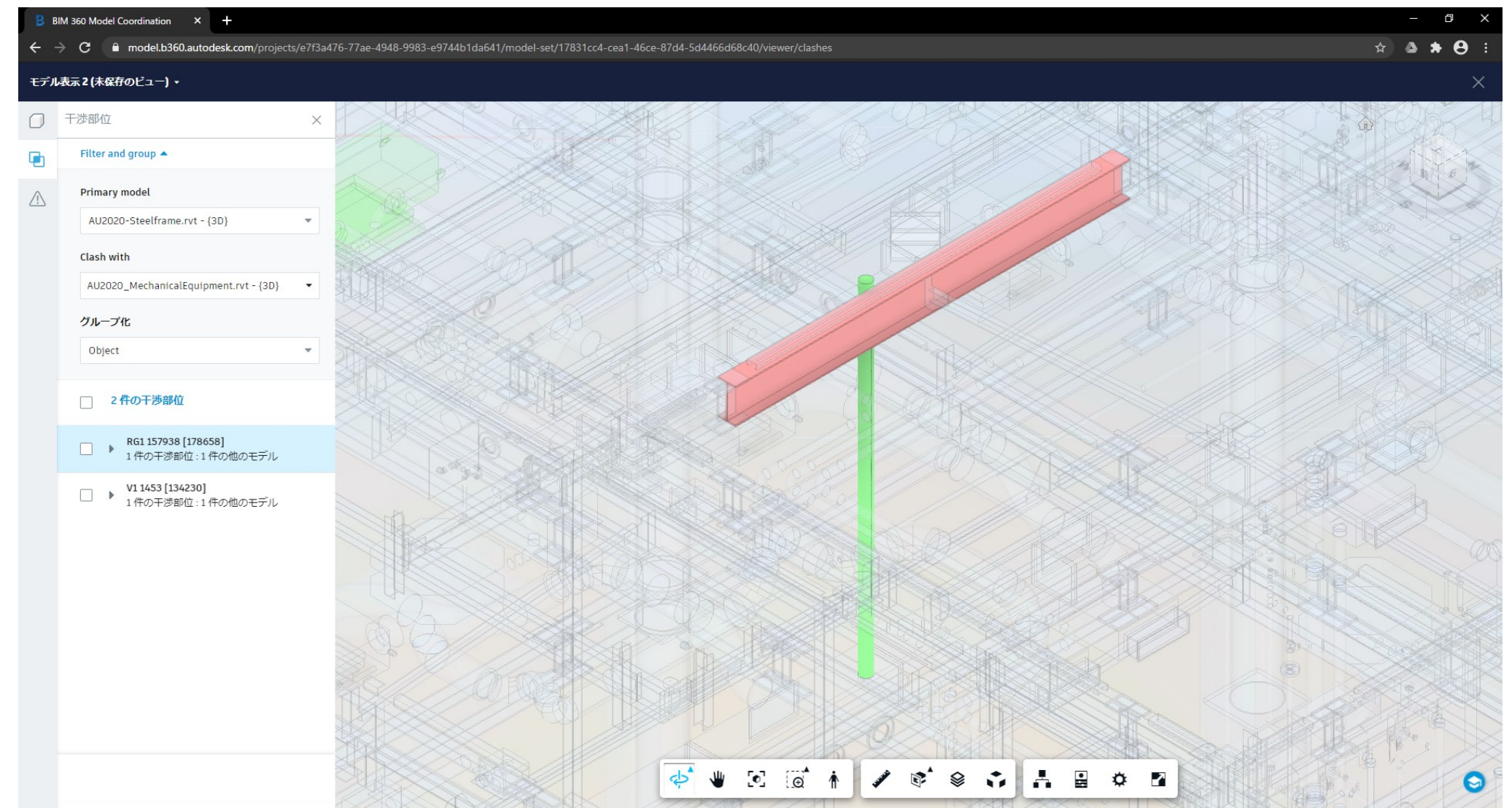
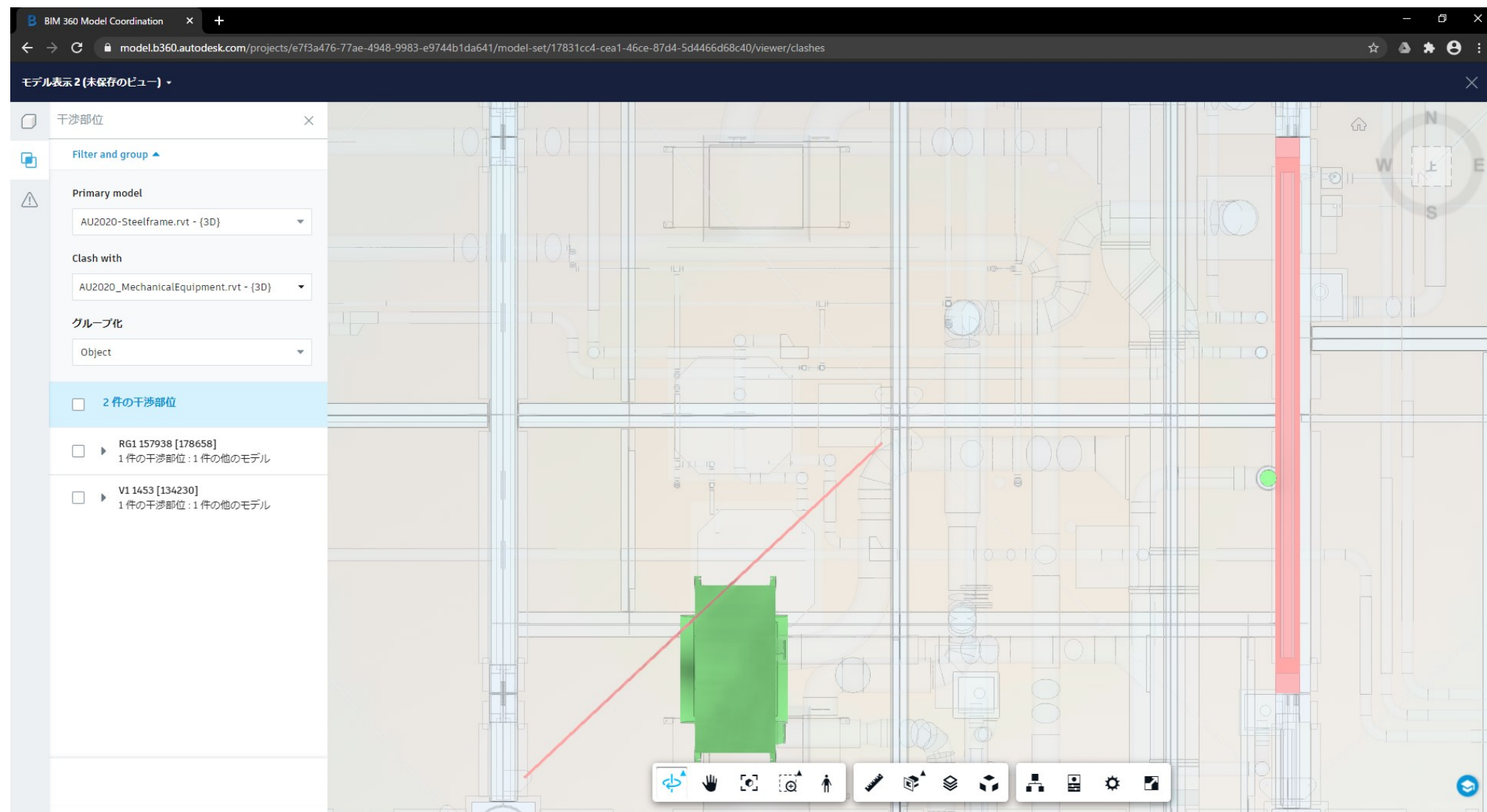


# BIM 360® Design Coordination





# BIM 360® Design Coordination



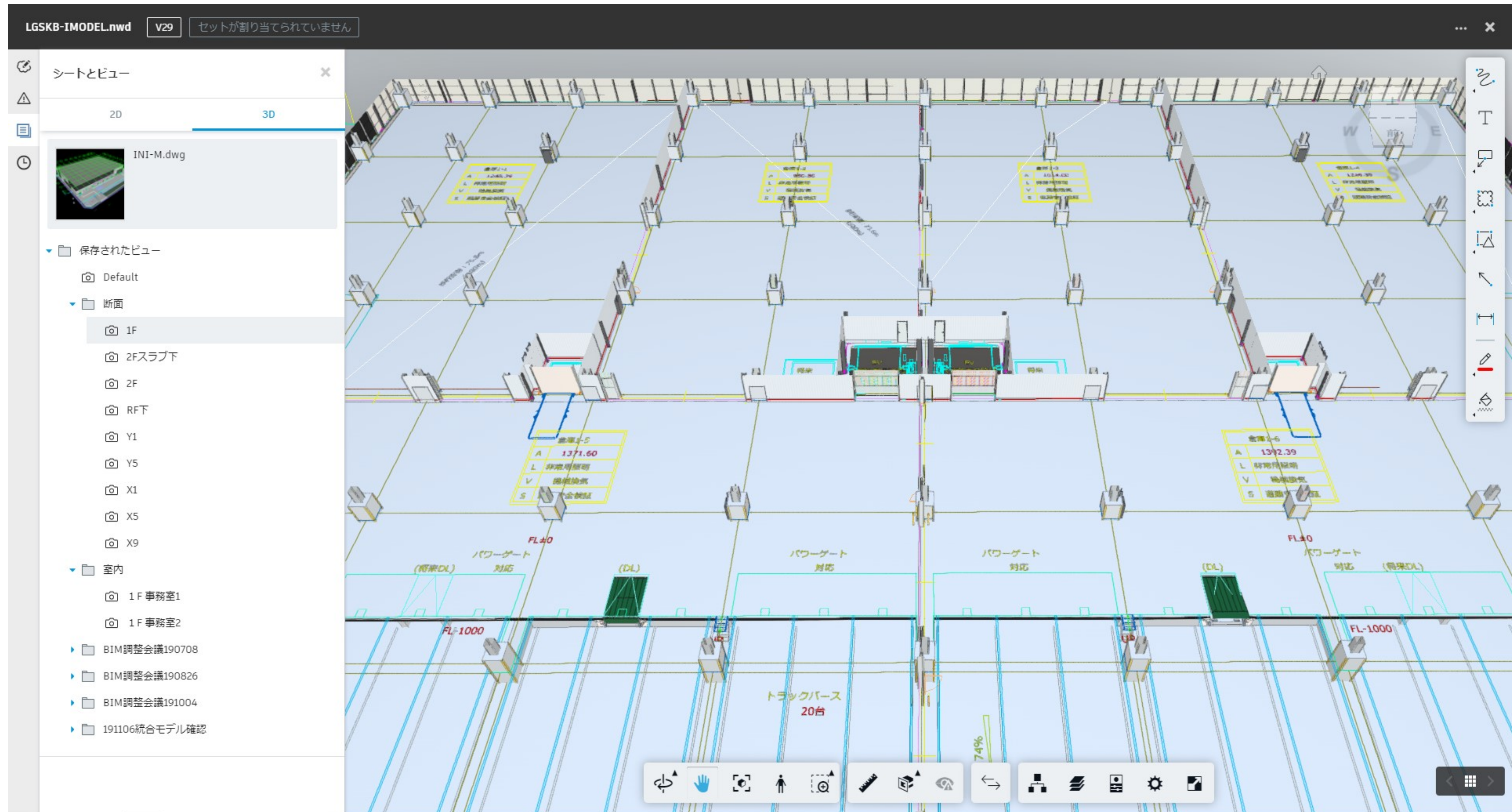


# Revit、Navisworks、AutoCADで リッチな統合モデルを構築

- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

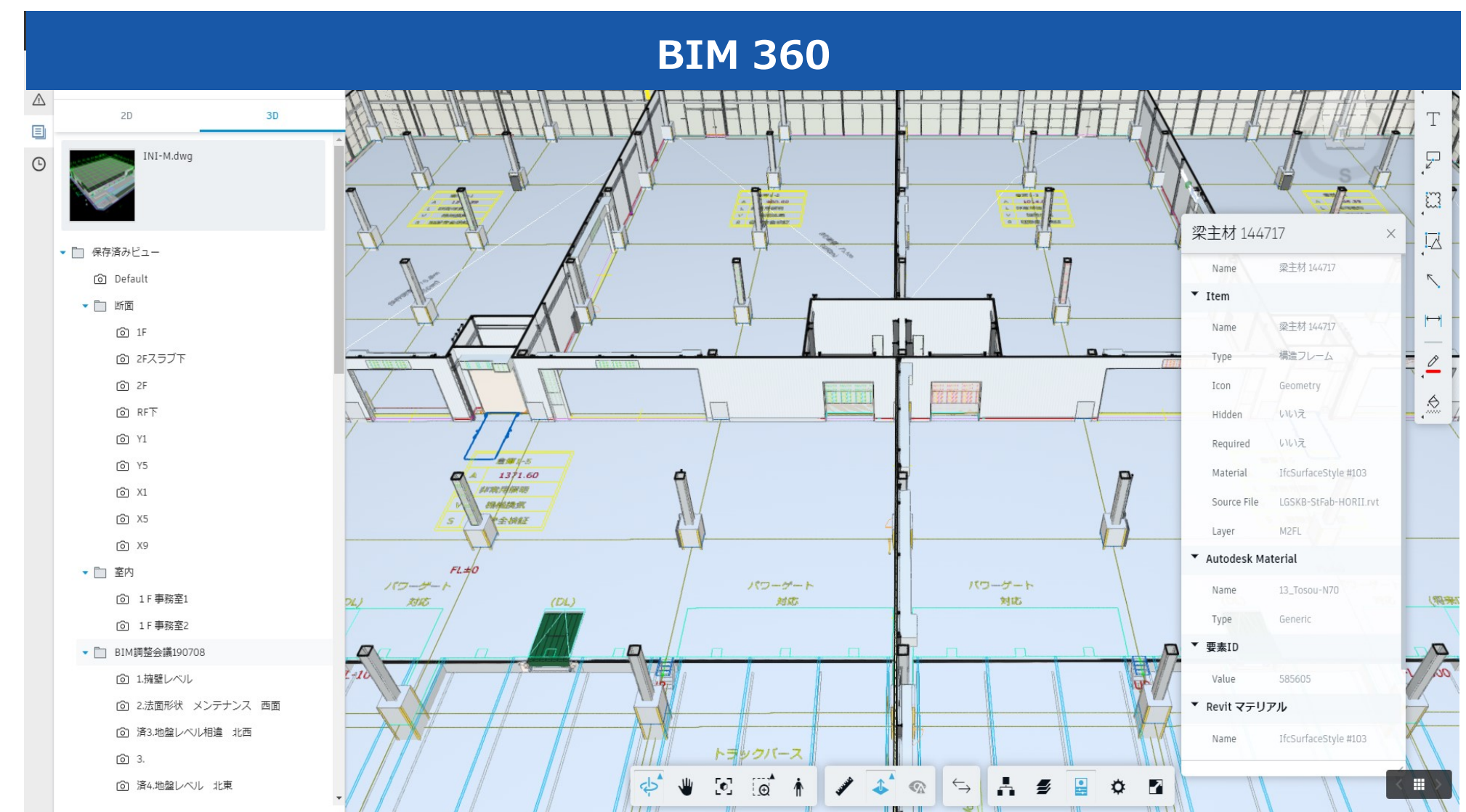
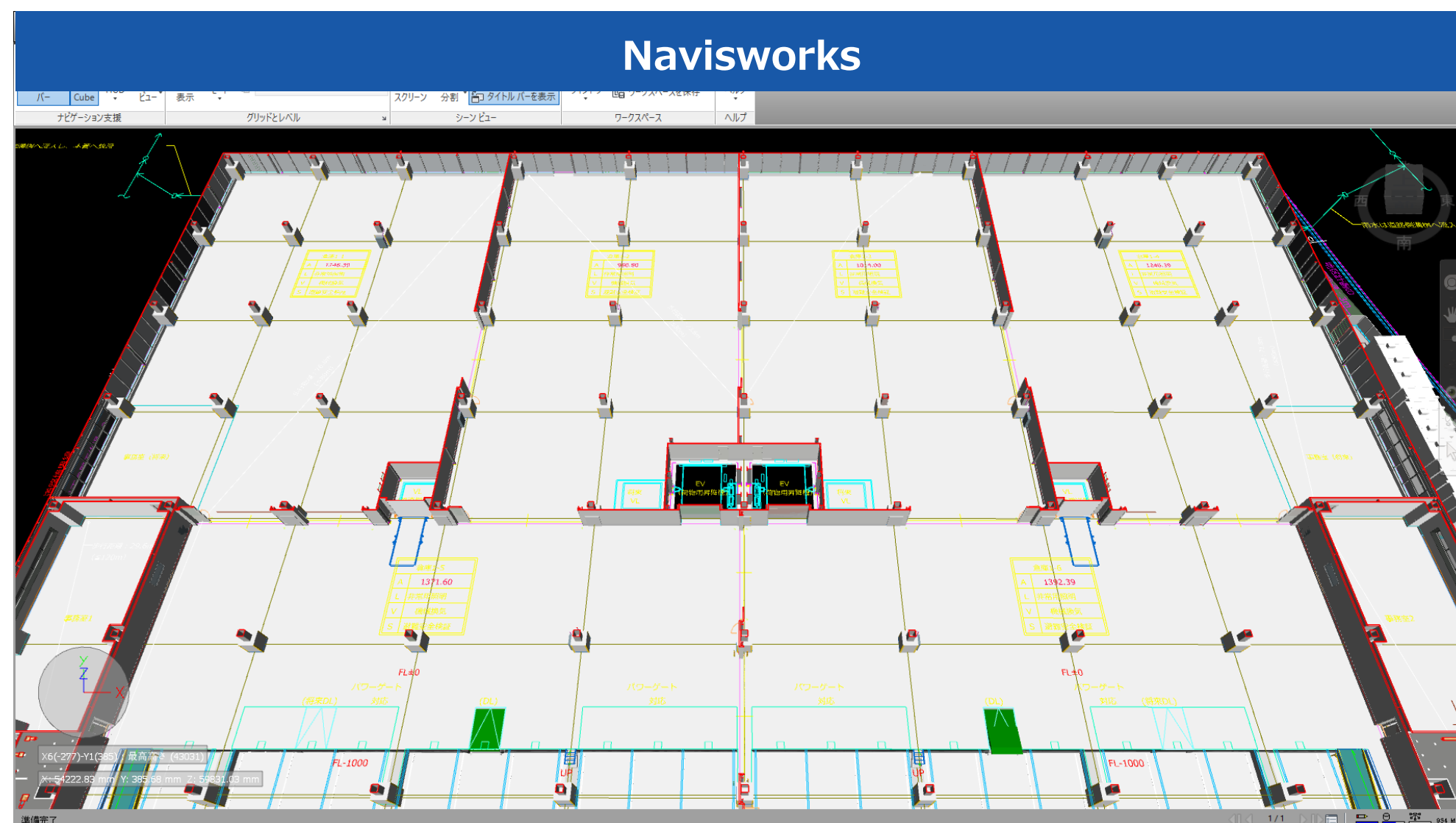
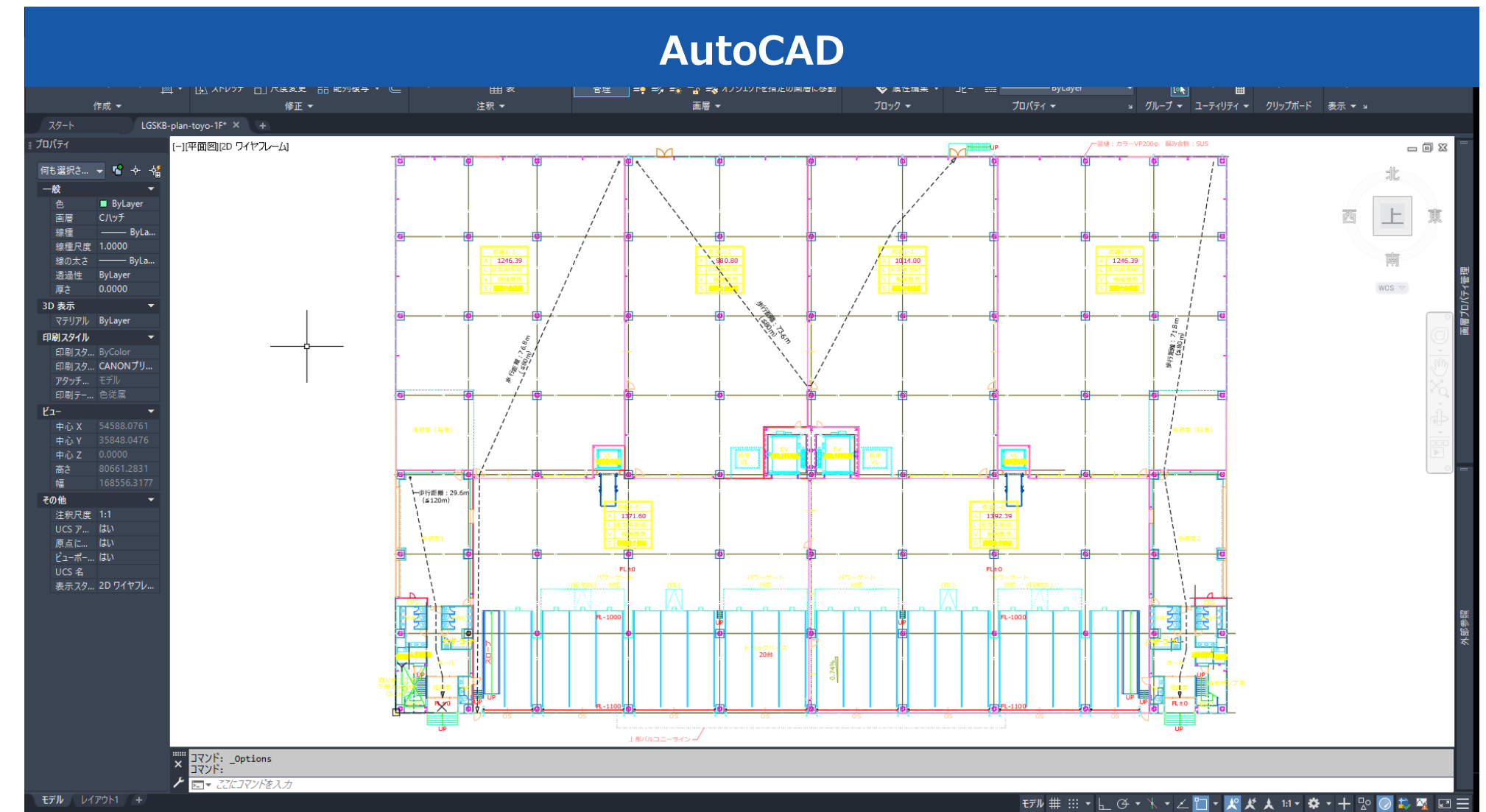
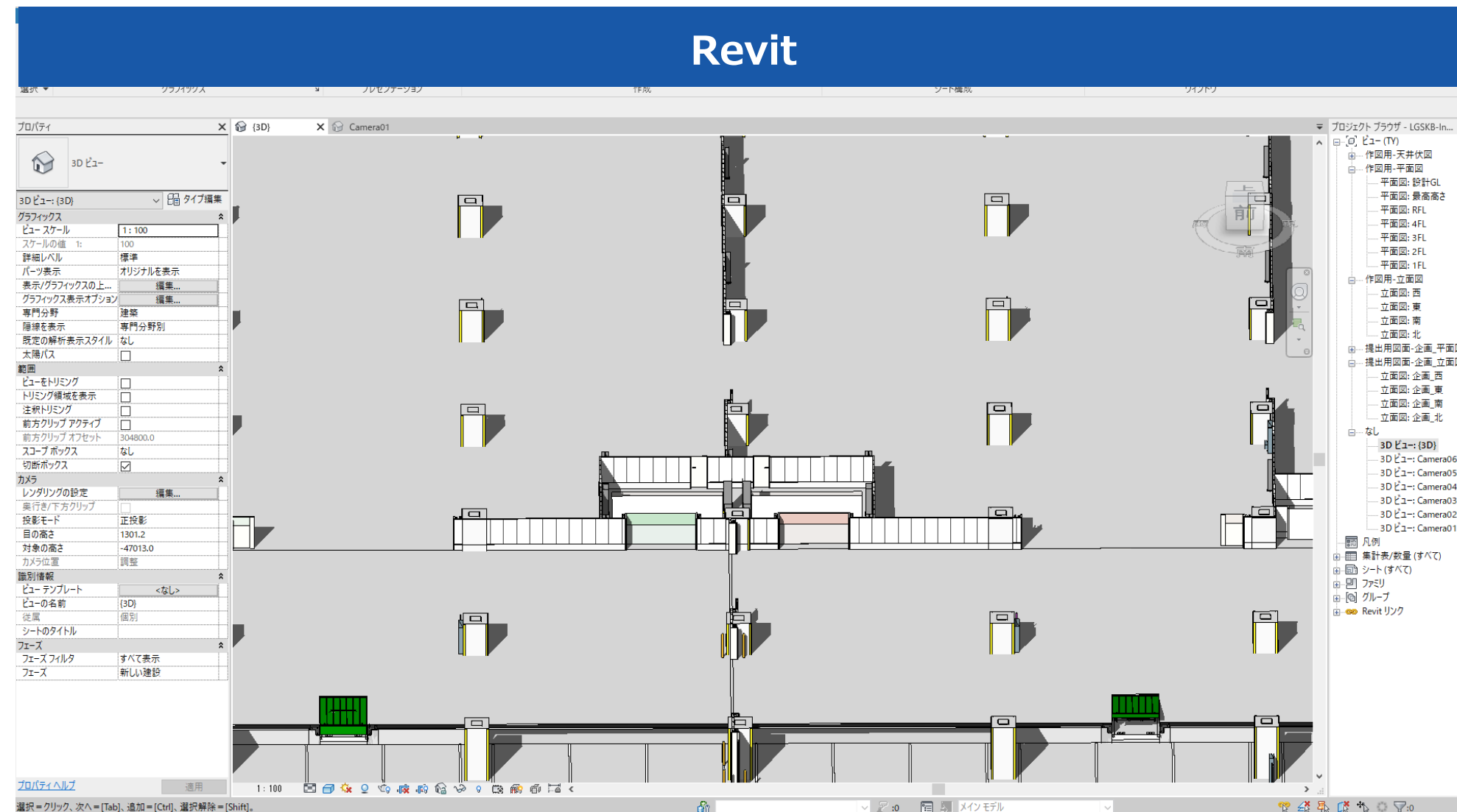


# Revit、Navisworks、AutoCADでリッチな統合モデルを構築





# Revit、Navisworks、AutoCADでリッチな統合モデルを構築





# マークアップと指摘事項を使った シンプルなデザインレビュー

- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®



# マークアップと指摘事項を使ったシンプルなデザインレビュー

Document Management

フォルダレビュー転送パッケージ指摘事項

表示方法

フォルダセット

▼設計図

- 00\_IDR・DR・設計検証
  - 01\_IDR
    - 02\_設計検証-1
    - 03\_DR-2
    - 04\_設計検証-2
    - 05\_DR3
  - 01\_最新図
  - 02\_契約図
  - 03\_確認申請図書
- 共通書類・共有フォルダ
  - 社内専用フォルダ
  - 社外共有フォルダ

ファイルを上アップロード5 個の項目を表示中

ドキュメントを検索

🔍📄📁

<input type="checkbox"/>	名前へ	タイトル	セット	バージョン	更新者	マークアップ	指摘事項	場所	承認ステータス	ファイル名	番号	⚙️
<input type="checkbox"/>	01	概要書・面積表		V1		🔗2	⚠️0	📍		01 概要書.pdf	01	
<input type="checkbox"/>	02	配置・1階平面図		V1		🔗11	⚠️0	📍		02 配置図.pdf	02	
<input type="checkbox"/>	03	2〜4階平面図		V1		🔗10	⚠️0	📍		03 平面図.pdf	03	
<input type="checkbox"/>	04	立面・断面図		V1		🔗10	⚠️0	📍		04 立面・断面図.pdf	04	
<input type="checkbox"/>	05	所要室面積		V1		🔗1	⚠️0	📍		05 所要室面積.pdf	05	

🎓



# マークアップと指摘事項を使ったシンプルなデザインレビュー



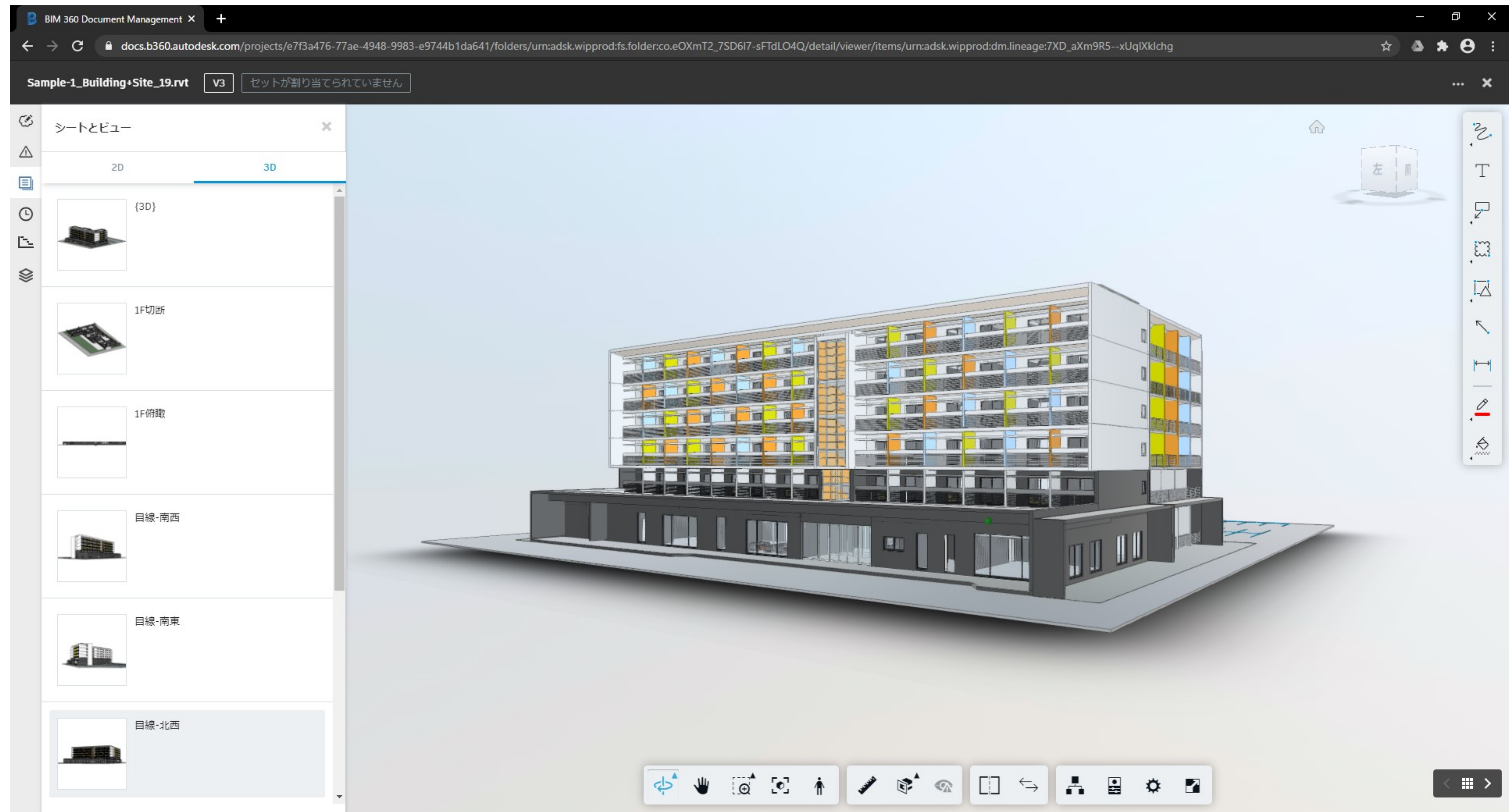


# BIMモデルバーチャル現場巡回を 効果的に行うポイント

- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

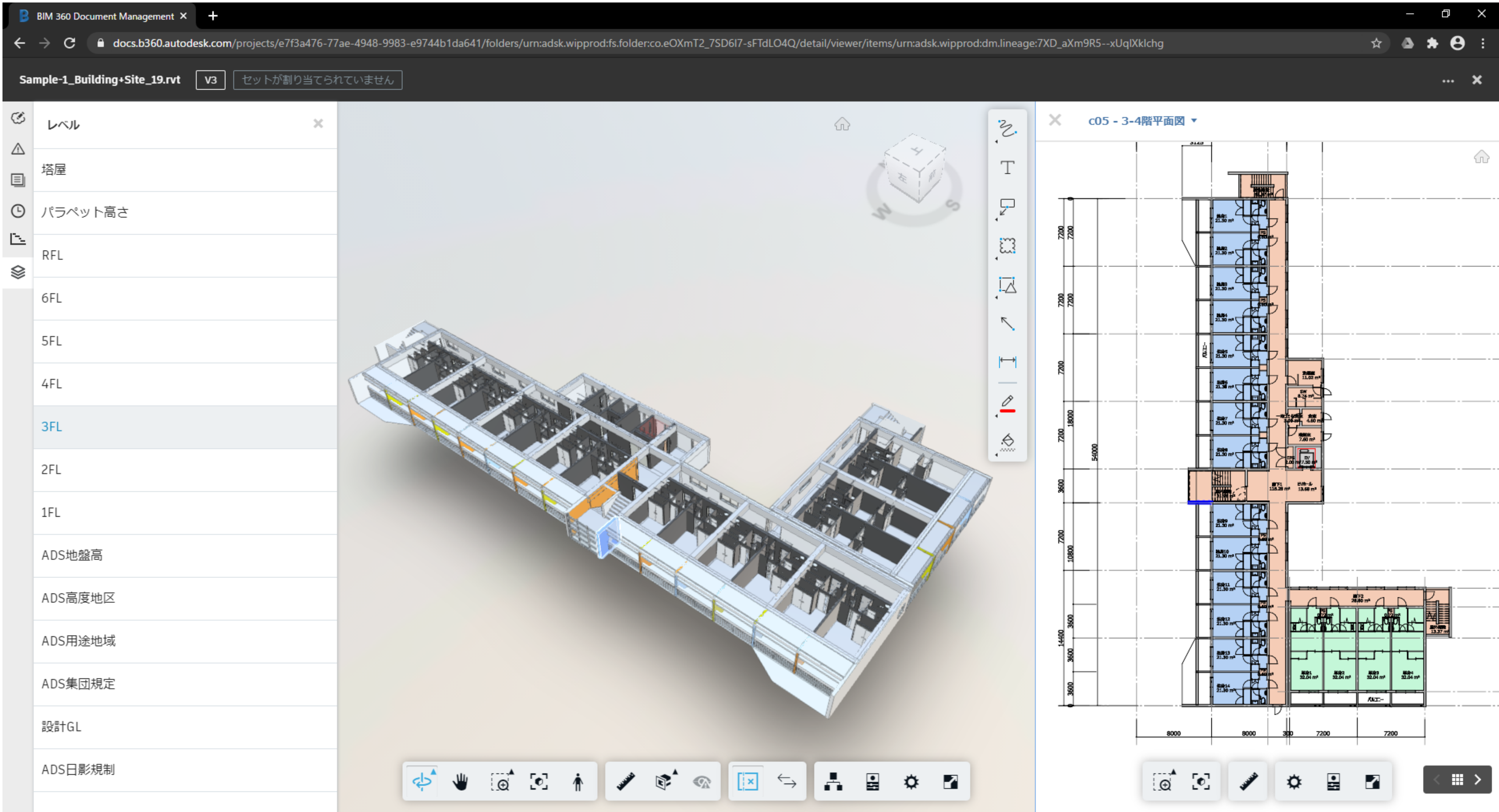


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



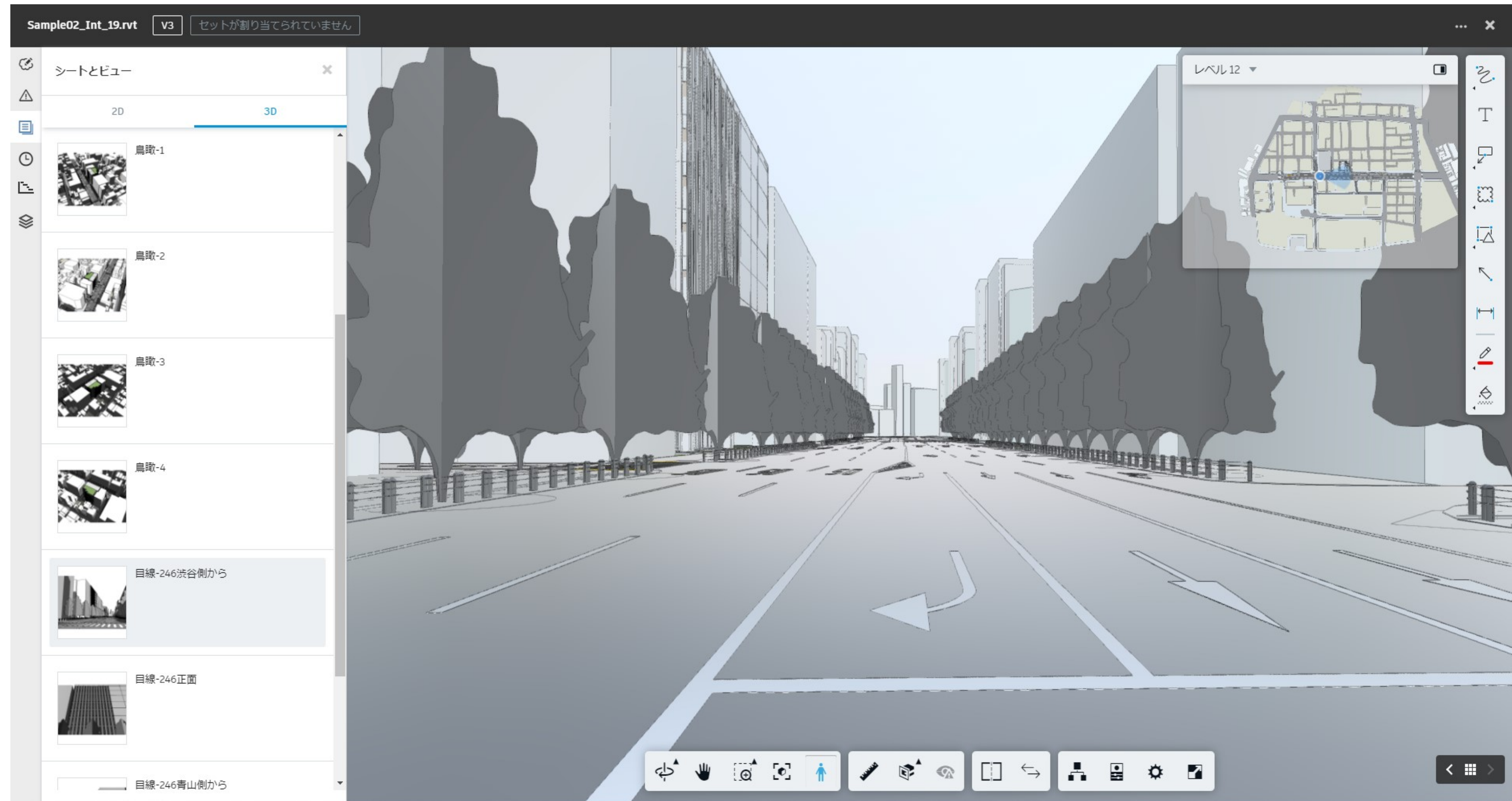


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



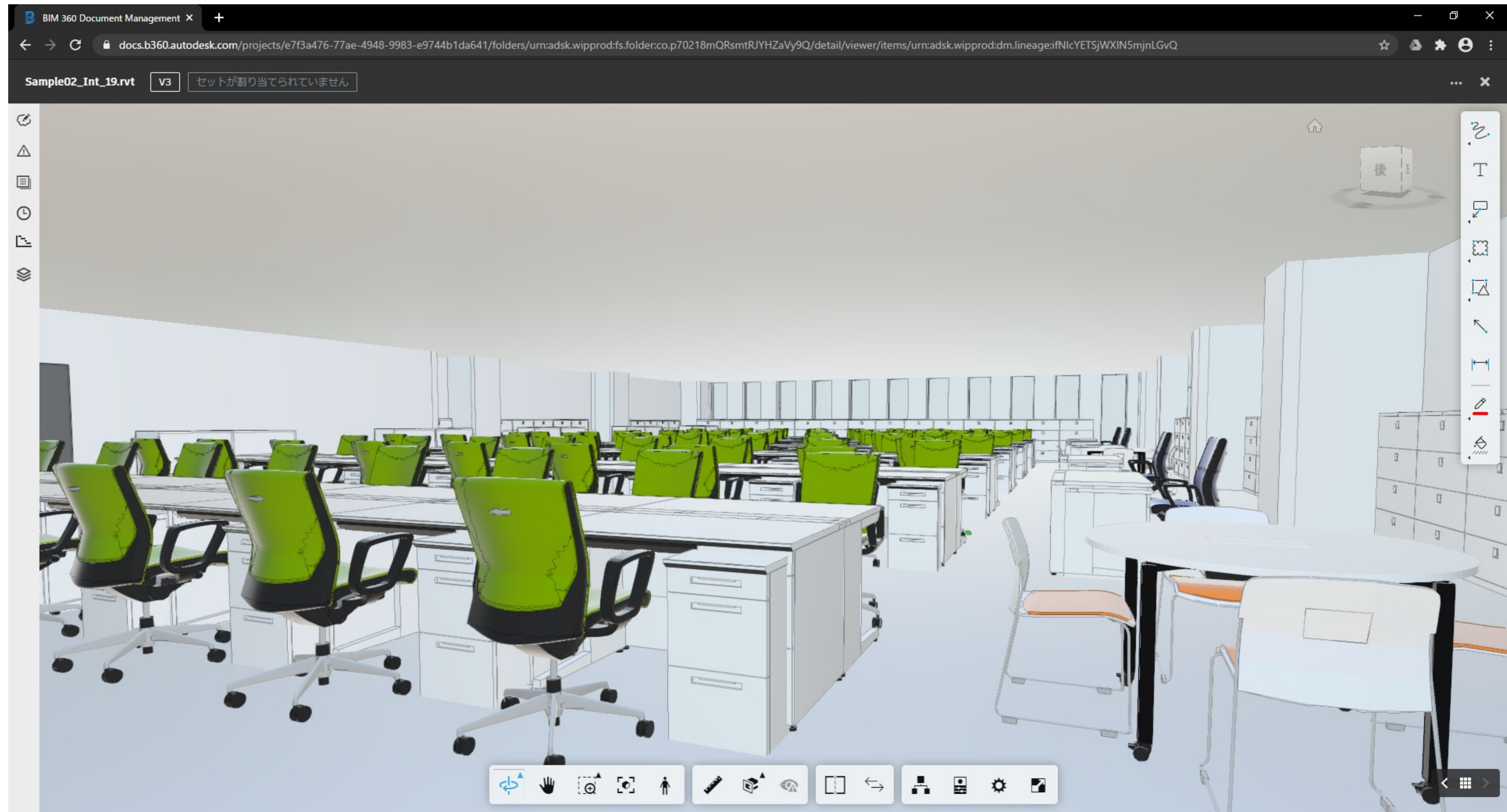


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



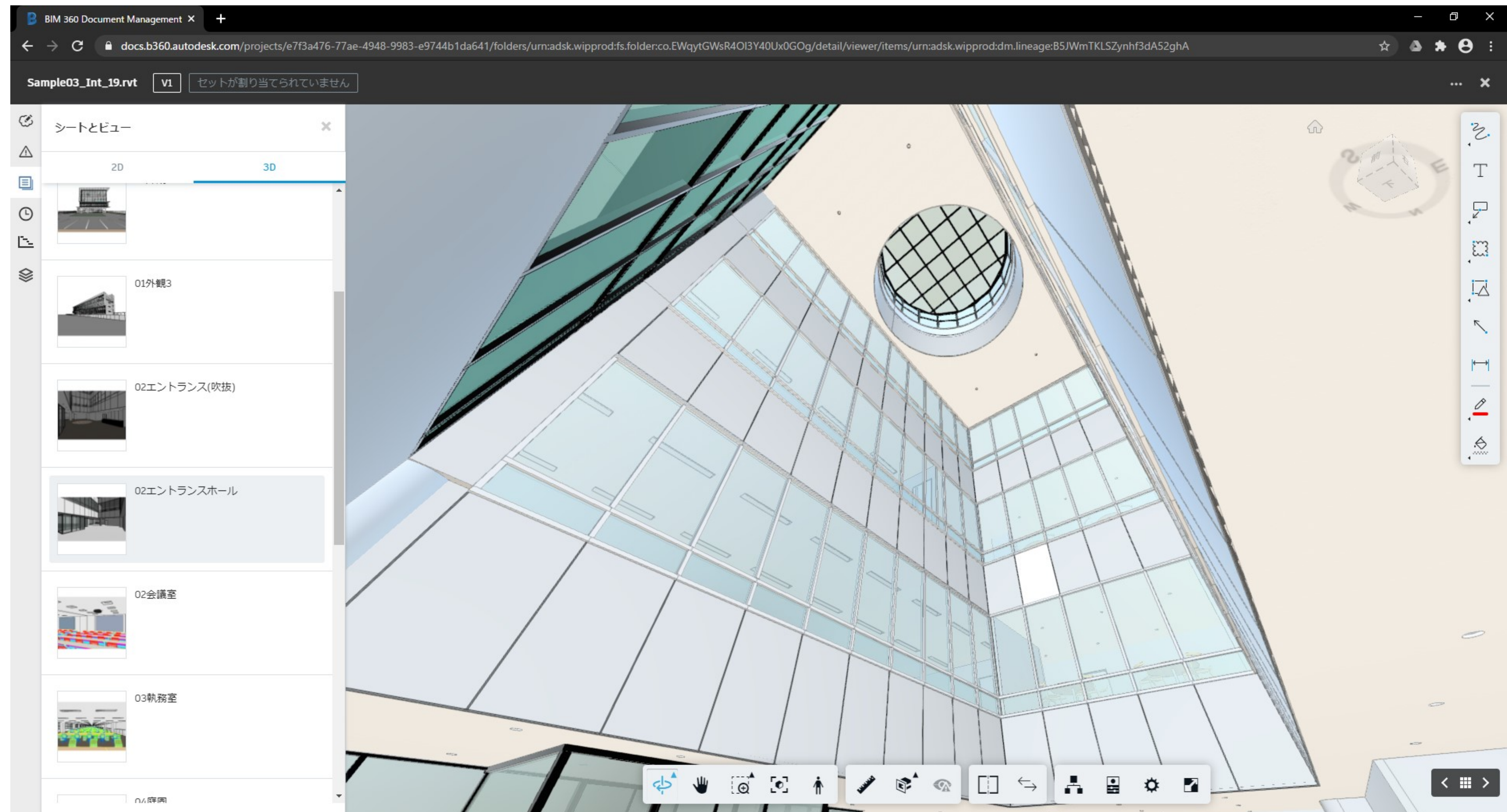


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



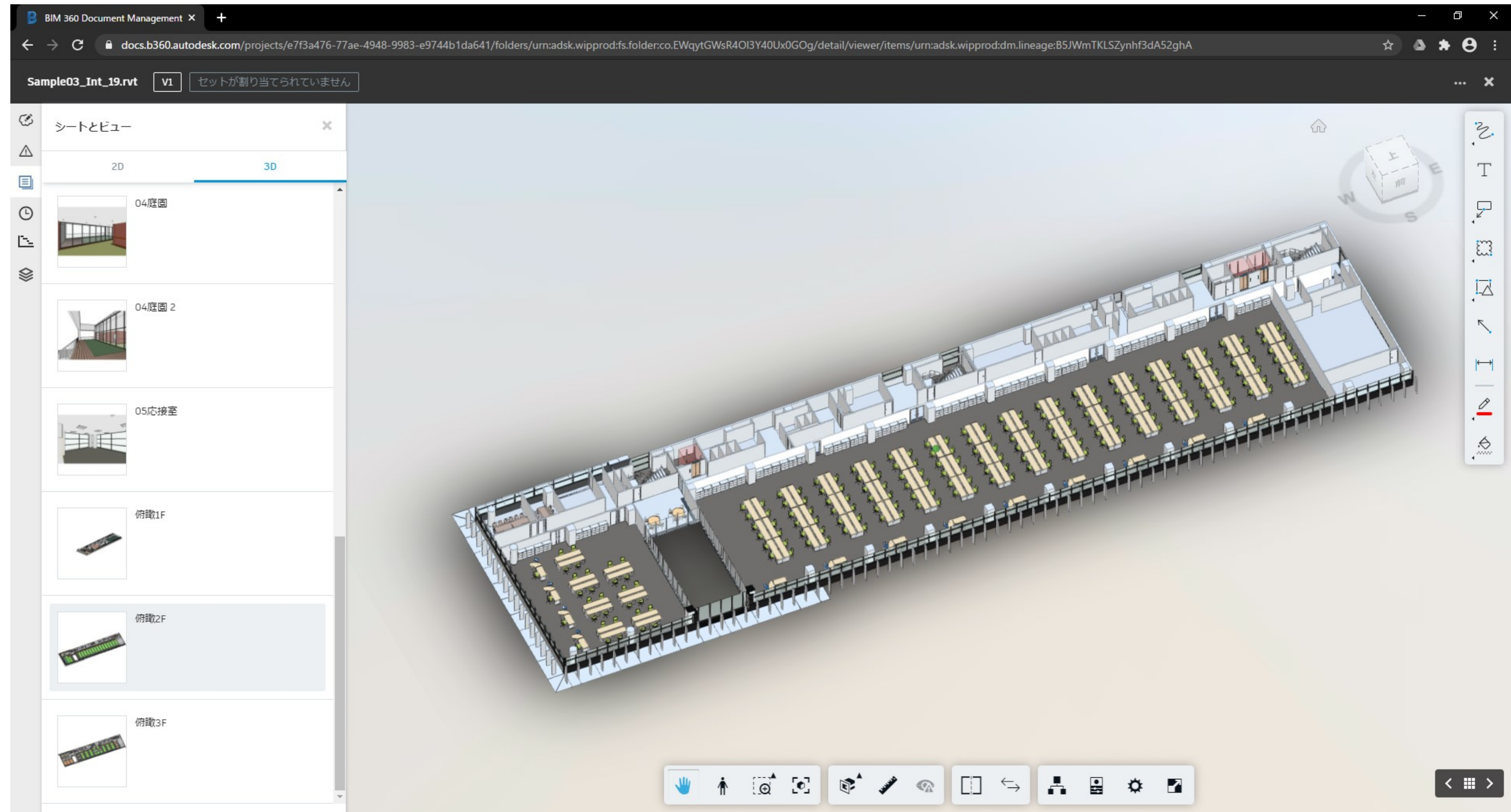


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



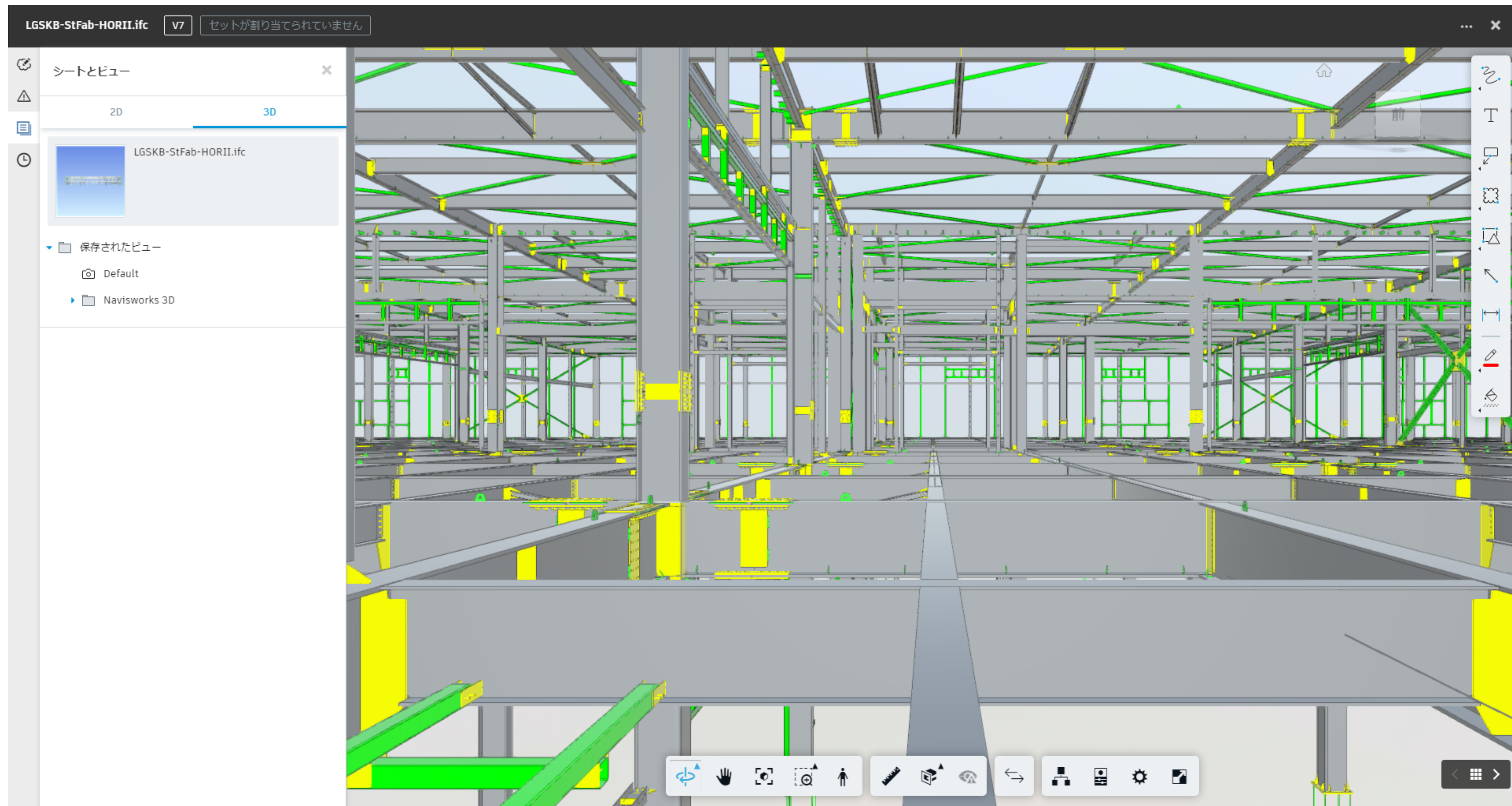


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



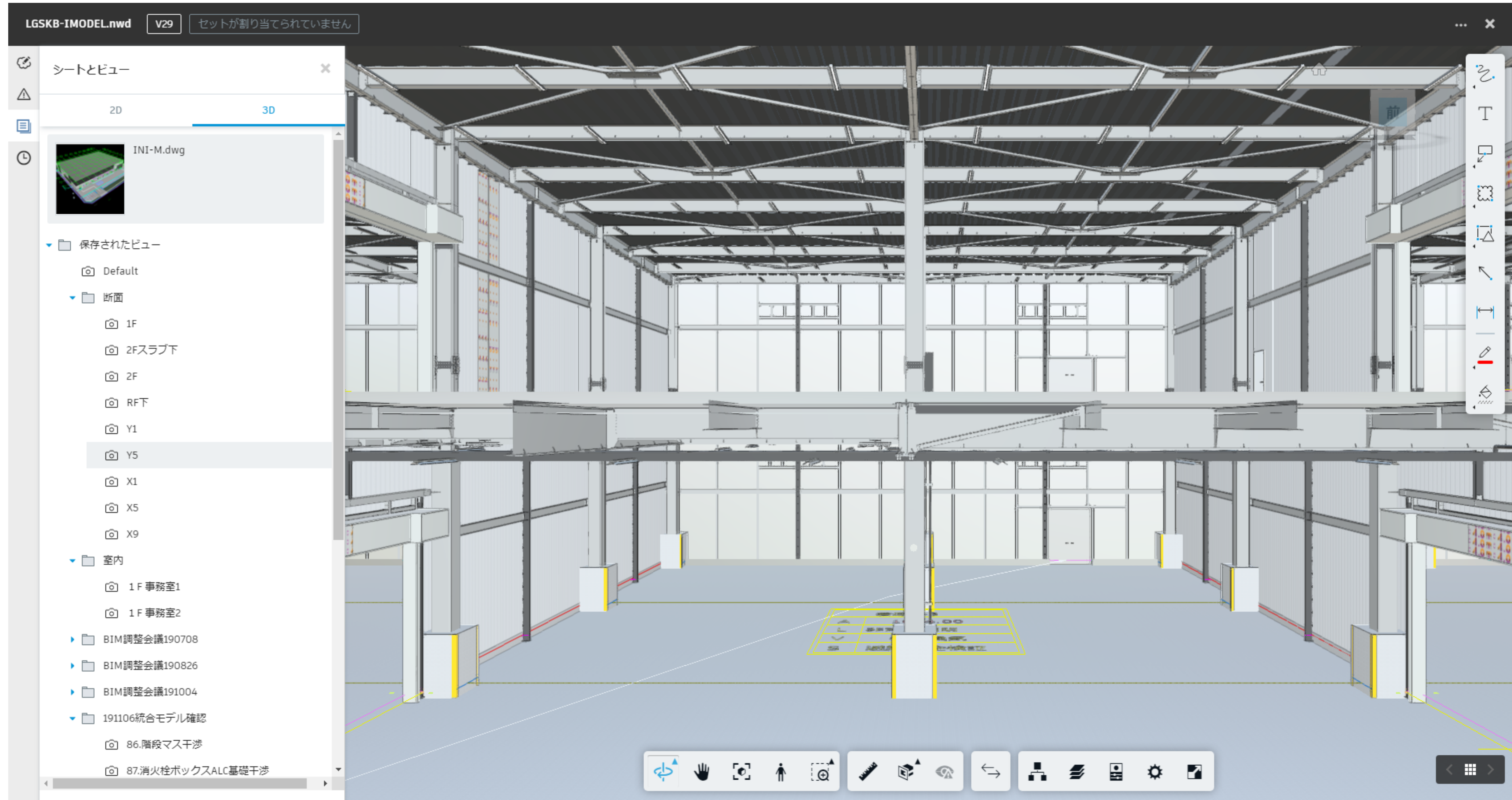


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



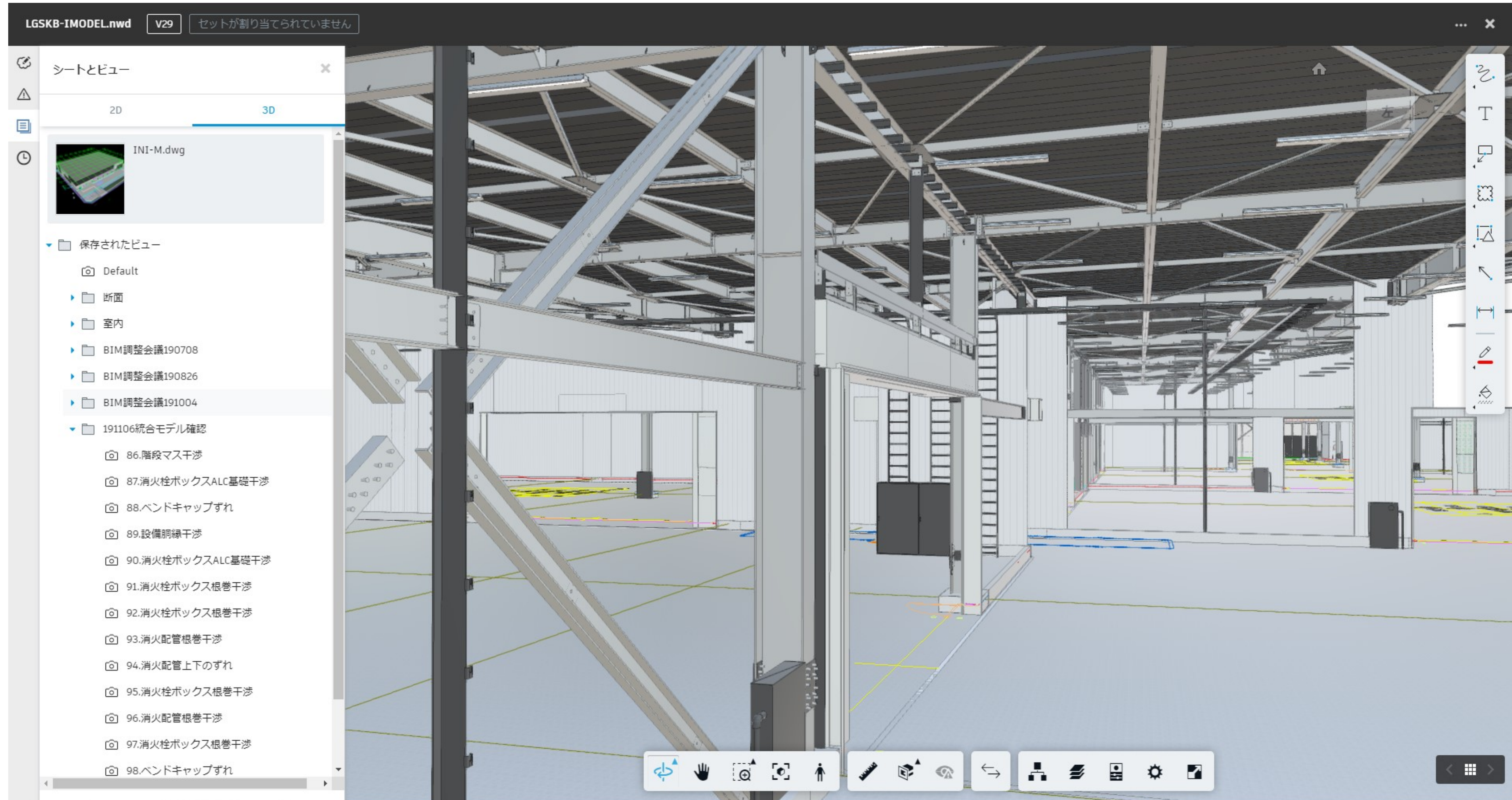


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



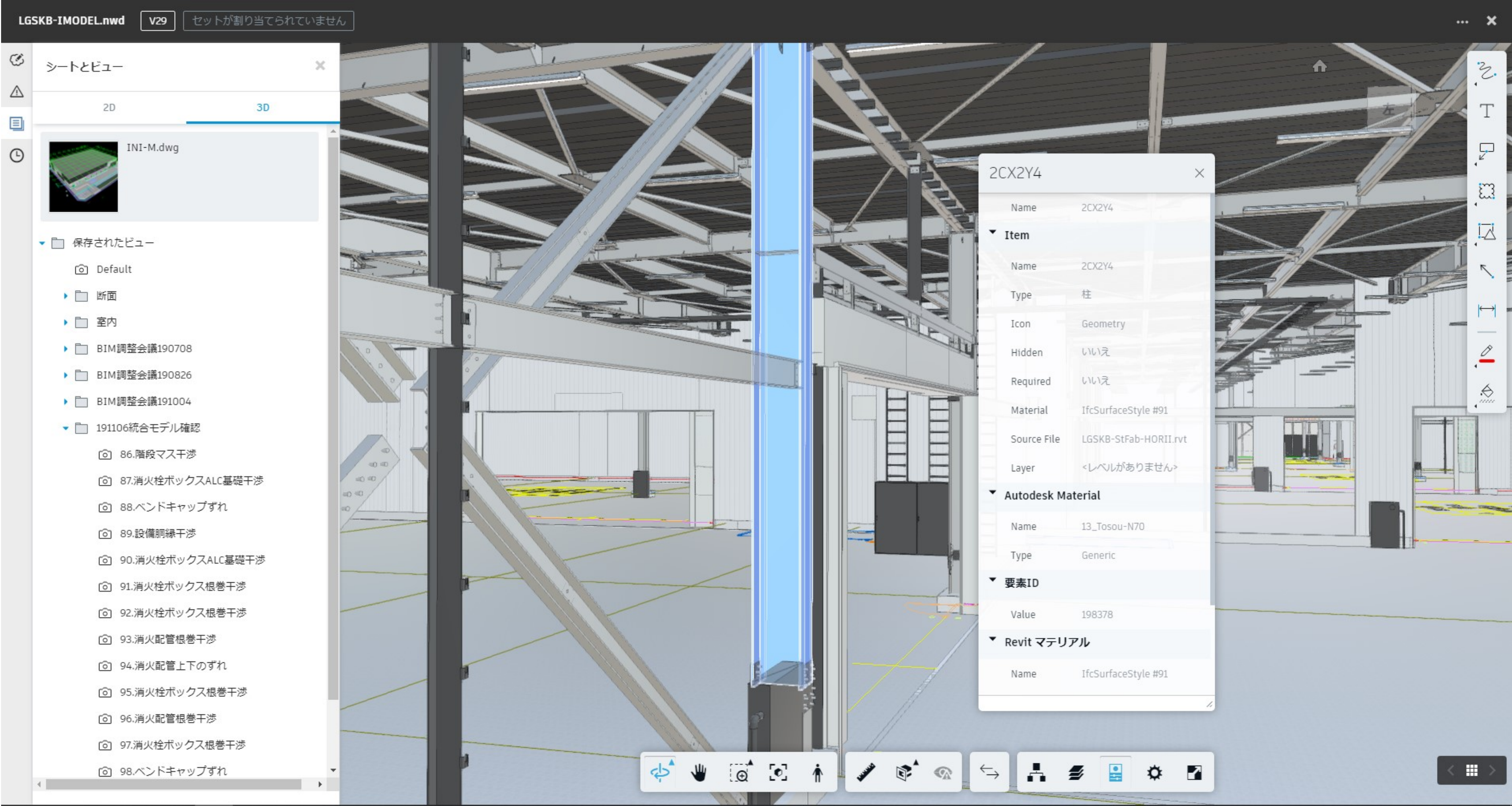


# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント





# BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント





すべてのプロジェクト関係者が  
ボードレスに 《つながる》 ことで...

- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®



# 「BIM 360」ですべてのプロジェクト関係者がボードレスに《つながる》

- ・ エビデンスに裏付けされたプランニング
- ・ 重複入力解消による工数削減と整合性の確保
- ・ 設計変更から施工図修正完了までに要する時間を短縮
- ・ 干渉チェックを自動化とセルフチェックによる干渉削減

アジャイルスクラム思考

「モデル化→統合→チェック→調整」を状況に応じ迅速に修正しながら、柔軟に作図・修正作業を実行し干渉解消を目指す



**設計施工プロセスにおけるリードタイムを短縮！**



“単なる手待ち・やり直し”をなくす



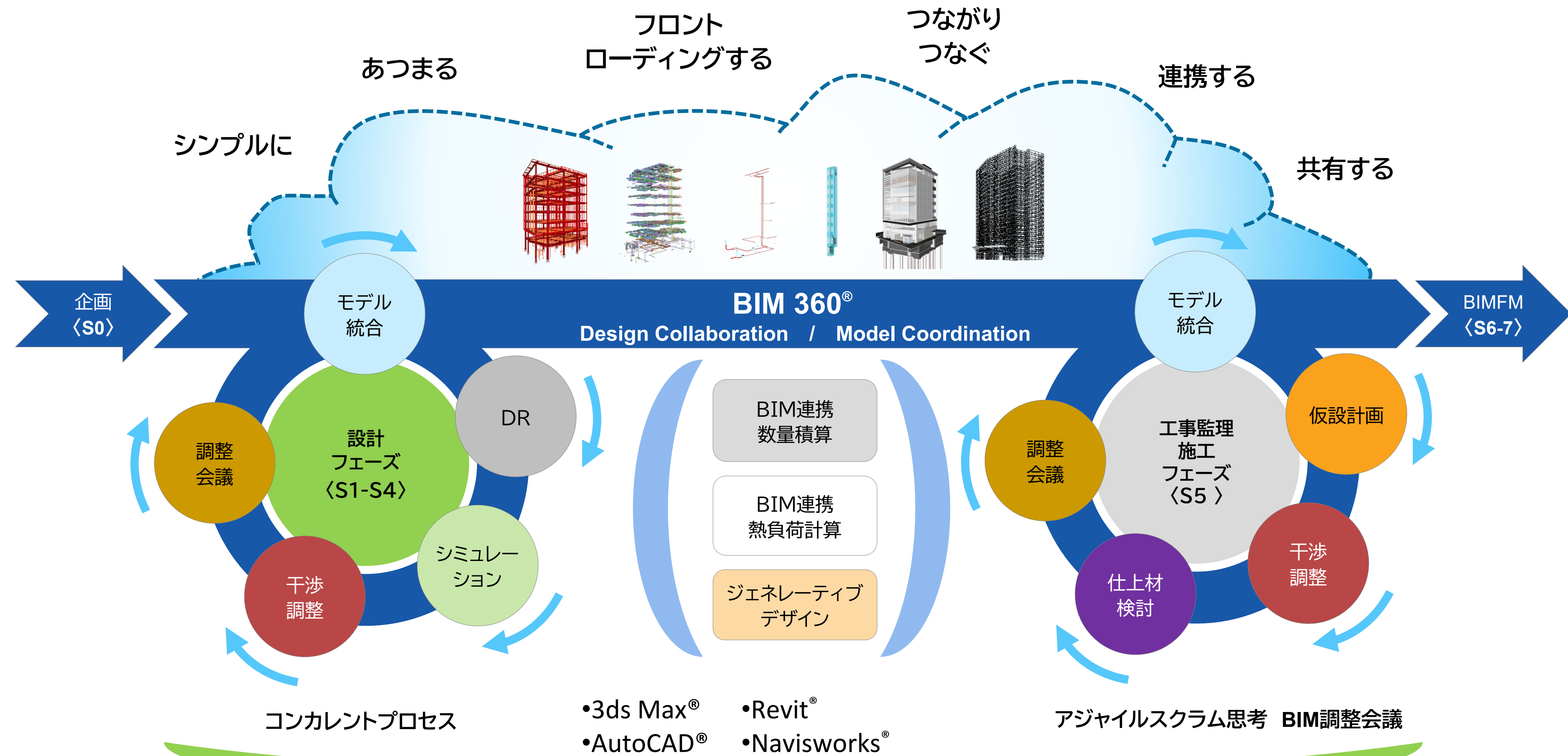
プロジェクト情報に“より短い時間”でアクセスし  
対応を完了することで

**BIM 360<sup>®</sup> = low latency**

ジャスト イン タイムで  
次工程の作業工程を妨げない



# 設計施工BIMプロセスに欠かせなくなった「BIM 360」によるBIMモデル連携



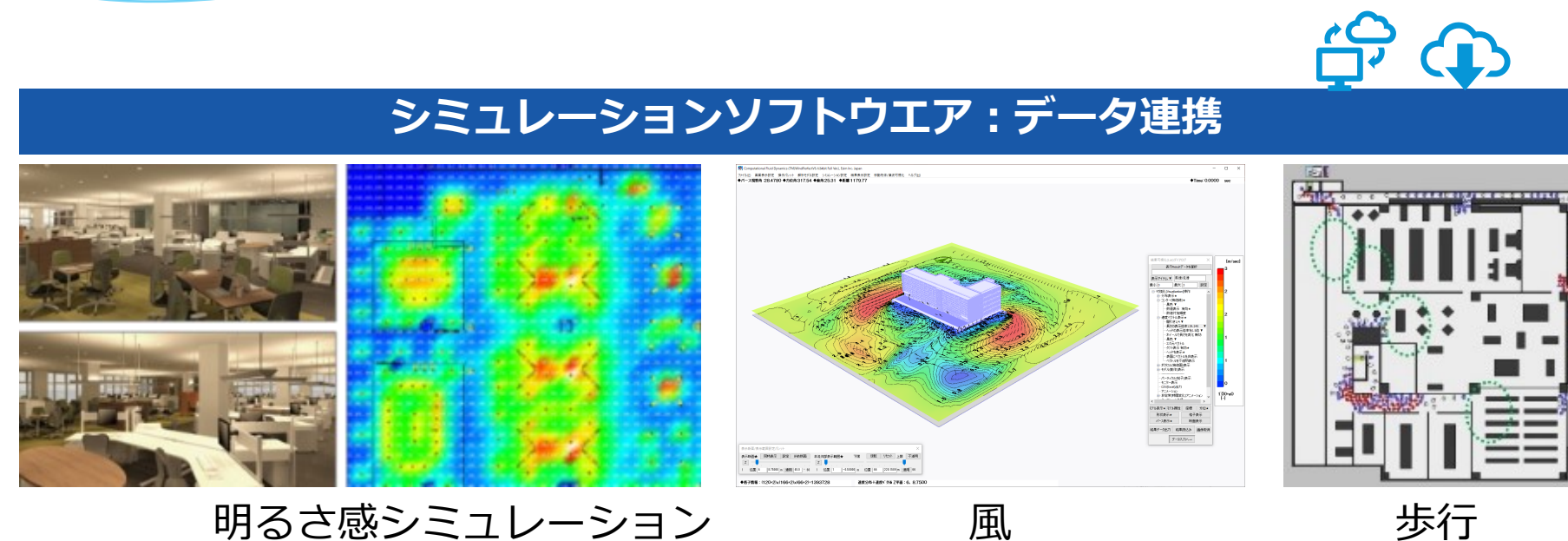
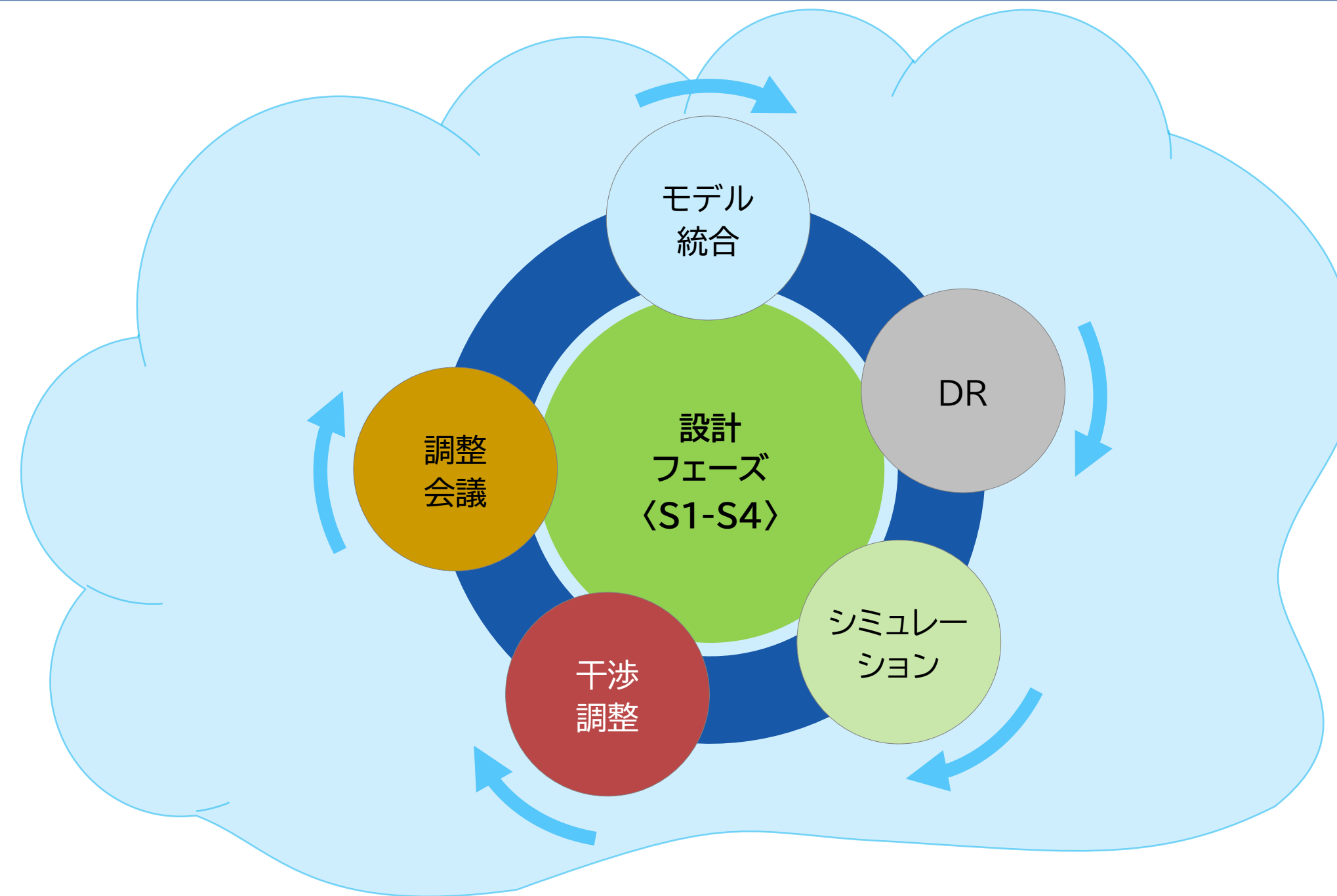
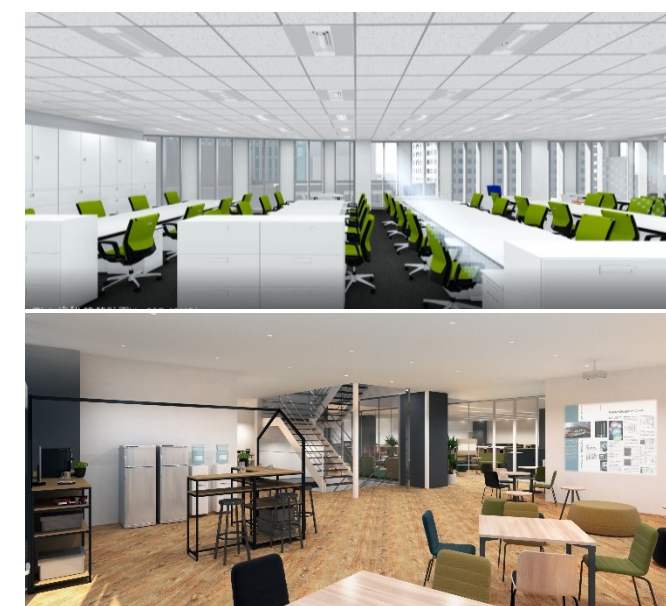


# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのデータ連携

企画  
〈S0〉

BIM 360® Design Collaboration

BIMFM  
〈S6-7〉



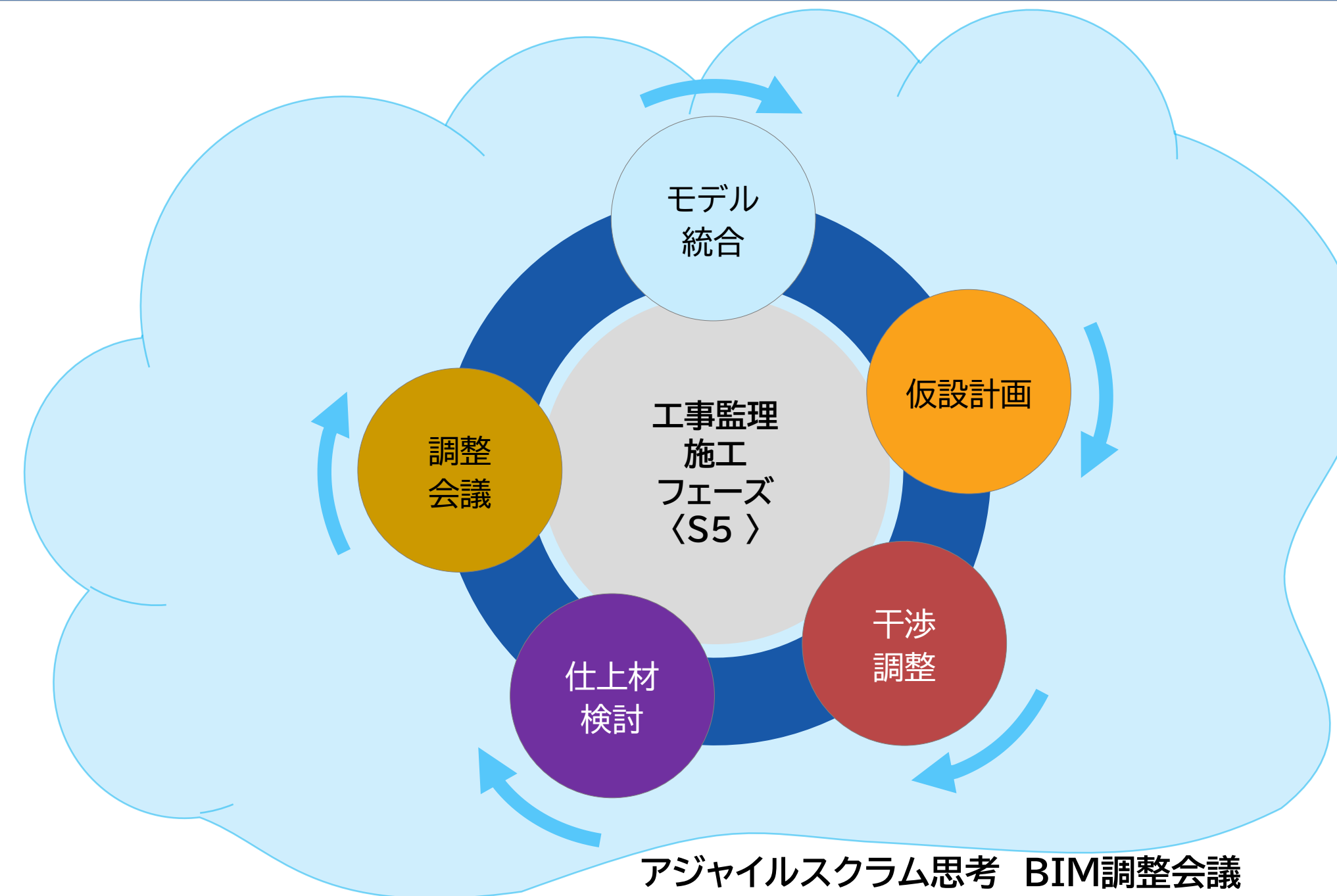
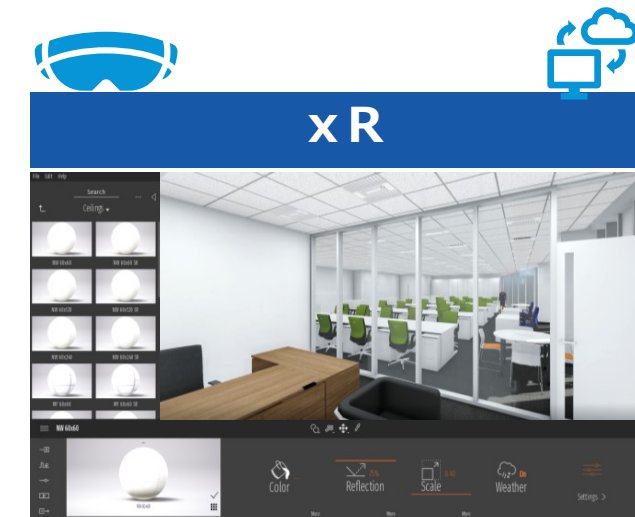


# Revitモデルを中心とした専門ソフトとのデータ連携

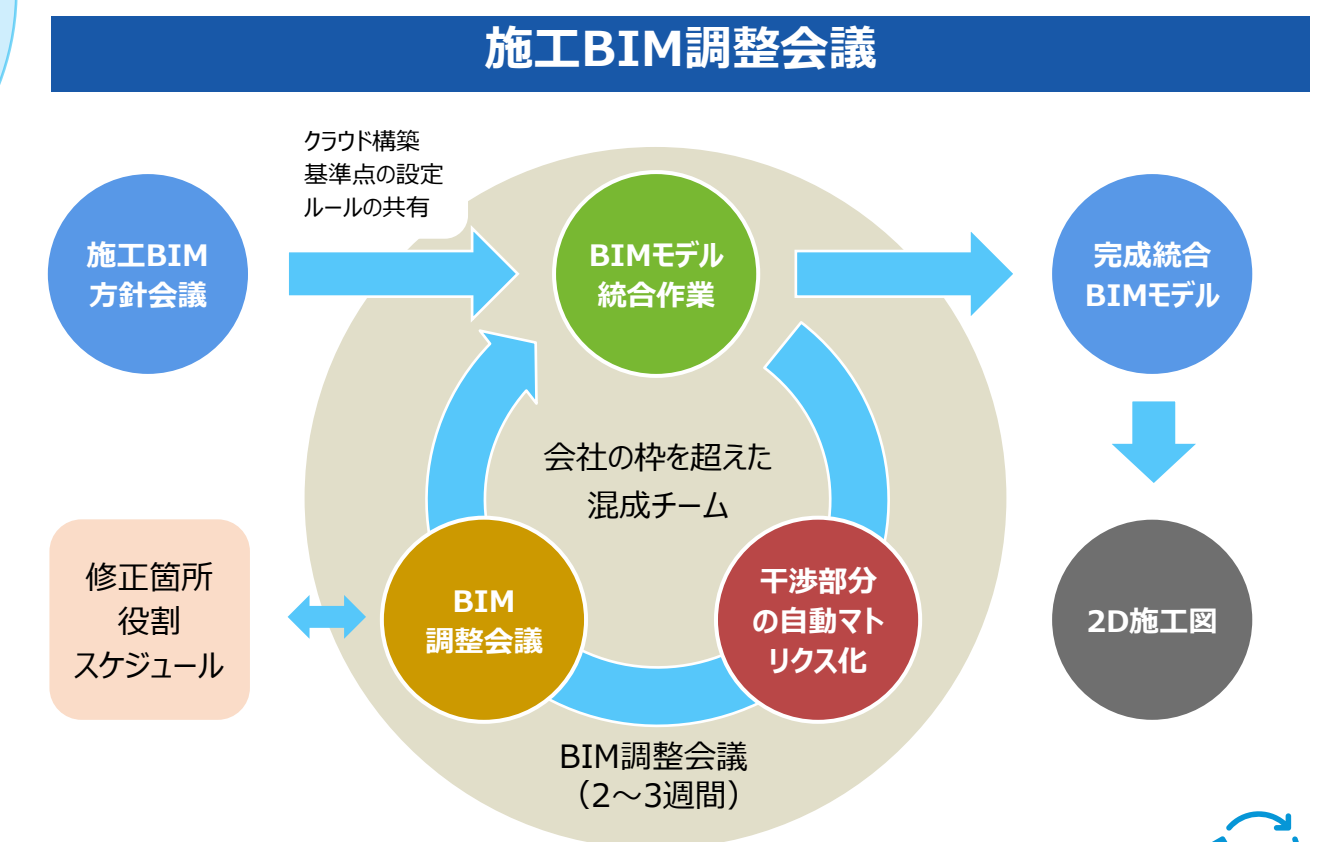
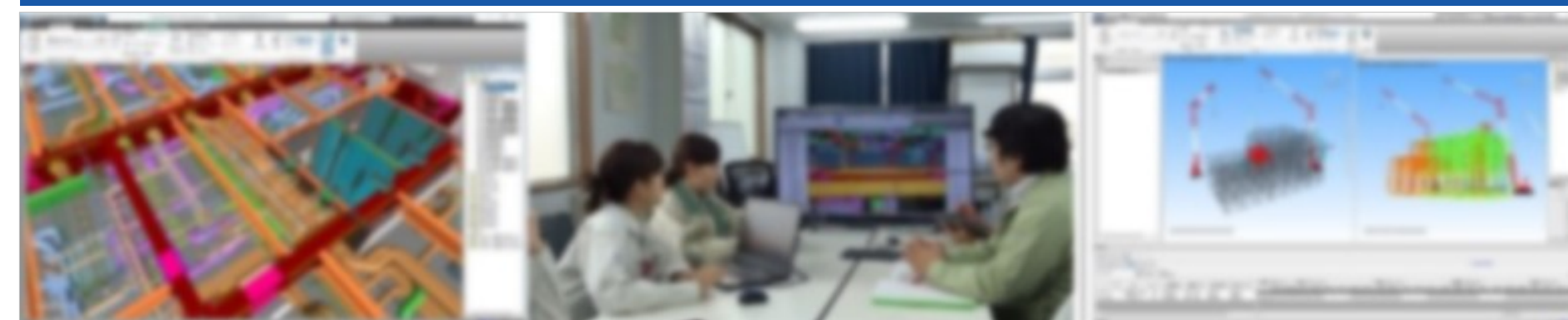
企画  
〈S0〉

BIM 360® Model Coordination

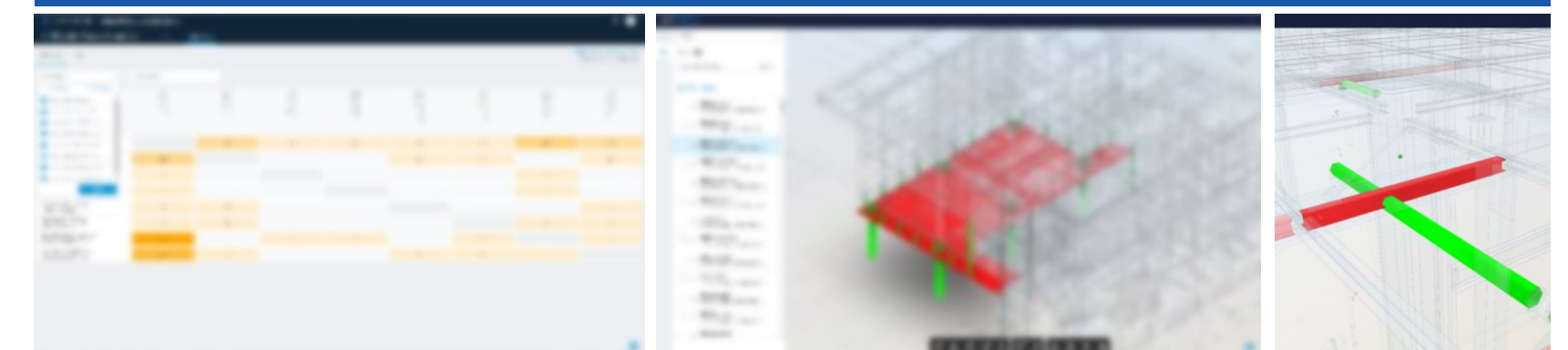
BIMFM  
〈S6-7〉



シミュレーション：データ連携



自動干渉チェック（施工段階）





設計施工BIMプロセスに欠かせなくなった  
BIM 360によるBIMモデル連携



BIM 360 のより詳細な情報は、以下のアドレスから確認できます。

コラボレーションツール BIM 360 活用オンラインセミナー  
オートデスク株式会社 技術営業本部 2020.04.17

[http://bim-design.com/file/20200417\\_BIM360\\_Online\\_Seminar.pdf](http://bim-design.com/file/20200417_BIM360_Online_Seminar.pdf)





Autodesk およびオートデスクのロゴは、米国およびその他の国々における Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。

© 2020 Autodesk. All rights reserved.